

阿見町地域福祉計画策定のための  
アンケート調査結果 報告書

令和7年7月



# 目 次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的 .....	3
2 調査の対象 .....	3
(1)町民アンケート調査 .....	3
(2)民生委員・児童委員アンケート調査 .....	3
3 調査の方法と実施時期 .....	3
4 配布・回収の結果 .....	3
5 報告書の表記及び注意点について .....	3
<b>II 調査結果の分析</b> .....	<b>5</b>
1 町民アンケート結果の分析.....	7
(1) あなたご自身について.....	7
(2) 「福祉」について.....	11
(3) 地域との関わりについて .....	14
(4) 悩みや不安、相談について .....	30
(5) 地域活動やボランティア活動などについて .....	34
(6) 福祉サービスなどについて .....	39
(8) 地域福祉に対するご意見・ご要望について .....	51
2 民生委員・児童委員アンケート結果の分析 .....	59
<b>III 資料</b> .....	<b>71</b>
1 調査票.....	73
(1) 町民アンケート .....	73
(2) 民生委員・児童委員アンケート.....	87



# I 調査の概要



## 1 調査の目的

本調査は、「第4次阿見町地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定するにあたり、地域における住民のつながりや地域活動の状況、地域福祉行政に関する意見などを把握し、計画づくりの参考資料として活用するためのものです。

## 2 調査の対象

### (1)町民アンケート調査

調査対象者は、令和7年1月22日現在、阿見町に住民登録のある18歳以上の町民の方の中から無作為に抽出した2,000人としました。

### (2)民生委員・児童委員アンケート調査

調査対象者は、町内で活動している民生委員・児童委員81名としました。

## 3 調査の方法と実施時期

対象者	方法	実施時期
町民	郵送およびWEB	令和7年2月～3月
民生委員・児童委員	手渡し	令和7年2月

## 4 配布・回収の結果

対象者	配布数	回収数	回収率
町民	2,000件	662件	33.1%
民生委員・児童委員	81件	77件	95.1%

## 5 報告書の表記及び注意点について

- (1)回答は、各質問の回答該当者数を基数とした百分率(%)で示している。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2)複数回答を可能としている回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超える。
- (3)説明文及びグラフで、選択肢の語句の表記を一部簡略化している。
- (4)グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者数を「n」と表記している。

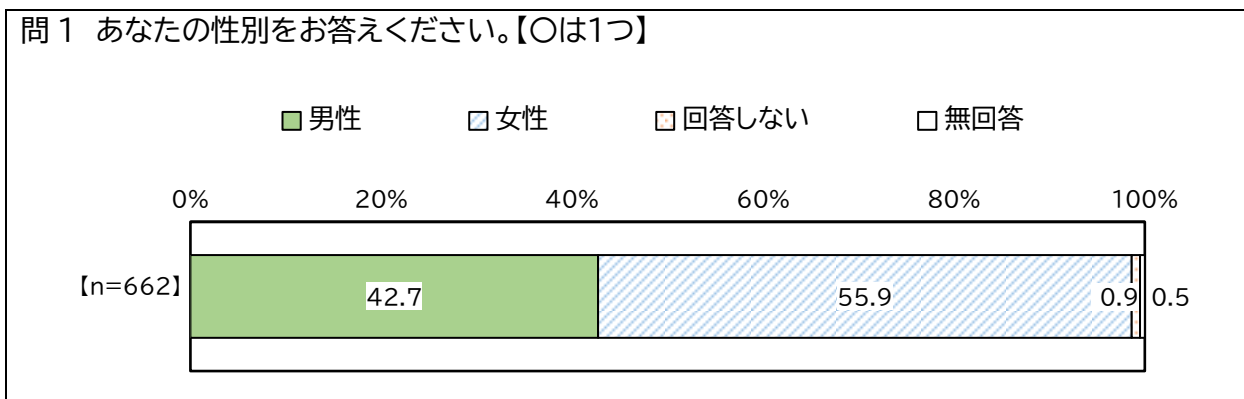


## Ⅱ 調査結果の分析

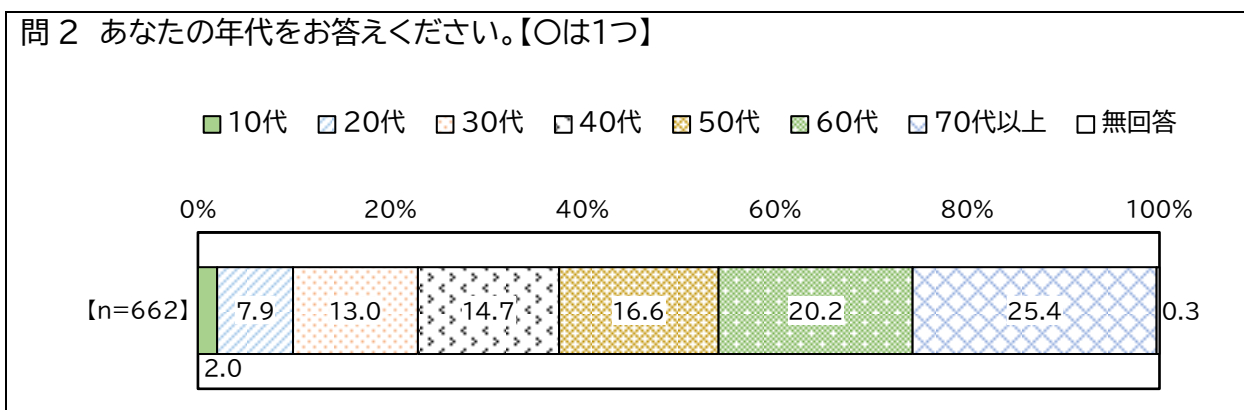


# 1 町民アンケート結果の分析

## (1) あなたご自身について

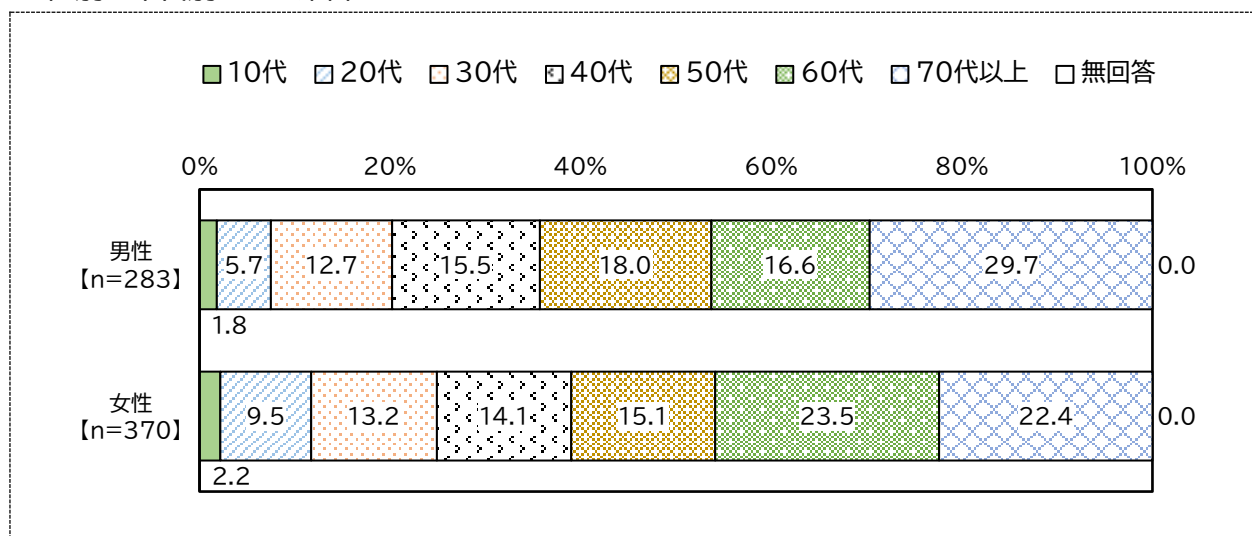


「男性」が42.7%、「女性」が55.9%、「回答しない」が0.9%、「無回答」が0.5%となっています。



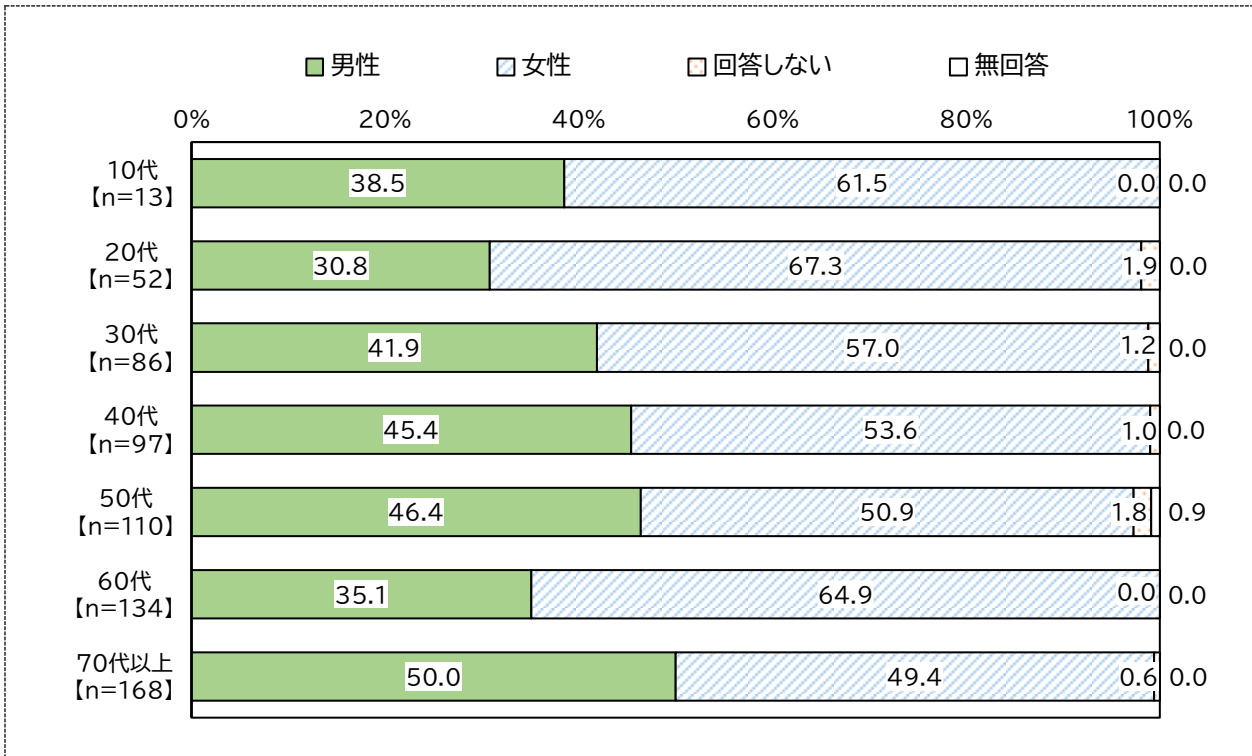
「70代以上」が25.4%で最も多く、以下、「60代」が20.2%、「50代」が16.6%、「40代」が14.7%、「30代」が13.0%の順となっています。

### ▶性別×年代別クロス集計



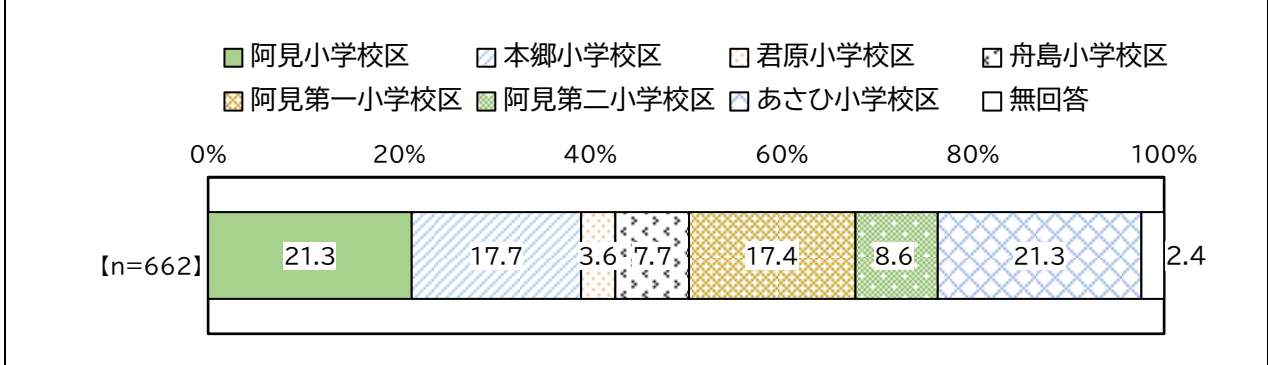
回答者の性別で年齢構成をみると、男性は「70代以上」の割合が高くなっているのに対し、女性では「60代」の割合が高くなっています。

▶年代別×性別クロス集計



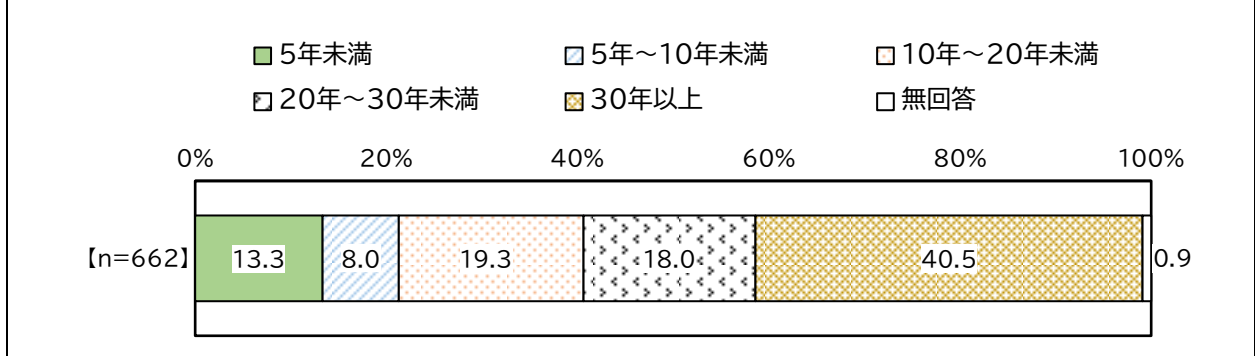
回答者の年代別に性別をみると、60代以下は「女性」の割合が過半数を占めていますが、70代以上では「男性」の割合がわずかに高くなっています。

問3 あなたが住んでいる地区は次のどれですか。【○は1つ】



住んでいる地区については、「阿見小学校区」、「あさひ小学校区」がともに21.3%、「本郷小学校区」が17.7%、「阿見第一小学校区」が17.4%、「阿見第二小学校区」が8.6%などとなっています。

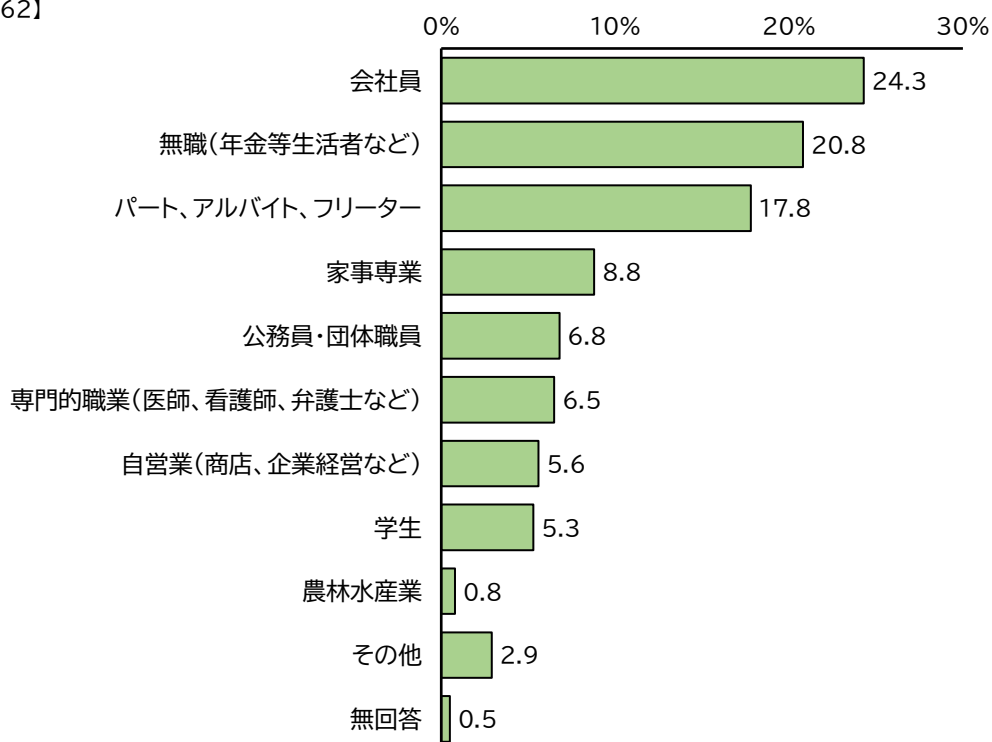
問4 あなたは現在の地区(問3で回答された地区)に何年住んでいますか。【○は1つ】



現在の地区における居住年数は、「30年以上」が40.5%で最も多くなっています。

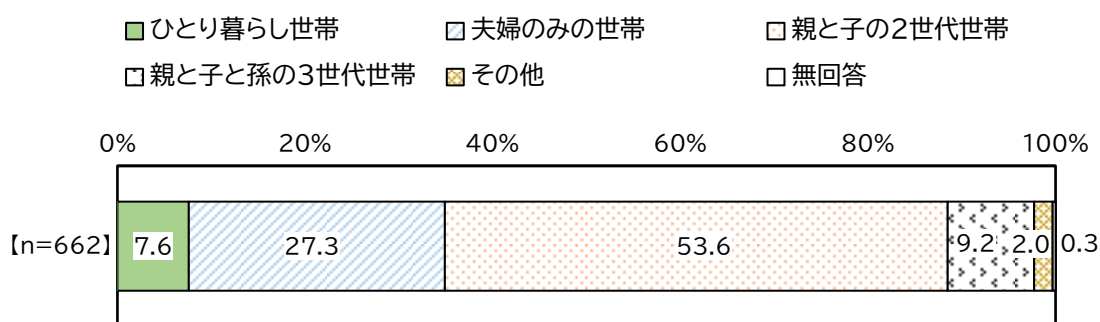
問5 あなたの主な職業は何ですか。【〇は1つ】

【n=662】



回答者の職業については、「会社員」が 24.3%で最も多く、次いで、「無職(年金等生活者など)」が 20.8%、「パート、アルバイト、フリーター」が 17.8%となっています。

問 6-(1) あなたの家族構成はどのようになっていますか。【〇は1つ】

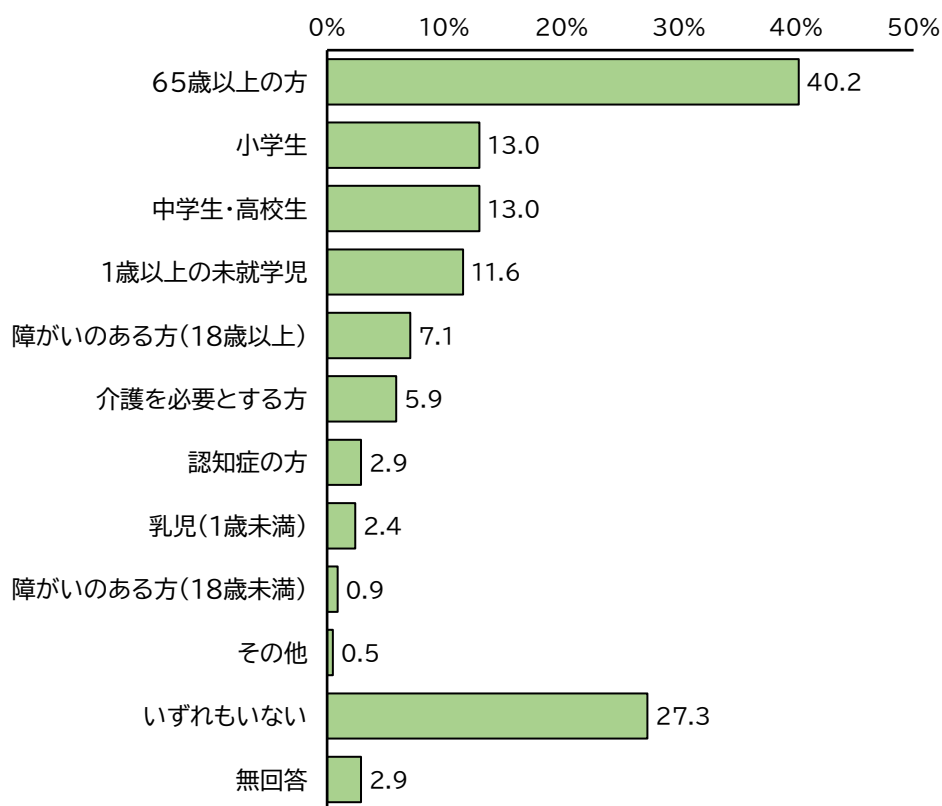


家族構成については、「親と子の2世代世帯」が 53.6%で最も多く、次いで、「夫婦のみの世帯」が 27.3%、「親と子と孫の3世代世帯」が 9.2%、「ひとり暮らし世帯」が 7.6%となっています。

問 6-(2)あなた自身や同居している家族の中に、次のような方はおられますか。

【○はあてはまるものすべて】

【n=662】

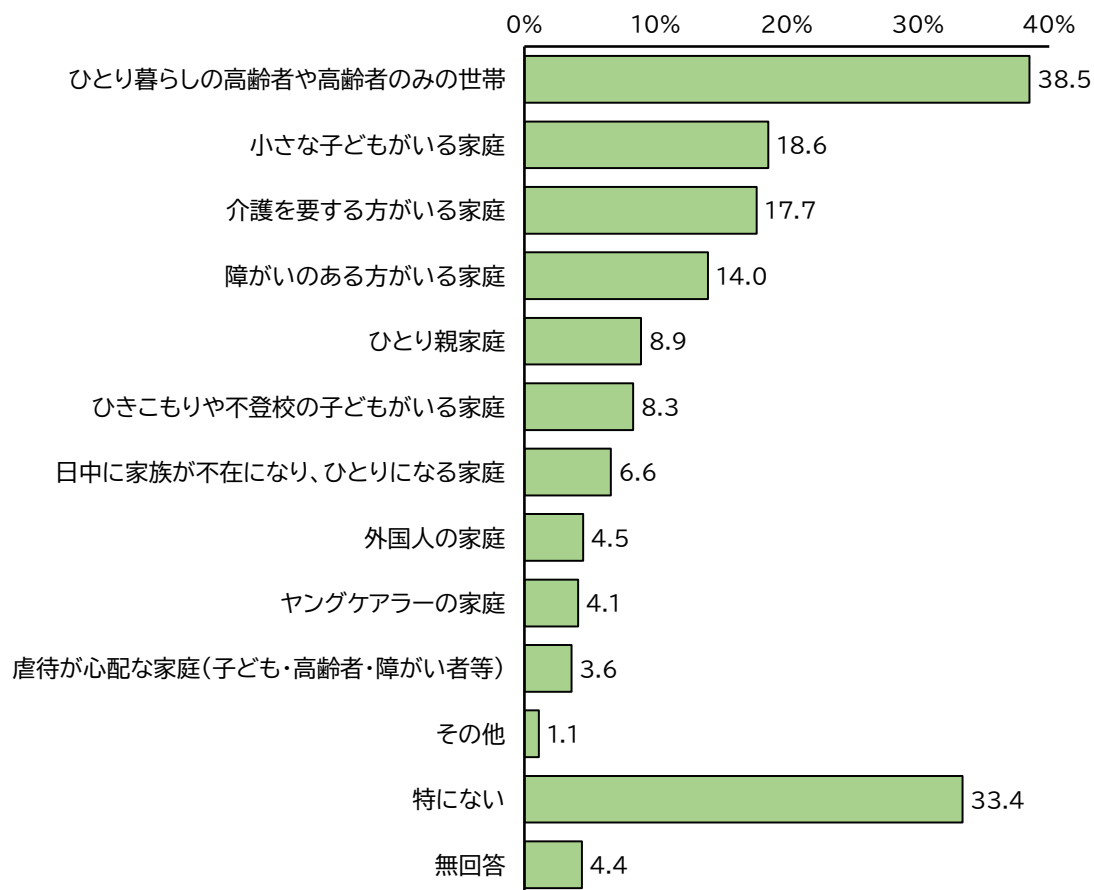


ご自身や同居している家族の中に高齢者や子ども、要介護者等がいるかについては、「65歳以上の方」が40.2%で最も多く、次いで、「小学生」が13.0%、「中学生・高校生」が13.0%、「1歳以上の未就学児」が11.6%となっています。一方、「いずれもない」と回答された方は27.3%でした。

## (2) 「福祉」について

問 7 あなた自身も含め、あなたの身近には、次のような気にかかる人(福祉サービスや支援が必要だと思われる人)がいますか。【〇はあてはまるものすべて】

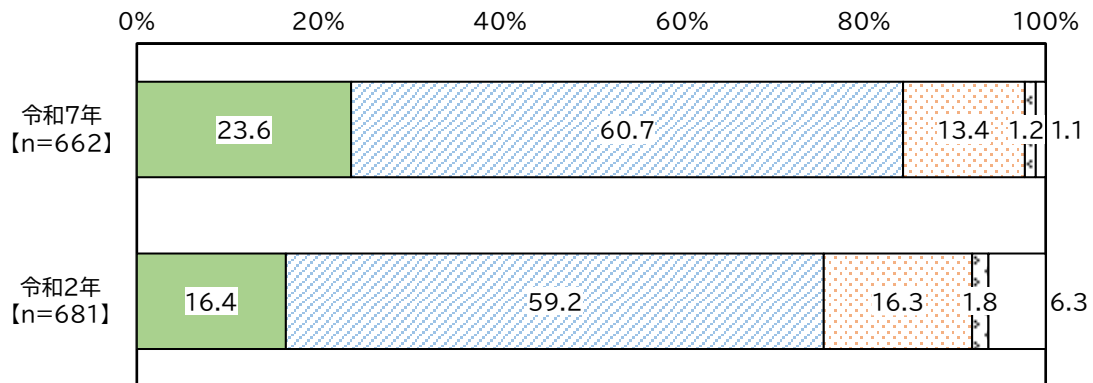
【n=662】



身の回りの気にかかる人については、「ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯」が 38.5%で最も多く、次いで、「小さな子どもがいる家庭」が 18.6%、「介護を要する方がいる家庭」が 17.7%、「障がいのある方がいる家庭」が 14.0%となっています。一方、「特にない」と回答された方は 33.4%でした。

問 8-(1)あなたは「福祉」に関心をおもちですか。【〇は1つ】

■ とても関心がある    □ ある程度関心がある    □ あまり関心がない  
 □ 全く関心がない    □ 無回答



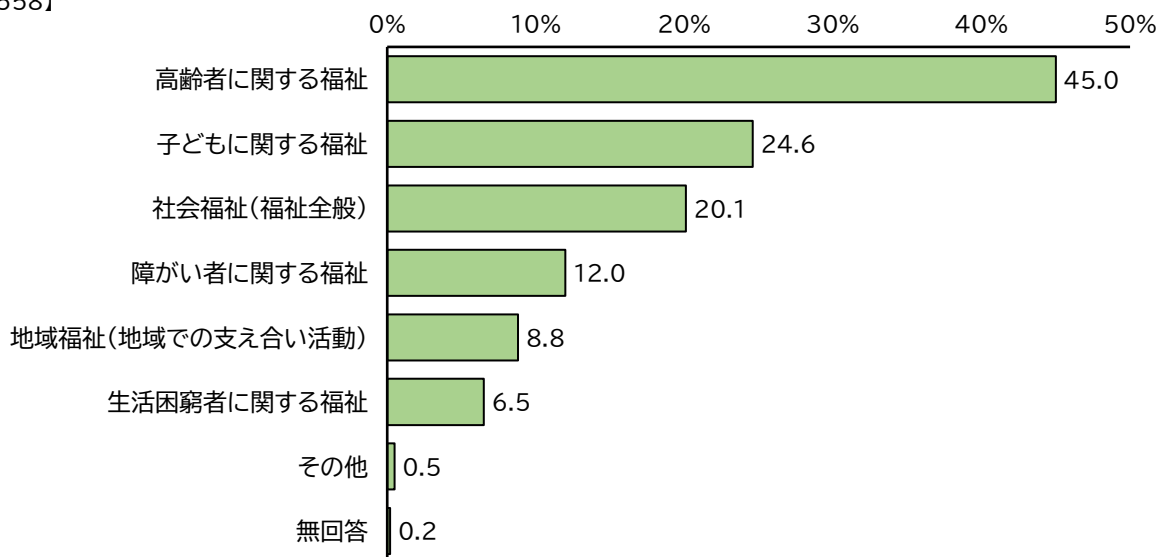
今回の調査では、福祉に対する関心について、「とても関心がある」が 23.6%、「ある程度関心がある」が 60.7%で、これら 2 つの選択肢を合わせると 84.3%となります。

令和 2 年に実施した調査ではこれら 2 つの選択肢の合計は 75.6%であり、8.7%の増加となりました。

【問8-(1)で「とても関心がある」、「ある程度関心がある」を選んだ方におたずねします。】

問 8-(2) 特にどの福祉の分野に関心をおもちですか。【〇はあてはまるものすべて】

【n=558】

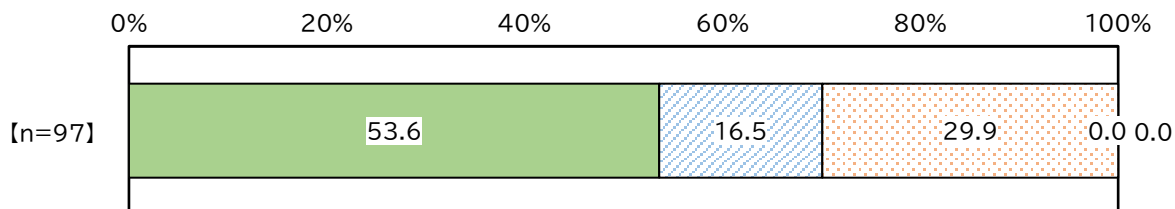


問 8-(1)において福祉に「とても関心がある」、「ある程度関心がある」と回答された方に対し、どの福祉の分野に関心があるか尋ねたところ、「高齢者に関する福祉」が 45.0%で最も多く、次いで、「子どもに関する福祉」が 24.6%となりました。

【問8-(1)で「あまり関心がない」、「全く関心がない」を選んだ方におたずねします。】

問8-(3) 関心がない理由は何ですか。【〇は1つ】

- 今のところ自分にはあまり関係がないから
- 「福祉」のことがよくわからないから
- 特に理由はない
- その他
- 無回答

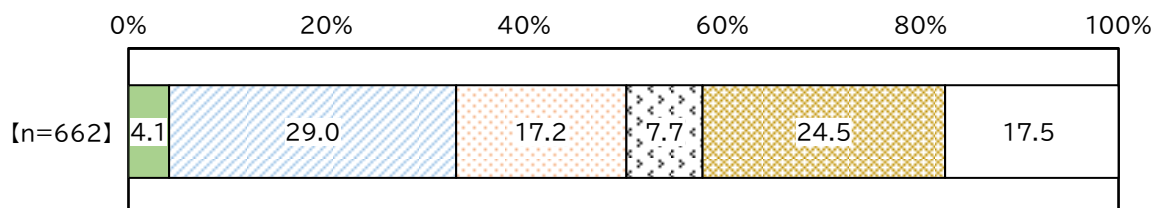


問8-(1)において福祉に「あまり関心がない」、「全く関心がない」と回答された方に対し、その理由について尋ねたところ、「今のところ自分にはあまり関係がないから」が53.6%で最も多く、次いで、「特に理由はない」が29.9%、「福祉」のことがよくわからないから」が16.5%となりました。

問9 阿見町は子どもや高齢者、障がいのある方などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。

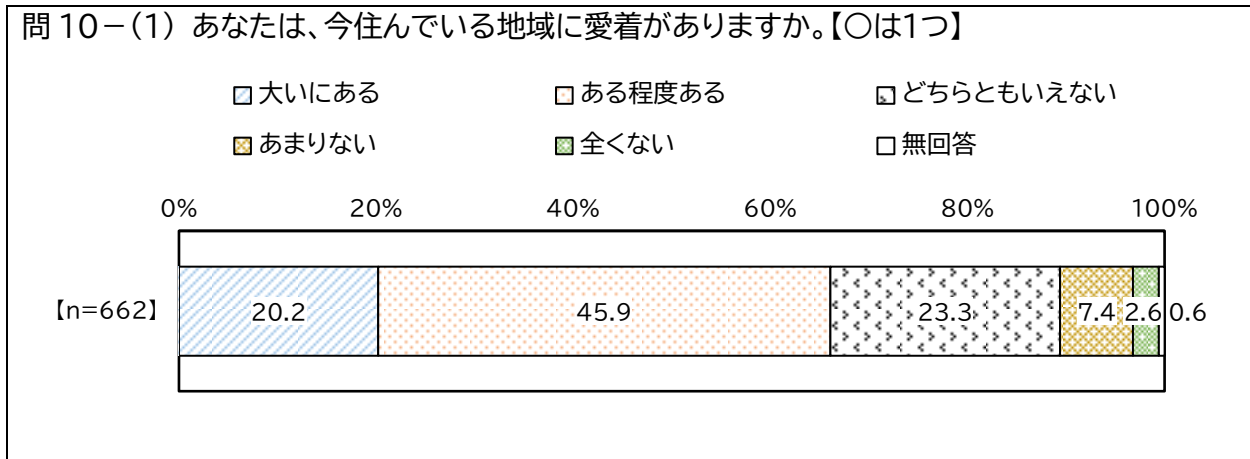
【〇は1つ】

- 暮らしやすいと思う
- まあまあ暮らしやすいと思う
- あまり暮らしやすいとは思わない
- 暮らしやすいとは思わない
- わからない
- 無回答

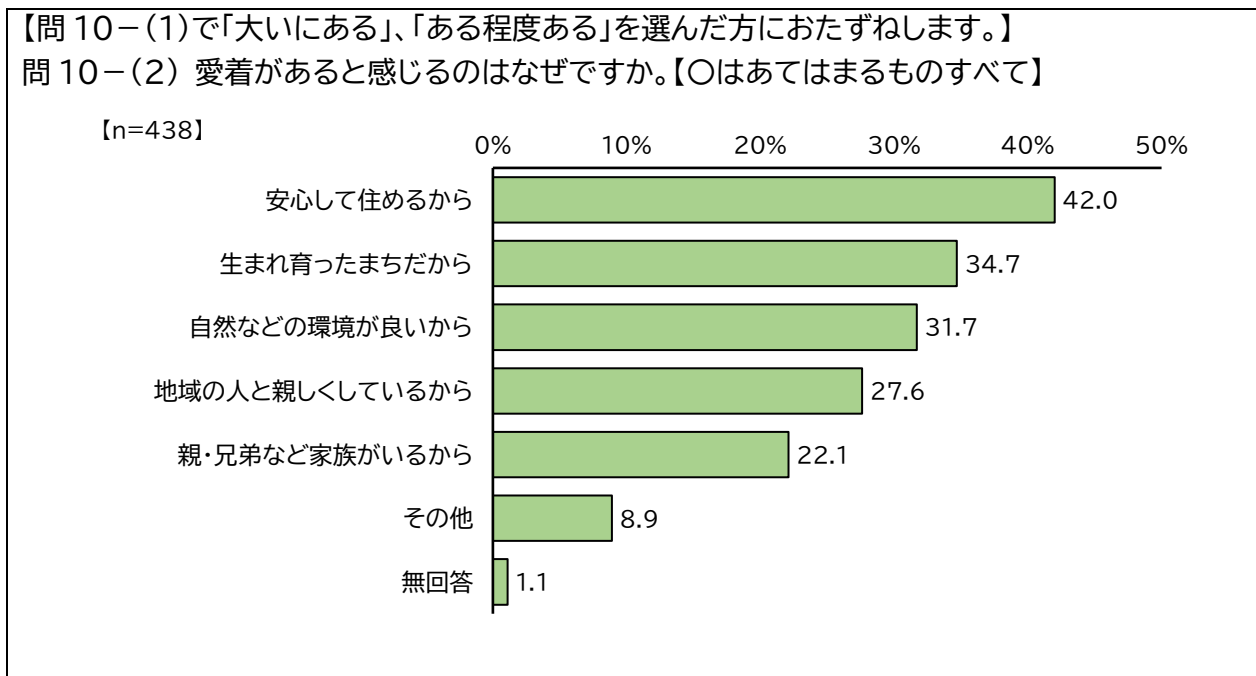


子どもや高齢者、障がいのある方にとって暮らしやすいまちか尋ねたところ、「まあまあ暮らしやすいと思う」が29.0%で最も多く、「あまり暮らしやすいとは思わない」が17.2%となりました。

### (3) 地域との関わりについて



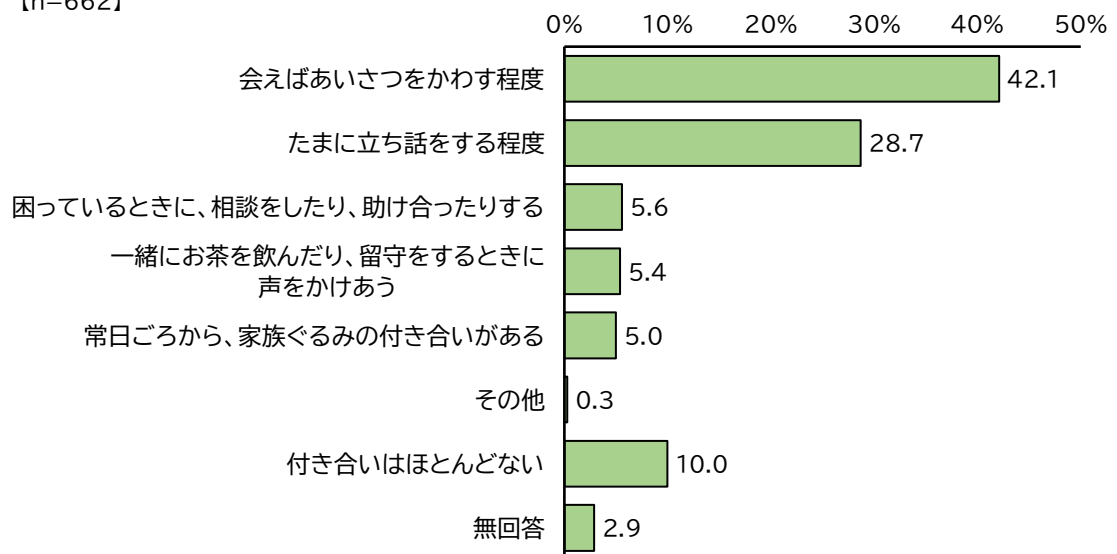
現在お住まいの地域に愛着があるか尋ねたところ、「ある程度ある」が 45.9%で最も多く、次いで、「どちらともいえない」が 23.3%、「大いにある」が 20.2%となりました。



前問にて地域への愛着が「大いにある」、「ある程度ある」と回答された方にその理由を尋ねたところ、「安心して住めるから」が 42.0%で最も多く、次いで、「生まれ育ったまちだから」が 34.7%、「自然などの環境が良いから」が 31.7%、「地域の人と親しくしているから」が 27.6%となりました。

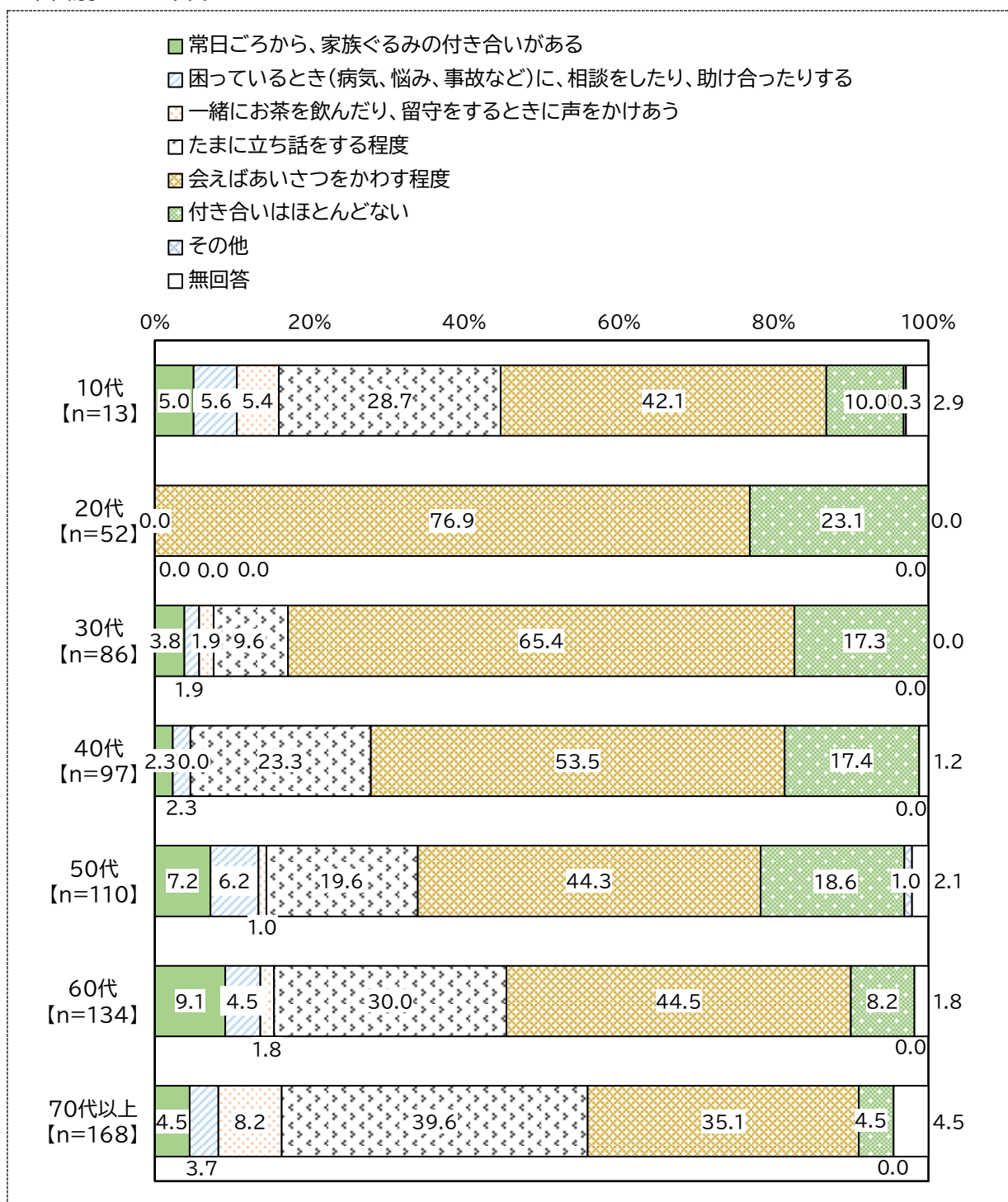
問 11 あなたは、ふだん近所の方と、どの程度の付き合いをされていますか。【○は1つ】

【n=662】



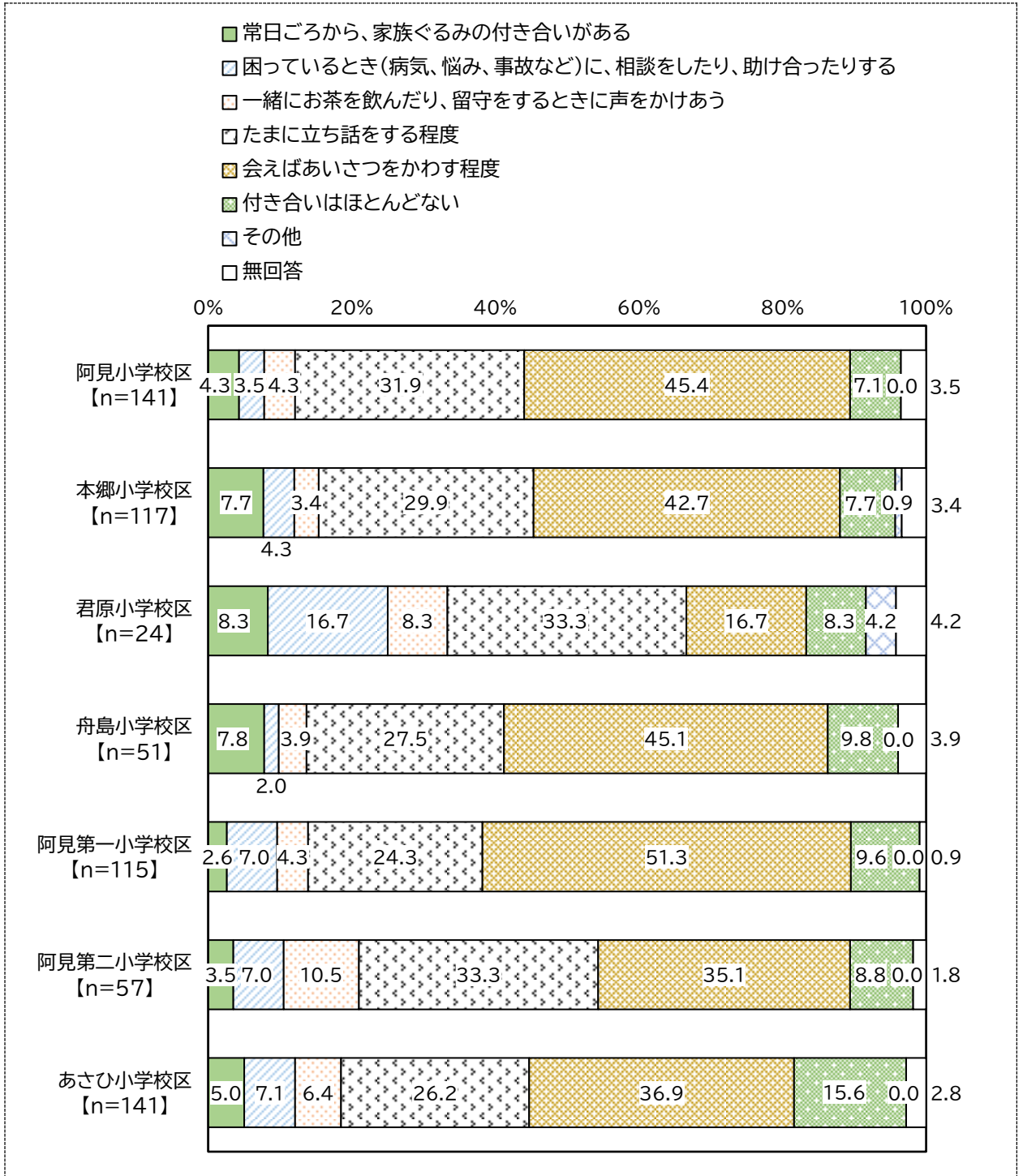
ふだんの近所付き合いについて尋ねたところ、「会えばあいさつをかわす程度」が 42.1%で最も多く、次いで、「たまに立ち話をする程度」が 28.7%となりました。一方、「付き合いはほとんどない」と回答された方は 10.0%でした。

▶年代別クロス集計



心だんの近所付き合いについて年代別にみると、20代では「会えばあいさつをかわす程度」の割合が最も多くなっていますが、その割合は年代が上がるごとに減少する傾向があります。また、「たまに立ち話をする程度」と回答した割合は70代以上では39.6%となっています。

▶地区別クロス集計

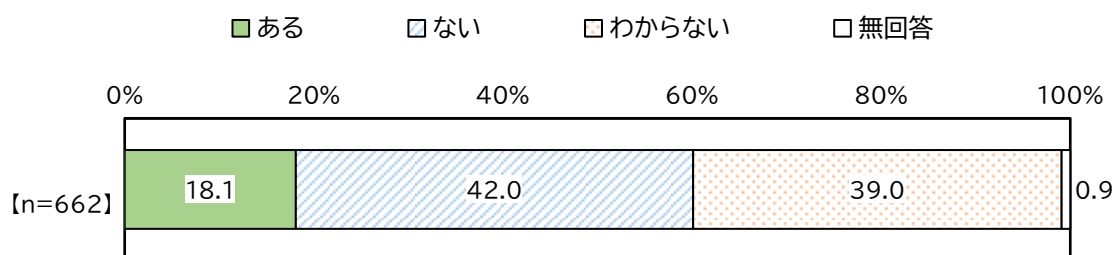


ふだんの近所付き合いについて地区別にみると、君原小学校区では、「困っているとき(病気、悩み、事故など)に、相談をしたり、助け合ったりする」の割合が16.7%、「常日ごろから、家族ぐるみの付き合いがある」が8.3%とほかの地区よりも多くなっています。

また、阿見小学校区では「付き合いはほとんどない」と回答した方の割合が7.1%となっているのに対し、あさひ小学校区では15.6%となっています。



問 13-(1)あなたは地域に助けられたと感じたことはありますか。【○は1つ】



地域に助けられたと感じたことの有無について尋ねたところ、「ない」が 42.0%で最も多く、次いで、「わからない」が 39.0%、「ある」が 18.1%となっています。

【問 13-(1)で「はい」を選んだ方におたずねします。】

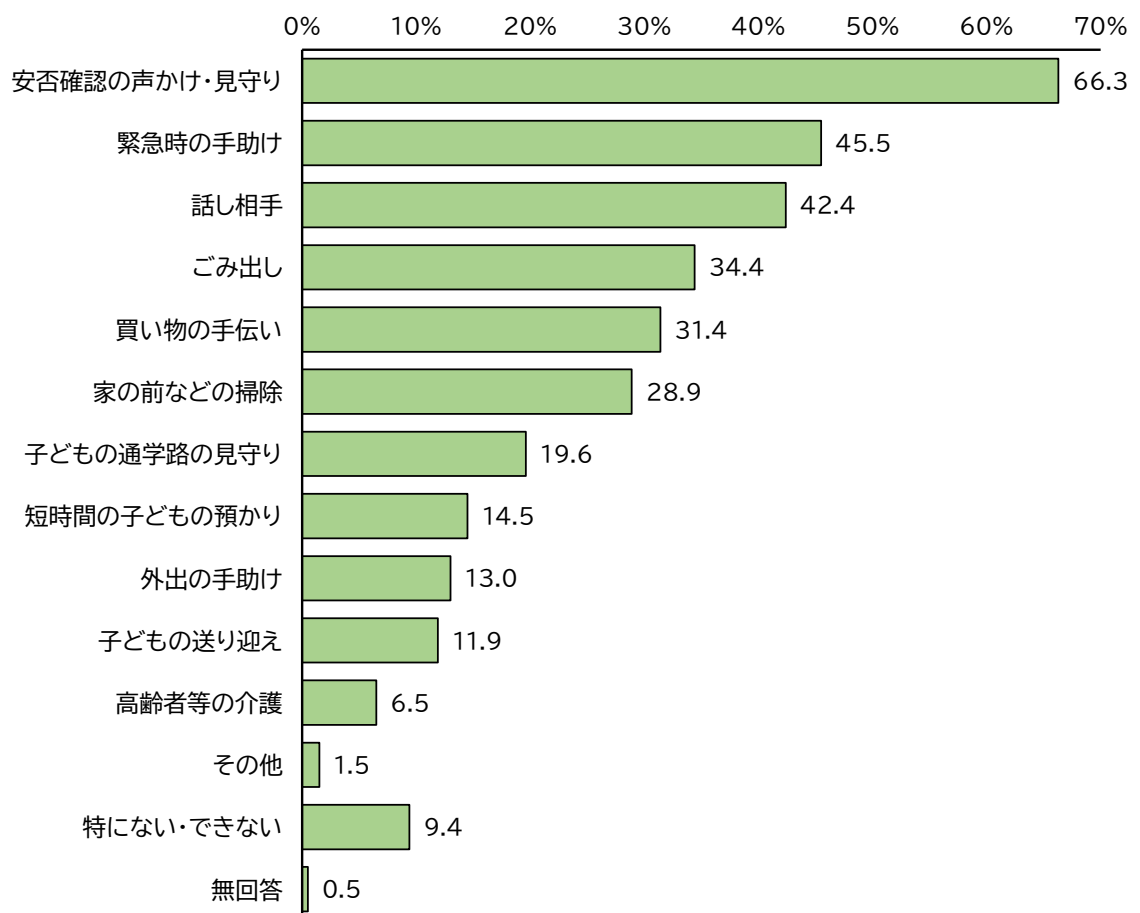
問 13-(2) あなたはどのような時に「助けられた」と感じましたか。

問 13-(1)で「はい」を選んだ方に、地域に助けられた具体的な場面について尋ねたところ、以下のよう な回答がありました(回答数:106)。※一部抜粋を掲載しています。

- 区の行事に接待されたり、積極的に参加する事により多くの人とかかわる機会に恵まれていること(孤立しなくてとても助かっています) ◆(阿見第一小学校区 男性 70 代以上 夫婦のみの世帯)
- 自治会(富士団地です)のご高齢の方々が子ども達の見守りをしてくださっている事にいつも助けられています。 ◆(阿見小学校区 女性 30 代 親と子の2世代世帯)
- 妻が体調不良の時に同級生や年齢の近いお宅で子どもを預かってくれたとき ◆(本郷小学校区 男性 40 代 親と子の2世代世帯)
- 老人の母がひとり暮らしの時、色々と声をご近所の方がかけてくれた。 ◆(阿見第一小学校区 女性 60 代 夫婦のみの世帯)
- 子供会から父母と行事に参加し地区の方とも親しくなりました。現地区に来る前は友達も少なく、話し相手は家族(夫)だけでした。色々な行事が楽しみになりました。 ◆(阿見小学校区 女性 50 代 親と子の2世代世帯)
- 自宅の庭木を切ってもらいました ◆(本郷小学校区 女性 60 代 親と子の2世代世帯)
- 犬の散歩で皆さんと話をするようになり知り合いが増えた。話をするだけでも楽しく、幸せな気持ちになれると思います。 ◆(あさひ小学校区 女性 60 代 ひとり暮らし世帯)
- 母子1対1で子育てをしていたが、児童館の活動でママ友ができました。 ◆(あさひ小学校区 女性 30 代 親と子の2世代世帯)
- 父母が運転できなくなり、あみまるくんを使っている。助かります。 ◆(本郷小学校区 女性 50 代 夫婦のみの世帯)
- 自治会活動時(住み始めた頃に)声掛けをしていただいた ◆(君原小学校区 女性 60 代 夫婦のみの世帯)
- 防犯の方たちの見廻り、小学生下校時の見守り、交通安全協会の見守り等 ◆(阿見第一小学校区 女性 50 代 親と子と孫の3世代世帯)
- シルバークラブで運動したりストレス発散できた ◆(本郷小学校区 女性 70 代以上 親と子と孫の3世代世帯)
- 生前祖父が認知症で近所の庭に入っしまい自宅がわからなくなってしまった時、警察と自宅に連絡がきたこと ◆(阿見小学校区 女性 40 代 親と子と孫の3世代世帯)

問 14 あなたの身近な人が困っているとき、あなたはどのようなことができますか。  
【〇はあてはまるものすべて】

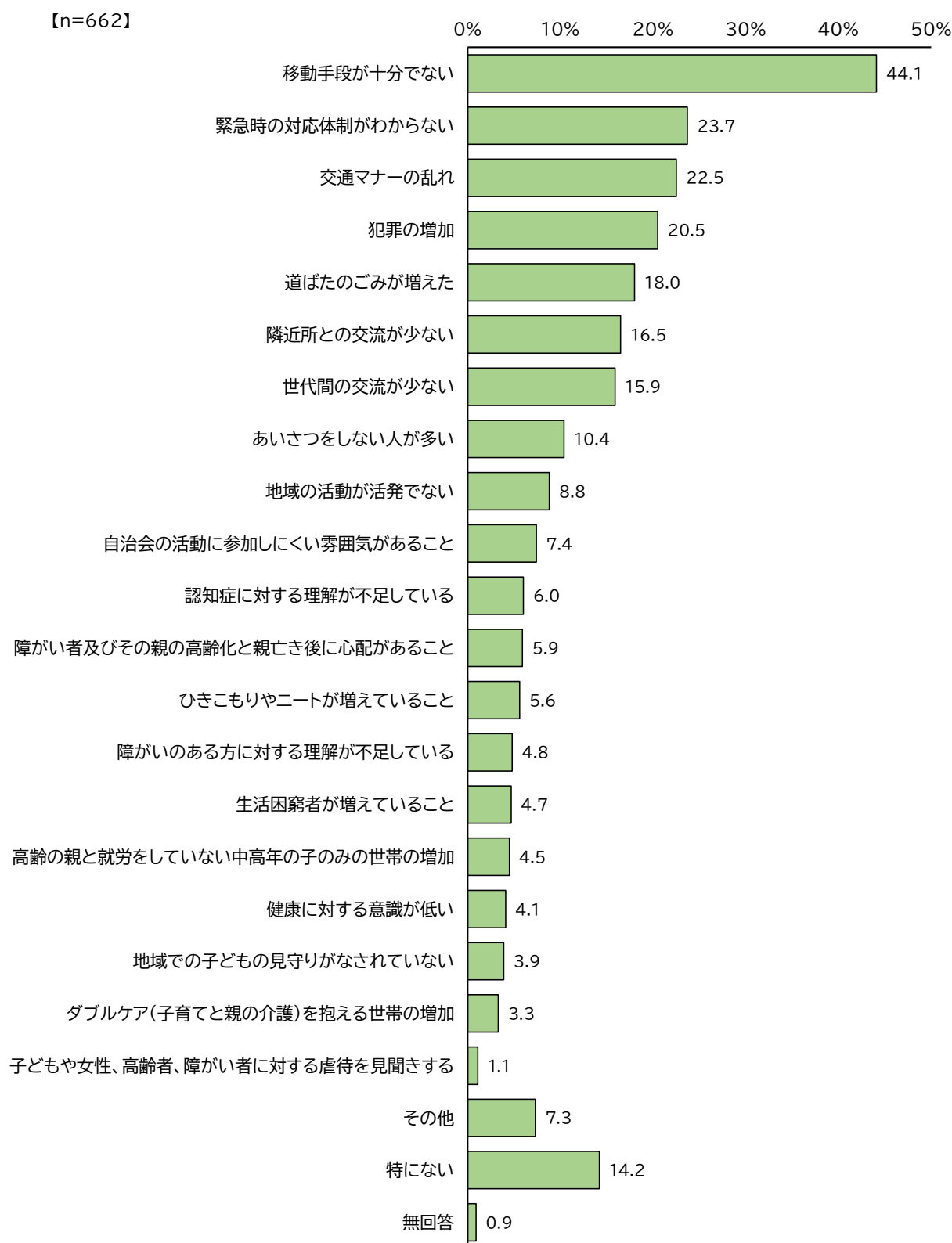
【n=662】



身近な人が困っているときにできる対応については、「安否確認の声かけ・見守り」が 66.3%で最も多くなっています。次いで、「緊急時の手助け」が 45.5%、「話し相手」が 42.4%、「ごみ出し」が 34.4%、「買い物の手伝い」が 31.4%となっています。

問 15 現在、あなたの住んでいる地域の中で、気になることは何ですか。

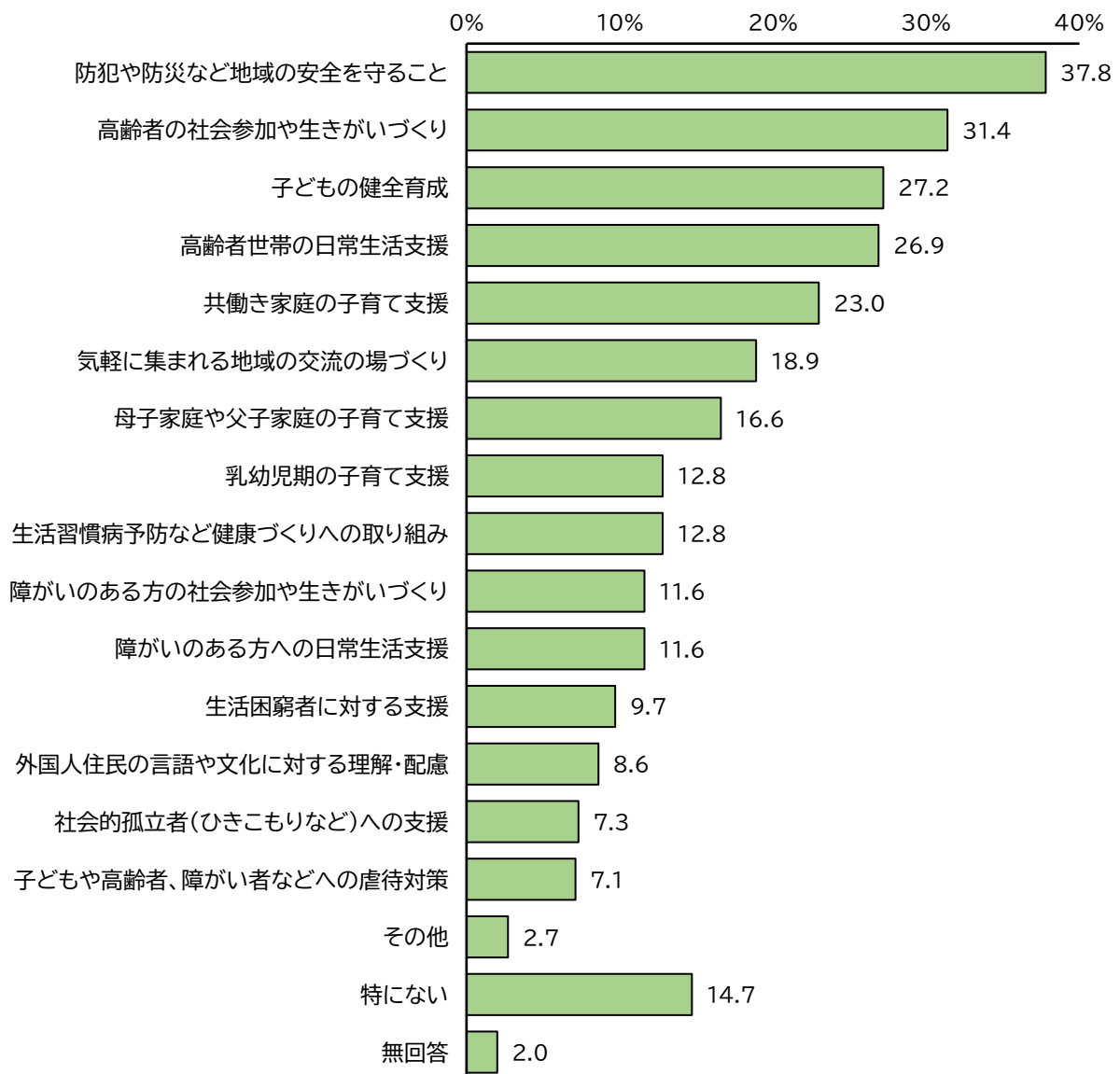
【〇はあてはまるものすべて】



地域の中で気になることについては、「移動手段が十分でない」が 44.1%で最も多く、次いで、「緊急時の対応体制がわからない」が 23.7%、「交通マナーの乱れ」が 22.5%、「犯罪の増加」が 20.5%、「道ばたのごみが増えた」が 18.0%となっています。

問 16 あなたの身近な地域には、地域住民が取り組むべき課題や問題としてどのようなことがありますか。【〇はあてはまるものすべて】

【n=662】



地域住民が取り組むべき課題や問題については、「防犯や防災など地域の安全を守ること」が37.8%で最も多く、次いで、「高齢者の社会参加や生きがいづくり」が31.4%、「子どもの健全育成」が27.2%、「高齢者世帯の日常生活支援」が26.9%、「共働き家庭の子育て支援」が23.0%となっています。

▶年代別クロス集計

	合計 (人)	子どもの健全育成	母子家庭や父子家庭の 子育て支援	共働き家庭の子育て支援	乳幼児期の 子育て支援	高齢者の社会参加や 生きがいづくり	障がいのある方の社会 参加や生きがいづくり
10代	13	23.1	38.5	23.1	15.4	23.1	0.0
20代	52	36.5	36.5	42.3	25.0	25.0	17.3
30代	86	50.0	29.1	51.2	32.6	11.6	10.5
40代	97	37.1	24.7	26.8	14.4	21.6	19.6
50代	110	22.7	14.5	20.0	11.8	37.3	10.0
60代	134	17.9	6.0	15.7	8.2	39.6	10.4
70代以上	168	17.3	7.1	7.7	1.8	39.3	8.3

	合計 (人)	気軽に集まれる地域の 交流の場づくり	高齢者世帯の 日常生活支援	障がいのある方への 日常生活支援	子どもや高齢者、障がい のある方などへの 虐待対策	生活習慣病予防など 健康づくりへの取り組み	防犯や防災など地域の 安全を守ること
10代	13	38.5	15.4	0.0	7.7	0.0	38.5
20代	52	17.3	26.9	13.5	15.4	13.5	36.5
30代	86	14.0	12.8	11.6	10.5	11.6	36.0
40代	97	16.5	33.0	19.6	10.3	10.3	33.0
50代	110	20.0	32.7	13.6	10.9	14.5	35.5
60代	134	17.2	32.1	9.0	5.2	19.4	47.8
70代以上	168	22.6	23.8	7.7	0.0	9.5	35.1

	合計 (人)	生活困窮者に対する支援	社会的孤立者(ひきこも りなど)への支援	外国人住民の言語や 文化に対する理解・配慮	特にない	その他	無回答
10代	13	0.0	7.7	23.1	15.4	0.0	0.0
20代	52	13.5	9.6	11.5	15.4	3.8	0.0
30代	86	8.1	9.3	7.0	9.3	2.3	2.3
40代	97	14.4	13.4	9.3	12.4	1.0	1.0
50代	110	14.5	7.3	12.7	14.5	3.6	1.8
60代	134	6.7	4.5	9.0	16.4	4.5	1.5
70代以上	168	6.5	4.2	4.2	16.7	1.8	3.6

年代別にみると、子育てに関する項目(「子どもの健全育成」、「共働き家庭の子育て支援」など)は 20代、30代で高くなっています。また、「防犯や防災など地域の安全を守ること」については、すべての年代で回答率が3割を超えています。

▶地区別クロス集計

	合計 (人)	子どもの健全育成	母子家庭や父子家庭の 子育て支援	共働き家庭の子育て支援	乳幼児期の子育て支援	高齢者の社会参加や 生きがいづくり	障がいのある方の社会 参加や生きがいづくり
阿見小学校区	141	27.7	17.0	26.2	12.1	33.3	8.5
本郷小学校区	117	25.6	14.5	23.9	10.3	25.6	12.0
君原小学校区	24	20.8	16.7	12.5	8.3	33.3	8.3
舟島小学校区	51	21.6	19.6	21.6	15.7	37.3	23.5
阿見第一小学校区	115	23.5	13.0	16.5	13.0	29.6	12.2
阿見第二小学校区	57	28.1	12.3	17.5	5.3	28.1	12.3
あさひ小学校区	141	35.5	21.3	29.1	17.7	36.9	9.9

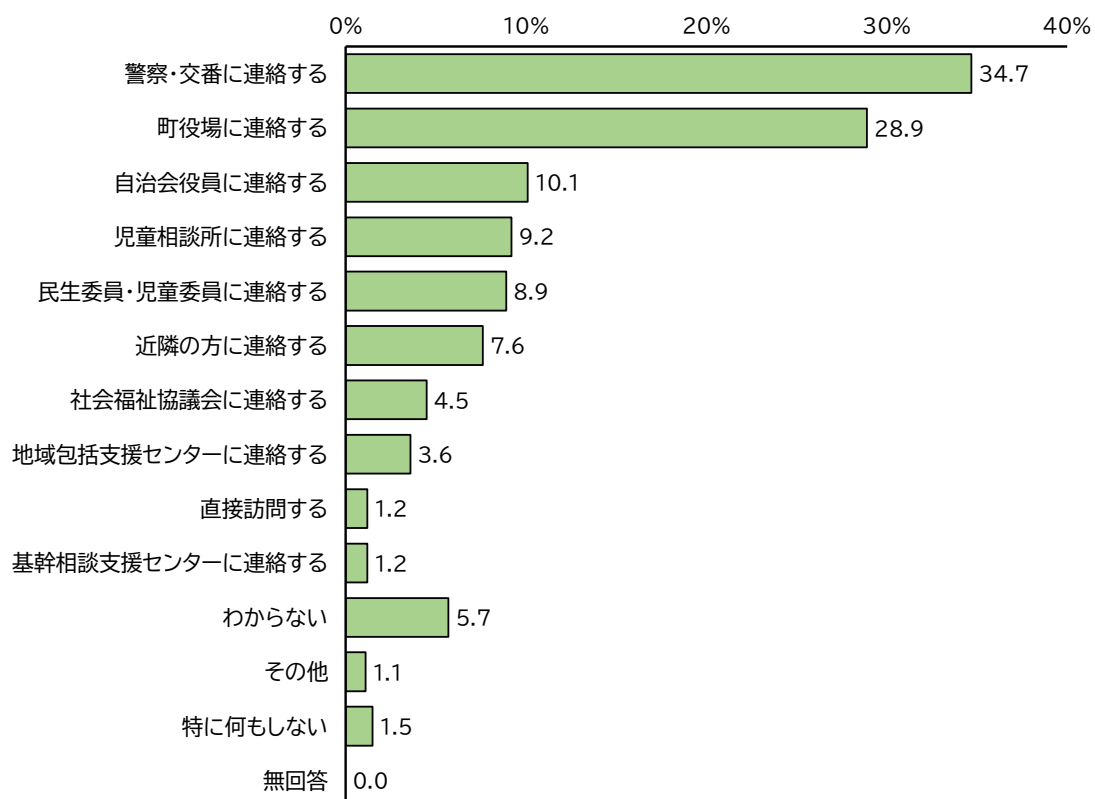
	合計 (人)	気軽に集まれる地域の 交流の場づくり	高齢者世帯の 日常生活支援	障がいのある方への 日常生活支援	子どもや高齢者、障がい のある方などへの 虐待対策	生活習慣病予防など 健康づくりへの取り組み	防犯や防災など地域の 安全を守ること
阿見小学校区	141	20.6	26.2	12.8	5.7	16.3	35.5
本郷小学校区	117	14.5	24.8	10.3	5.1	11.1	37.6
君原小学校区	24	25.0	37.5	4.2	0.0	20.8	45.8
舟島小学校区	51	23.5	29.4	19.6	13.7	11.8	43.1
阿見第一小学校区	115	19.1	25.2	15.7	7.0	9.6	38.3
阿見第二小学校区	57	21.1	24.6	8.8	7.0	3.5	31.6
あさひ小学校区	141	19.1	29.8	7.1	9.2	15.6	40.4

	合計 (人)	生活困窮者に対する支援	社会的孤立者(ひきこもり など)への支援	外国人住民の言語や 文化に対する理解・配慮	特になし	その他	無回答
阿見小学校区	141	12.8	6.4	11.3	14.9	3.5	0.7
本郷小学校区	117	4.3	4.3	7.7	13.7	0.9	1.7
君原小学校区	24	8.3	12.5	4.2	4.2	0.0	0.0
舟島小学校区	51	7.8	11.8	7.8	17.6	2.0	3.9
阿見第一小学校区	115	8.7	5.2	6.1	16.5	4.3	4.3
阿見第二小学校区	57	8.8	12.3	7.0	14.0	1.8	0
あさひ小学校区	141	12.1	7.8	10.6	12.8	2.8	1.4

地区別にみると、「防犯や防災など地域の安全を守ること」については、すべての地区で回答率が3割を超えています。また、「子どもの健全育成」、「高齢者の社会参加や生きがいづくり」、「高齢者世帯の日常生活支援」の回答率がすべての地区で2割を超えています。

問 17 もし、あなたの周辺で孤独死や、高齢者や障がいのある方、子どもへの虐待などが起きるおそれがある状況を知ったら、最初にとのように対応しますか。【〇は1つ】

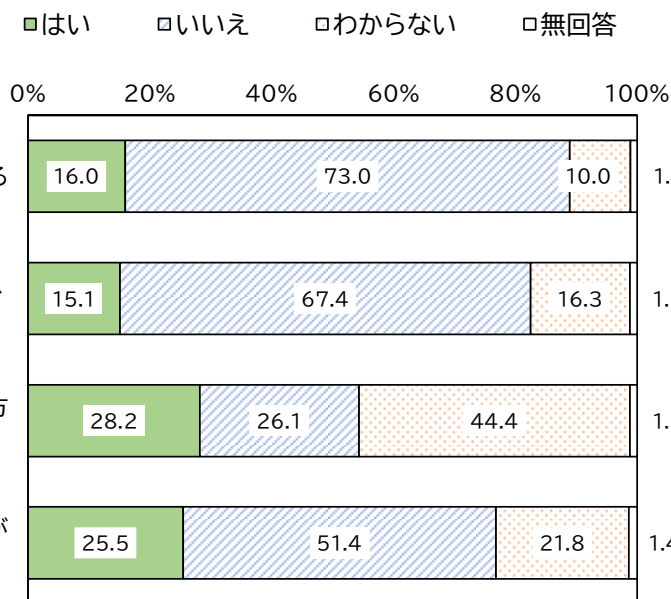
【n=662】



孤独死や虐待のおそれがある状況を知った場合の対応については、「警察・交番に連絡する」が 34.7%で最も多く、次いで、「町役場に連絡する」が 28.9%、「自治会役員に連絡する」が 10.1%、「児童相談所に連絡する」が 9.2%、「民生委員・児童委員に連絡する」が 8.9%となっています。

問 18 防災活動や災害など緊急時の対応について、あなたの取り組みや考えはどれですか。  
【〇はそれぞれにつき1つ】

【n=662】

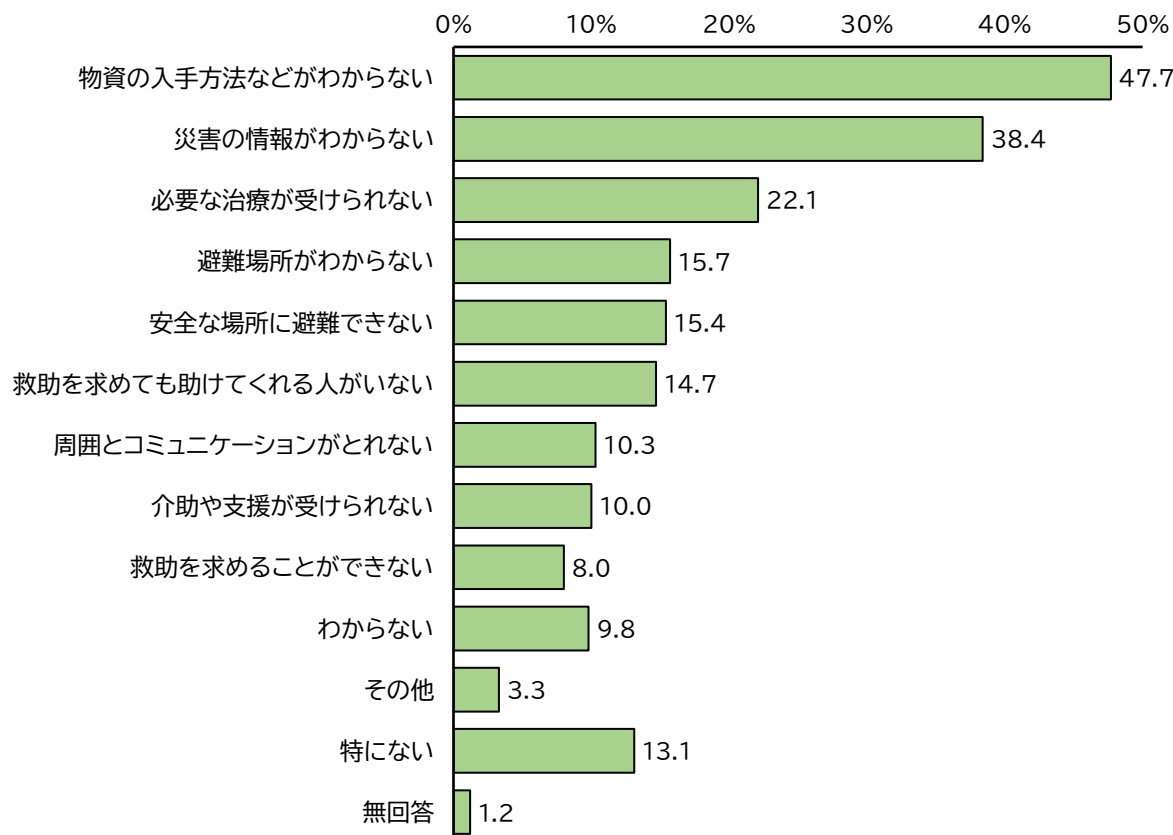


①地域の防災訓練の参加状況および②自主防災組織の加入状況については、それぞれ「いいえ」が最も多くなっています。

③緊急時における要援護者への手助けの可否については、「わからない」が 44.4%で最も多く、次いで、「はい」が 28.2%となっています。一方で、④緊急時における避難所への誘導の手助けについては、「いいえ」(手助けが必要ない)が 51.4%で最も多く、次いで、「はい」(手助けが必要である)が 25.5%となっています。

問 19 あなたは、地震などの災害が発生した時に、困ることはどのようなことだと思いますか。  
【〇はあてはまるものすべて】

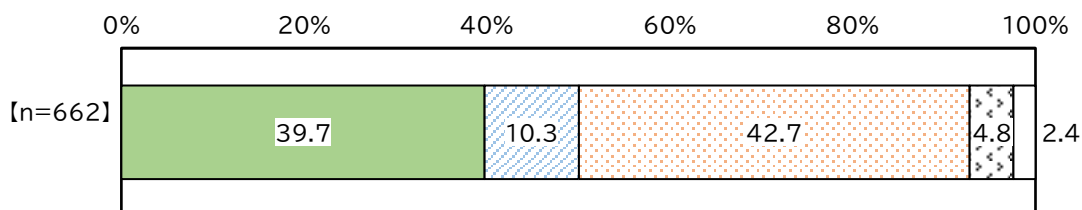
【n=662】



地震などの災害発生時において困難に感じることは、「物資の入手方法などがわからない」が47.7%で最も多く、次いで、「災害の情報がわからない」が38.4%、「必要な治療が受けられない」が22.1%、「避難場所がわからない」が15.7%となっています。

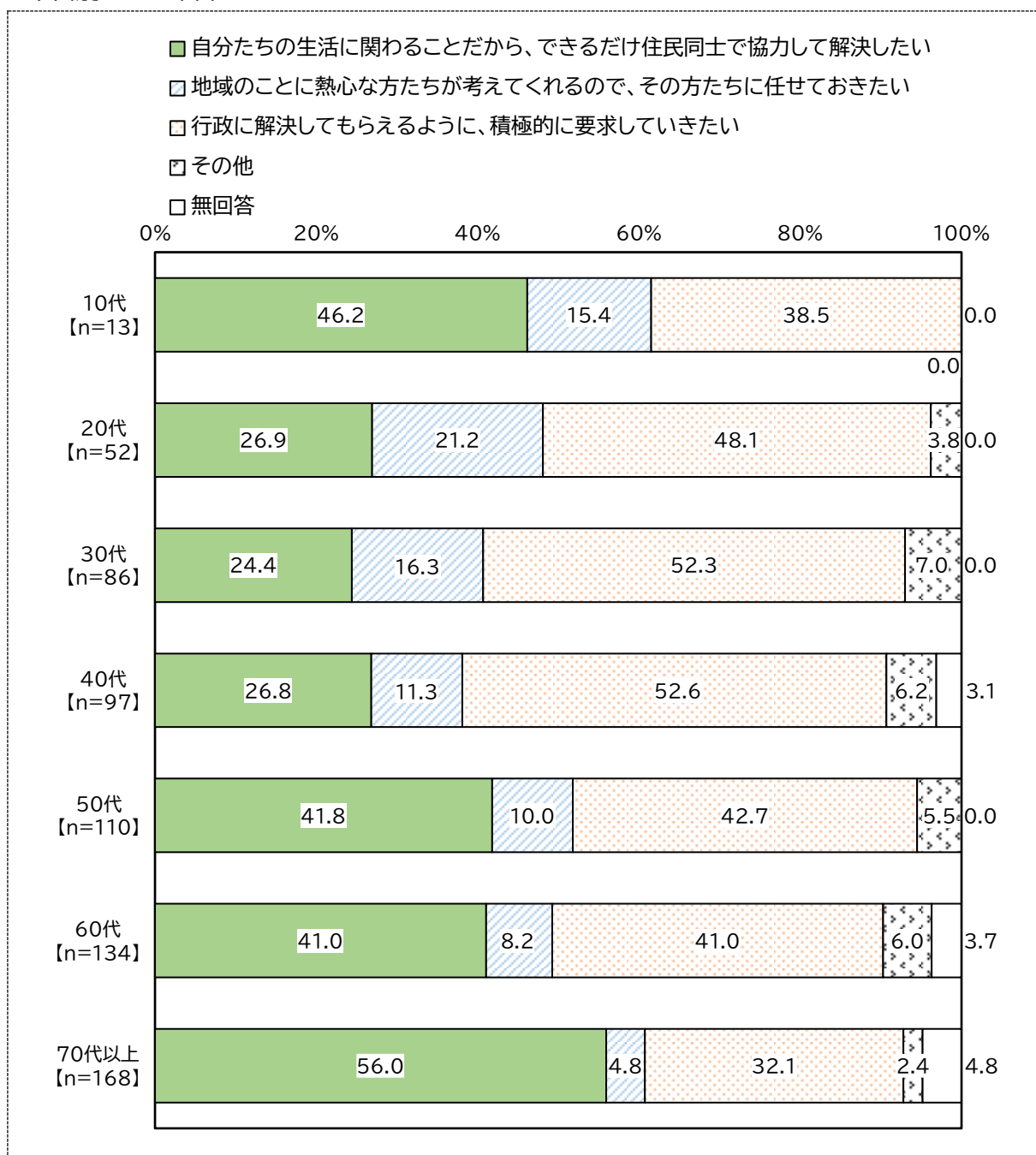
問 20 日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。【〇は1つ】

- 自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい
- 地域のことに熱心な方たちが考えてくれるので、その方たちに任せておきたい
- 行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい
- その他
- 無回答



日常生活の中で起こる問題に対しては、「行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい」が42.7%で最も多く、次いで、「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」が39.7%となっています。

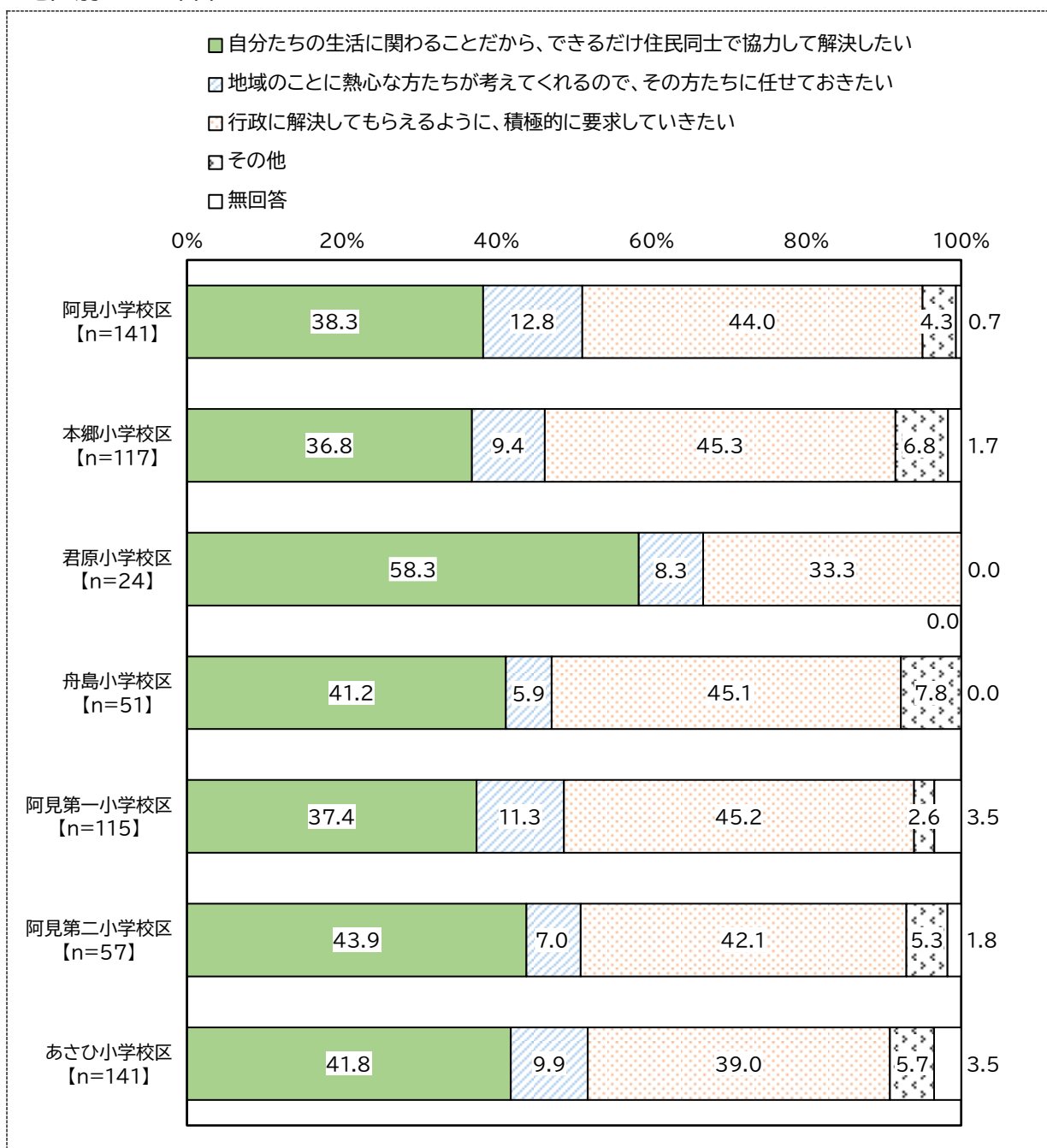
▶年代別クロス集計



年代別にみると、10代では「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」が46.2%となる一方、20代から40代ではその割合が2割から3割程度にとどまりました。

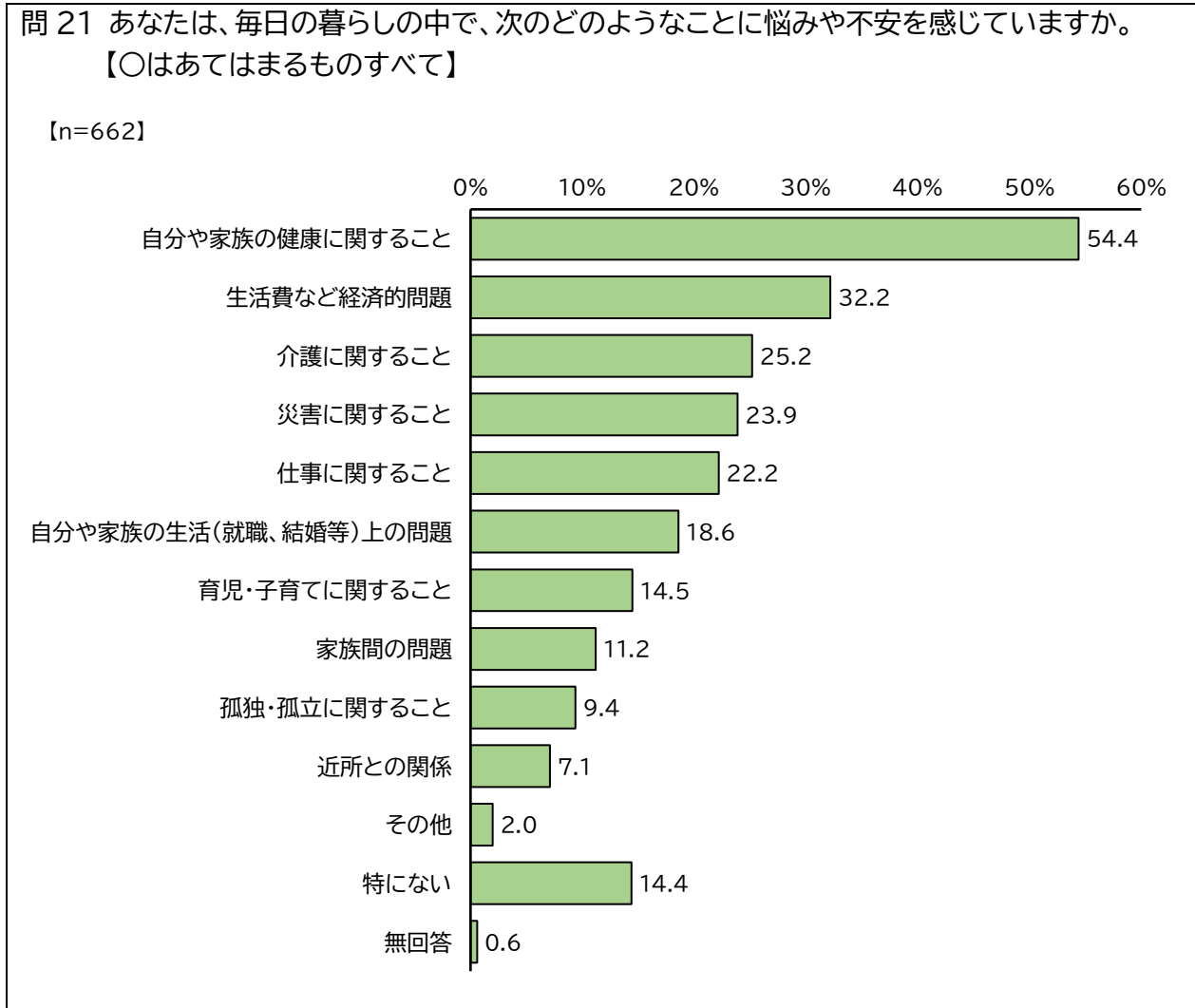
また、「行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい」の回答率は10代および70代以上を除くすべての年代で4割を超えており、30代、40代においては半数を超える結果となっています。

▶地区別クロス集計



地区別に見ると、君原小学校区では「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」が半数を超えています。その他の地域においては、回答の構成に大きな違いは見られませんでした。

#### (4) 悩みや不安、相談について



日常における悩みについては、「自分や家族の健康に関すること」が 54.4%で最も多く、次いで「生活費など経済的問題」が 32.2%、「介護に関すること」が 25.2%となっています。

▶年代別クロス集計

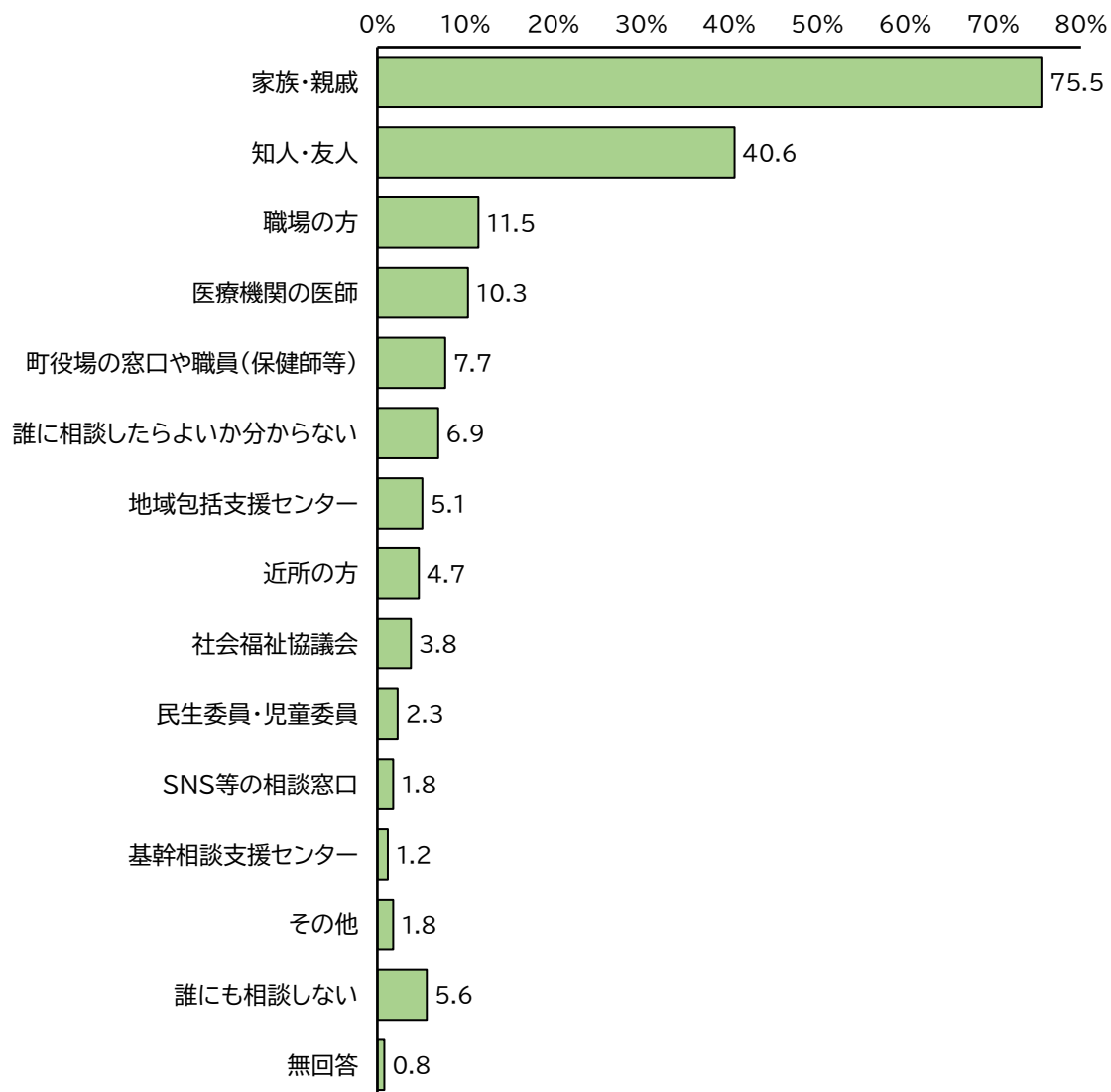
	合計 (人)	自分や家族の健康 に関すること	介護に 関すること	仕事に 関すること	生活費など 経済的問題	近所との関係	育児・子育てに 関すること
10代	13	30.8	7.7	7.7	38.5	0.0	7.7
20代	52	32.7	11.5	25.0	38.5	5.8	21.2
30代	86	52.3	12.8	40.7	46.5	8.1	50.0
40代	97	57.7	22.7	40.2	41.2	11.3	30.9
50代	110	53.6	30.0	31.8	35.5	5.5	9.1
60代	134	55.2	32.8	15.7	31.3	6.7	0.0
70代以上	168	62.5	29.8	1.8	14.9	6.5	0.6

	合計 (人)	家族間の問題	自分や家族の 生活上の問題	災害に 関すること	孤独・孤立に 関すること	特にない	その他	無回答
10代	13	7.7	46.2	30.8	7.7	30.8	0.0	0.0
20代	52	9.6	36.5	28.8	7.7	11.5	1.9	0.0
30代	86	17.4	29.1	11.6	5.8	8.1	2.3	0.0
40代	97	14.4	28.9	28.9	10.3	12.4	4.1	0.0
50代	110	12.7	23.6	16.4	10.0	10.9	2.7	0.0
60代	134	11.9	9.0	31.3	7.5	16.4	0.7	0.7
70代以上	168	5.4	4.2	24.4	12.5	19.0	1.2	1.8

年代別にみると、上位の回答の構成はおおむね共通している中、30代、40代では「仕事に関する  
こと」、「生活費など経済的問題」や「育児・子育てに関すること」が多くなっており、50代、60代、70  
代以上では「介護に関すること」が特に多くなっているなど年代によって違いがみられます。  
また、「自分や家族の生活上の問題」および「特にない」は10代で多くなっています。

問 22 あなたは悩みや不安を誰に相談したいと思いますか。【○はあてはまるものすべて】

【n=662】



悩みや不安の相談を誰にしたいかについては、「家族・親戚」が75.5%で最も多く、次いで、「知人・友人」が40.6%、「職場の方」が11.5%となっています。

▶年代別クロス集計

	合計 (人)	家族・親戚	近所の方	知人・友人	職場の方	医療機関の 医師	民生委員・ 児童委員	社会福祉 協議会
10代	13	76.9	0.0	69.2	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	52	73.1	0.0	44.2	15.4	5.8	0.0	3.8
30代	86	77.9	2.3	44.2	19.8	3.5	1.2	0.0
40代	97	78.4	8.2	49.5	21.6	9.3	1.0	5.2
50代	110	73.6	3.6	42.7	20.9	8.2	0.9	3.6
60代	134	76.1	3.7	38.8	4.5	14.2	3.0	4.5
70代以上	168	74.4	7.1	30.4	0.6	14.9	4.8	4.8

	合計 (人)	地域包括 支援センター	基幹相談 支援センター	町役場の 窓口や職員	SNS等の 相談窓口	誰に相談 したらよいか 分からない	誰にも 相談しない	その他	無回答
10代	13	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4	0.0	0.0
20代	52	3.8	0.0	11.5	5.8	11.5	5.8	0.0	0.0
30代	86	1.2	0.0	3.5	2.3	4.7	10.5	2.3	0.0
40代	97	2.1	1.0	5.2	1.0	6.2	5.2	2.1	0.0
50代	110	3.6	1.8	5.5	4.5	8.2	4.5	5.5	0.0
60代	134	6.7	2.2	9.0	0.7	5.2	4.5	0.7	1.5
70代以上	168	9.5	1.2	11.3	0.0	7.7	3.6	0.6	1.8

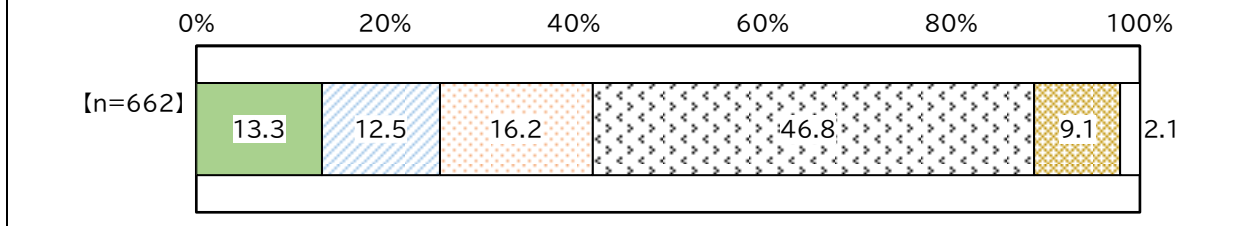
年代別にみると、「家族・親戚」と回答した方はすべての年代で7割を超えています。また、「誰に相談したらよいか分からない」は特に20代に多く、「誰にも相談しない」は特に10代で多くなっています。

(5) 地域活動やボランティア活動などについて

問 23-(1) あなたは、現在、地域活動※やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等について、取り組んでいますか。【○は1つ】

※地域活動:自治会、町内会、老人クラブなど、ボランティア以外の目的でつくられた団体の活動。

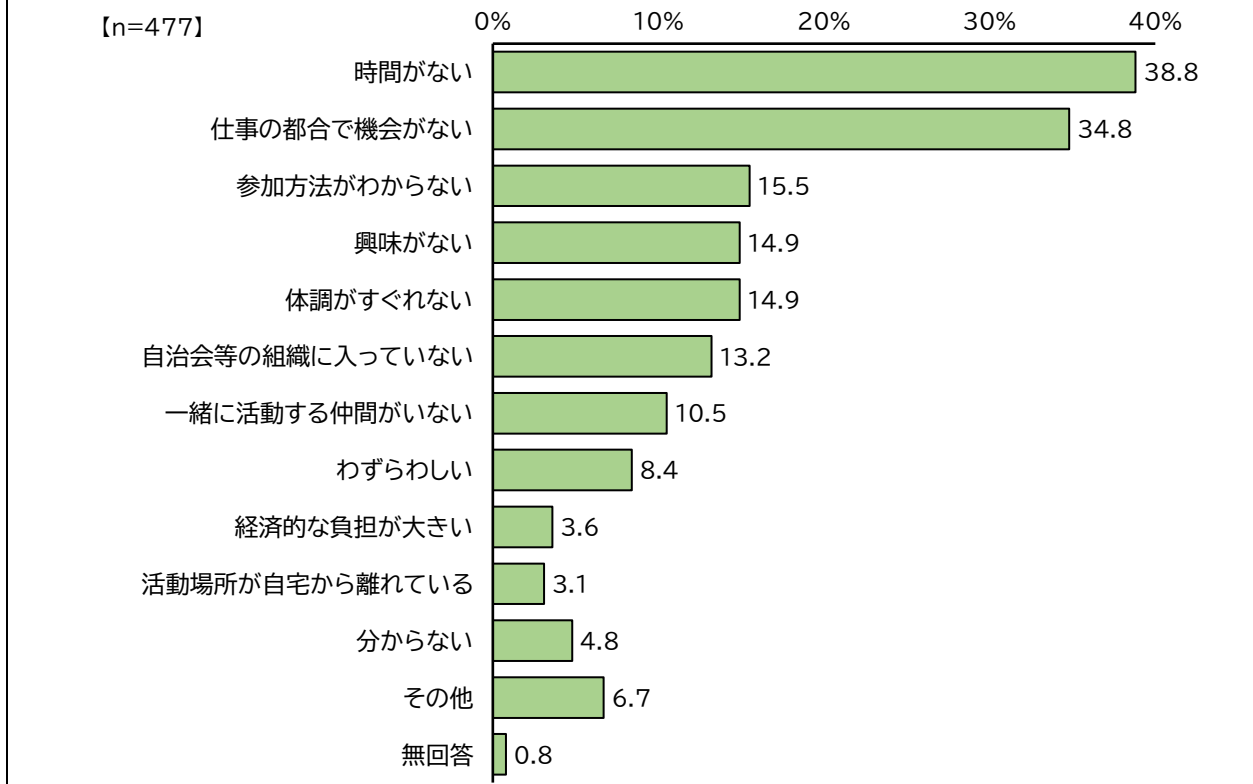
- 現在、継続的に取り組んでいる
- たまに、取り組むことがある
- 取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない
- 取り組んだことはない
- 取り組むことができない
- 無回答



地域活動やボランティア活動への取り組み状況については、「取り組んだことはない」が46.8%で最も多く、次いで、「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」が16.2%となっています。

【問 23-(1)で「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」、「取り組んだことはない」または「取り組むことができない」を選んだ方におたずねします。】

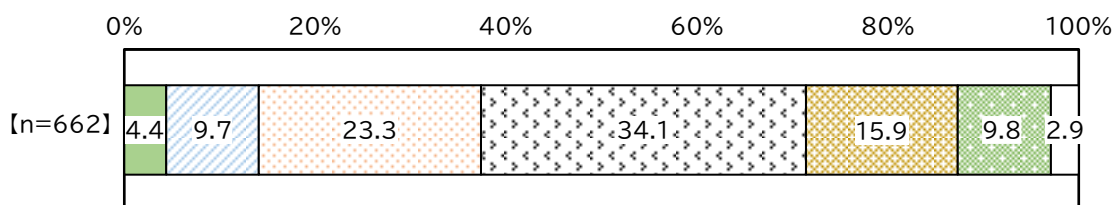
問 23-(2) 現在活動していない理由は何ですか。【○はあてまはるものすべて】



問 23-(1)で「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」、「取り組んだことはない」または「取り組むことができない」と回答した方にその理由を尋ねたところ、「時間がない」が38.8%で最も多く、次いで、「仕事の都合で機会がない」が34.8%、「参加方法がわからない」が15.5%となりました。

問 24 あなたは、今後、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等に  
取り組むことについて、どのようにお考えですか。【○は1つ】

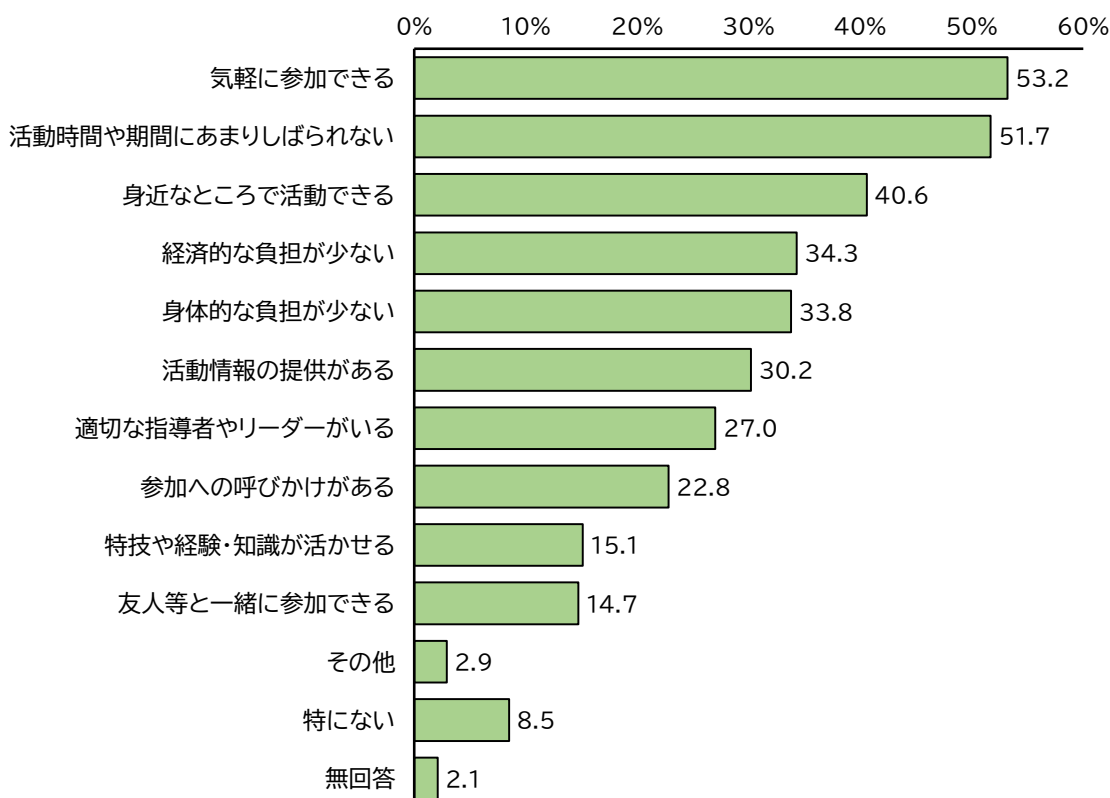
- 積極的に、取り組んでいきたい
- できるだけ取り組んでいきたい
- 機会があれば、取り組んでもよい
- 条件を整えば、取り組んでもよい
- あまり取り組みたくない
- 取り組むことができない
- 無回答



地域活動やボランティア活動等に対する参加意向については、「条件を整えば、取り組んでもよい」が 34.1%で最も多く、次いで、「機会があれば、取り組んでもよい」が 23.3%、「あまり取り組みたくない」が 15.9%、「取り組むことができない」が 9.8%となっています。

問 25 地域活動・ボランティア活動に新たに参加、または今の活動を継続する上で、必要と思う  
条件はどれですか。【○はあてはまるものすべて】

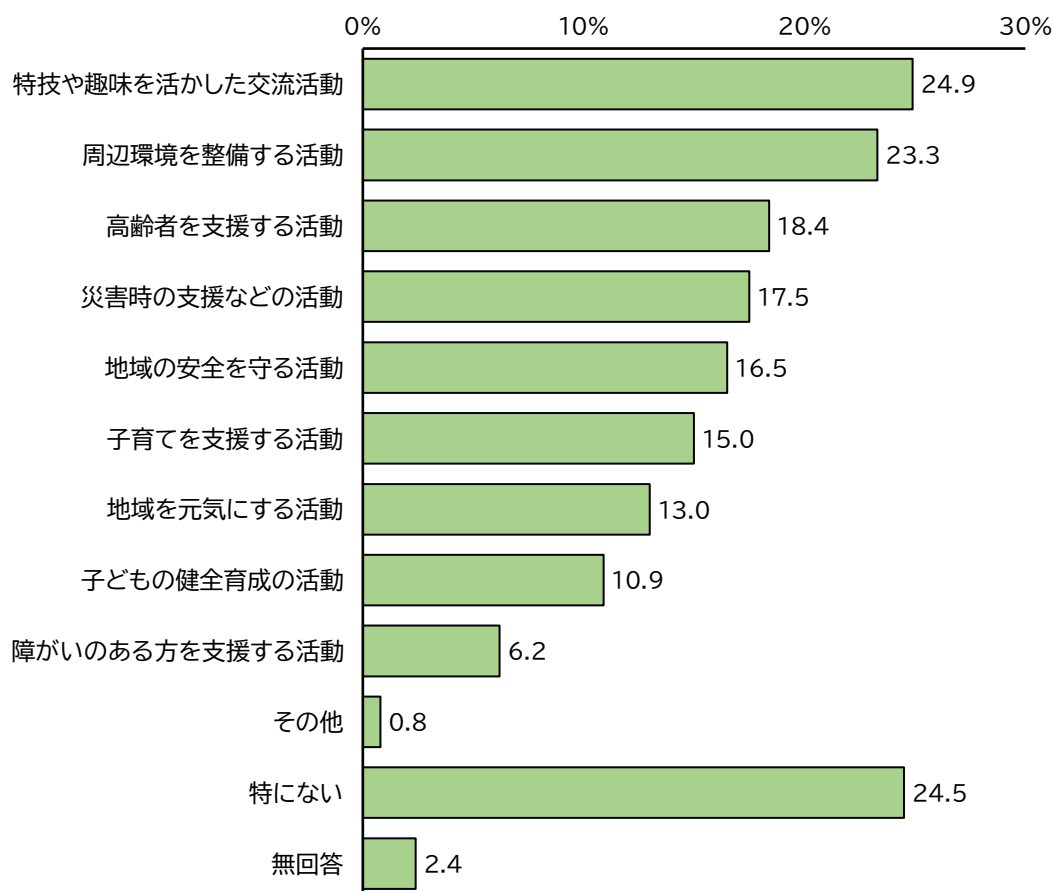
【n=662】



地域活動やボランティア活動を行う上で必要だと思う条件については、「気軽に参加できる」が 53.2%で最も多く、次いで、「活動時間や期間にあまりしぼられない」が 51.7%、「身近なところで活動できる」が 40.6%、「経済的な負担が少ない」が 34.3%、「身体的な負担が少ない」が 33.8%となっています。

問 26 あなたが今後してみたい地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する支援活動等は何ですか。【○は3つまで】

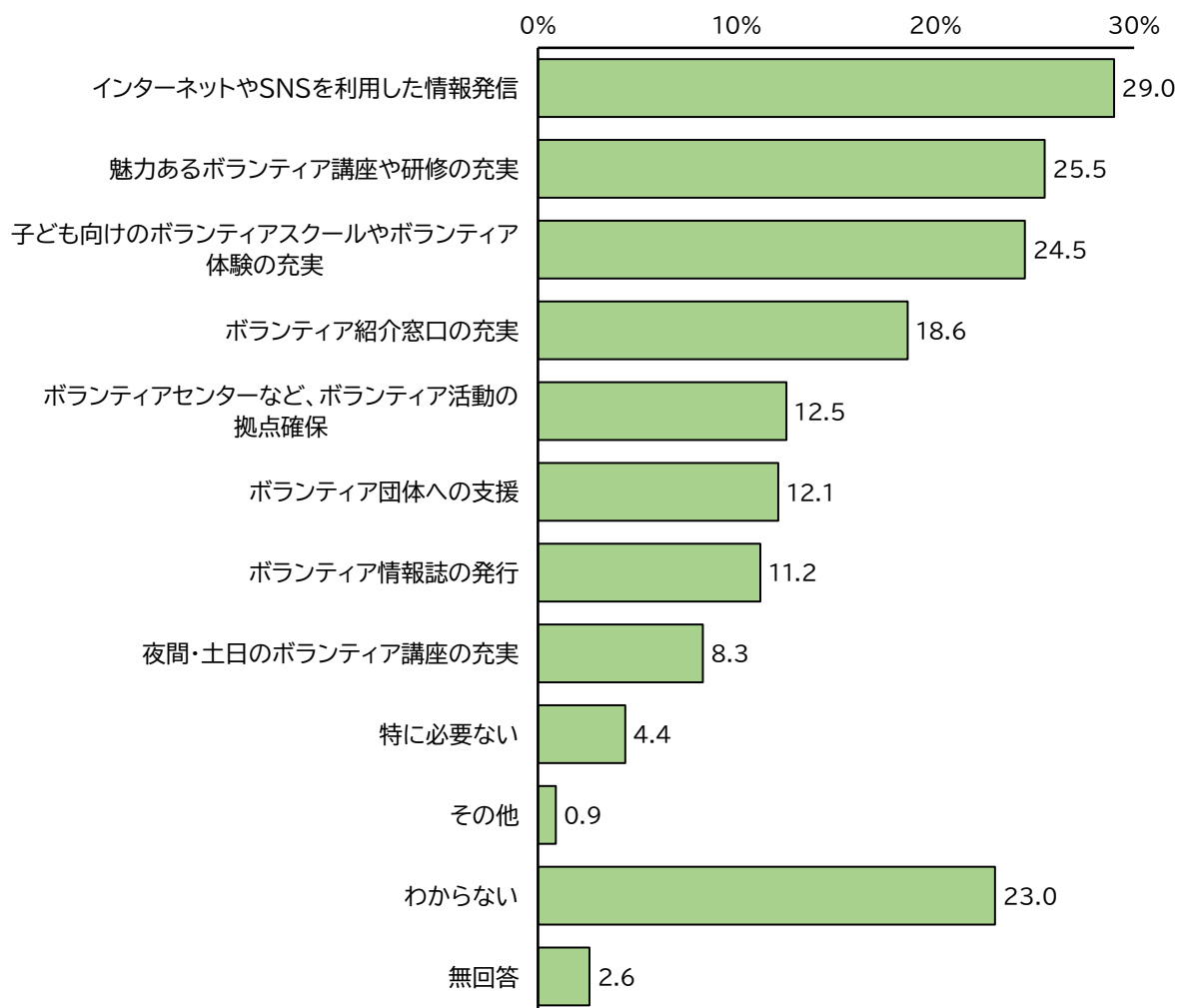
【n=662】



今後してみたい地域活動やボランティア等については、「特技や趣味を活かした交流活動(手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語、パソコン、陶芸など)」が 24.9%で最も多く、次いで、「周辺環境を整備する活動(道路・公園の清掃、リサイクルなど)」が 23.3%となっています。一方、「特にない」と回答した割合は 24.5%でした。

問 27 あなたはボランティア活動の推進について、今後重点的に行われたらよいと思うことは何ですか。【〇は3つまで】

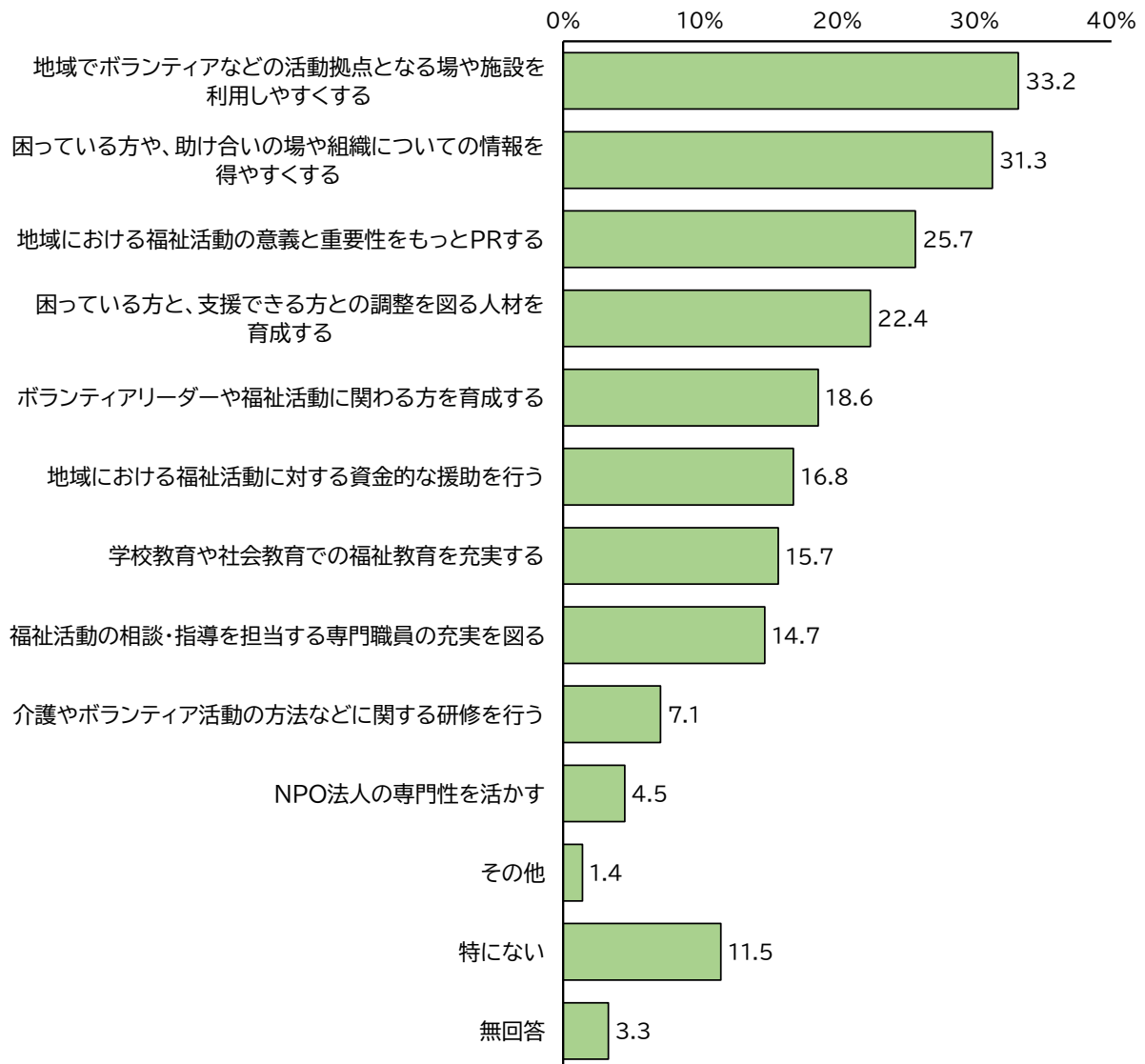
【n=662】



ボランティア活動における重点的な取り組みについては、「インターネットや SNS を利用した情報発信」が 29.0%で最も多く、次いで、「魅力あるボランティア講座や研修の充実」が 25.5%、「子ども向けのボランティアスクールやボランティア体験の充実」が 24.5%となっています。

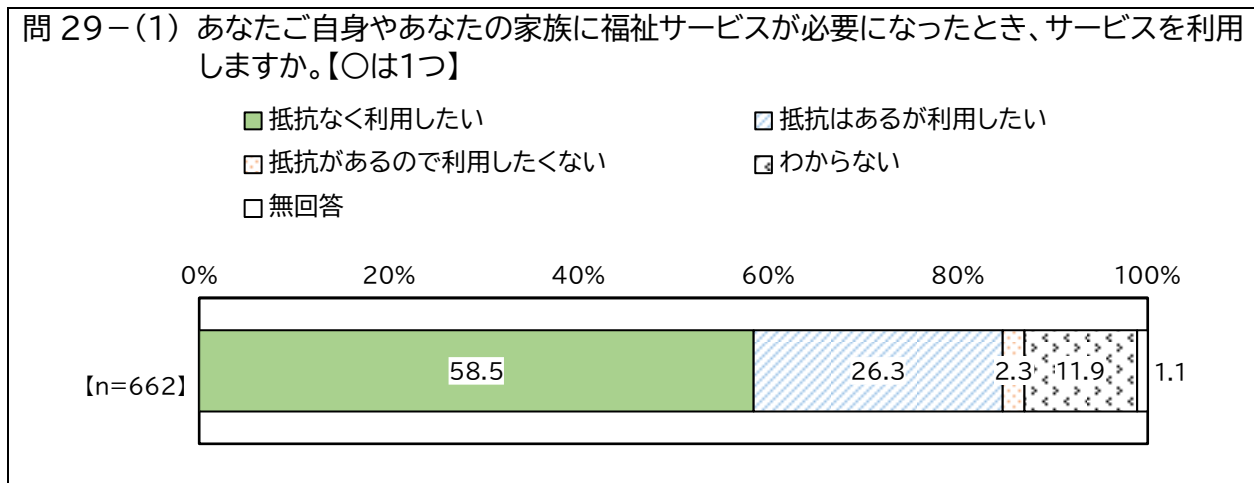
問 28 地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。【〇は3つまで】

【n=662】

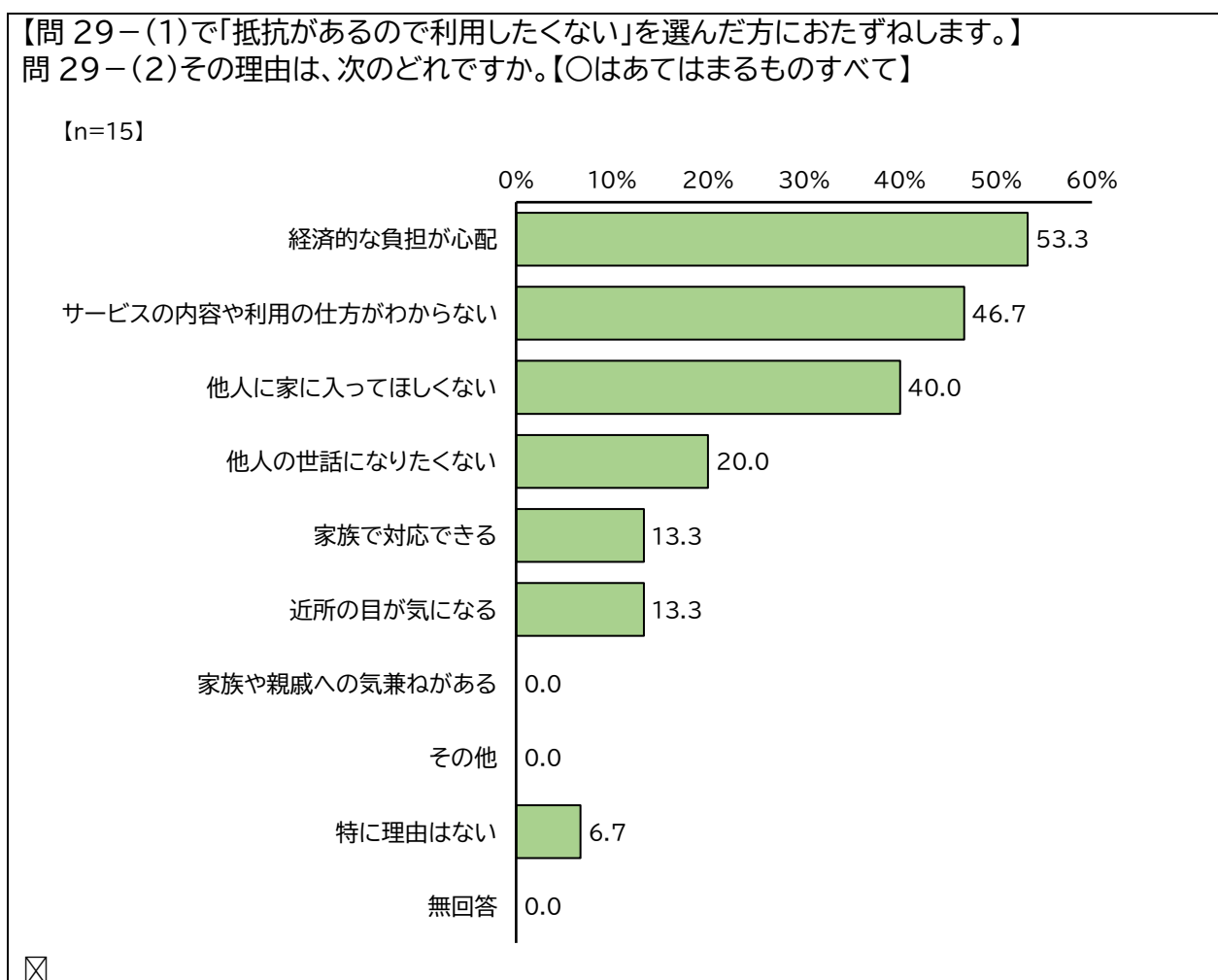


地域での助け合い、支え合い活動を活発にするために重要なことについては、「地域でボランティアなどの活動拠点となる場や施設を利用しやすくする」が 33.2%で最も多く、次いで、「困っている方や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする」が 31.3%、「地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする」が 25.7%となっています。

## (6) 福祉サービスなどについて



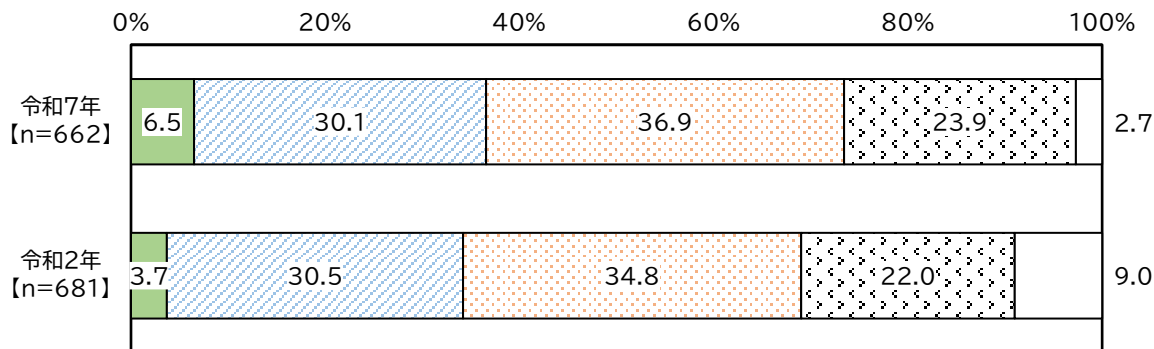
回答者やその家族が福祉サービスを必要としたときの利用意向については、「抵抗なく利用したい」が58.5%で最も多く、次いで、「抵抗はあるが利用したい」が26.3%、「抵抗があるので利用したくない」が2.3%となっています。



前問で「抵抗があるので利用したくない」と回答した方にその理由を尋ねたところ、「経済的な負担が心配」が53.3%で最も多く、次いで、「サービスの内容や利用の仕方がわからない」が46.7%、「他人に家に入ってほしくない」が40.0%となりました。

問 30-(1) あなたは、自分に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できているとお考えですか。【〇は1つ】

- 十分入手できている
- 十分ではないが、入手できている
- ほとんど入手できていない
- 今のところ情報を得る必要がない
- 無回答



今回の調査では、福祉サービスに関する情報の入手状況について、「十分入手できている」が6.5%、「十分ではないが、入手できている」が30.1%となっており、この2つの選択肢を合計した割合は36.6%となっています。

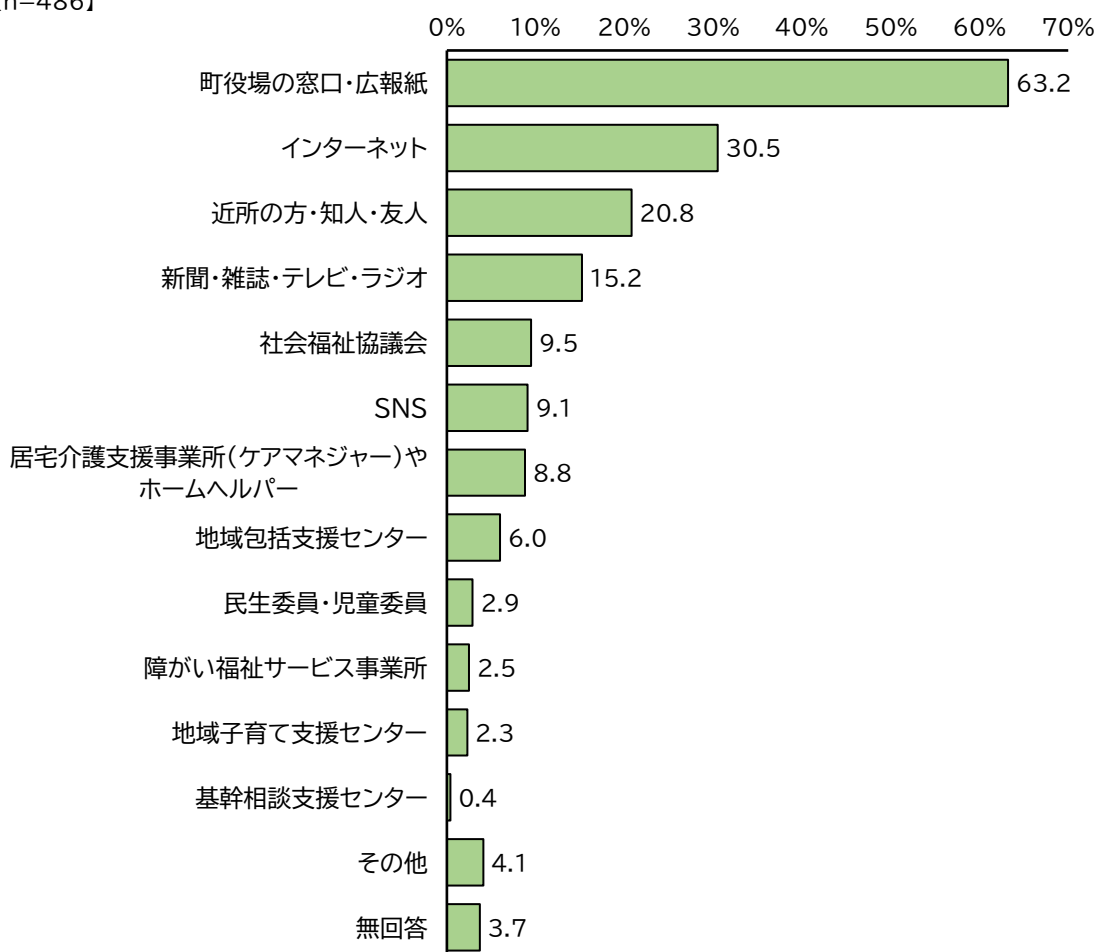
令和2年の調査では、この2つの選択肢を合計した割合は34.2%となっており、2.4%の増加となりました。

【問 30-(1)で「十分入手できている」、「十分ではないが、入手できている」、「ほとんど入手できていない」を選んだ方におたずねします。】

問 30-(2) あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。

【○はあてまはるものすべて】

【n=486】



福祉サービスに関する情報の入手先については、「町役場の窓口・広報紙」が 63.2%で最も多く、次いで、「インターネット」が 30.5%、「近所の方・知人・友人」が 20.8%、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が 15.2%、「社会福祉協議会」が 9.5%となっています。

▶年代別クロス集計

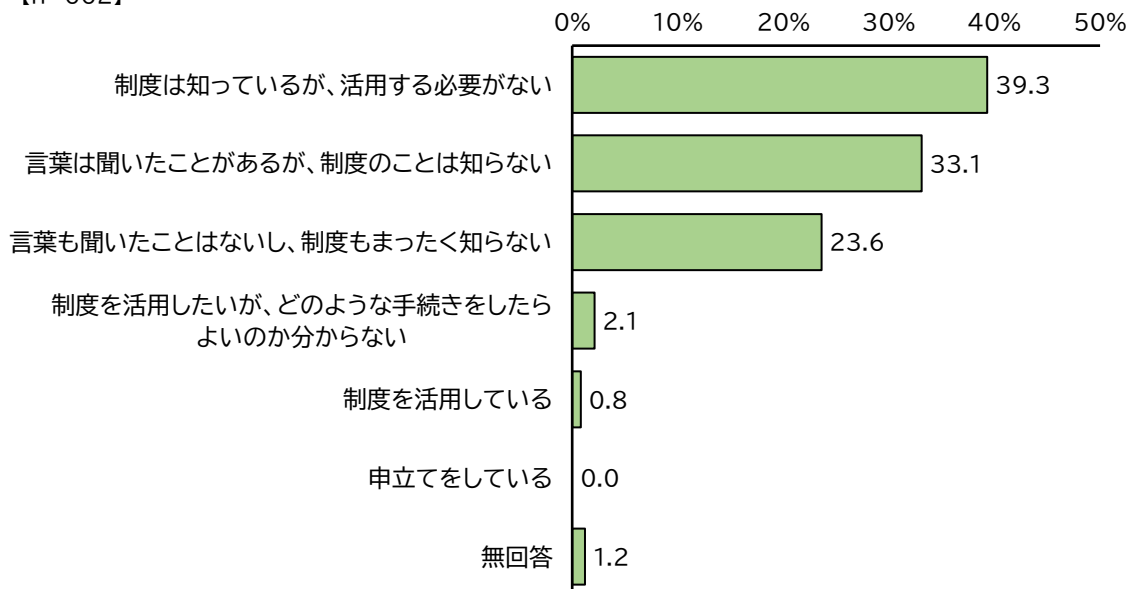
	合計 (人)	町役場の窓口・広報紙	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	障がい福祉サービス 事業所	地域包括 支援センター	地域子育て 支援センター	基幹相談 支援センター
10代	13	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	52	44.1	0.0	2.9	2.9	0.0	2.9	0.0
30代	86	69.5	1.7	5.1	1.7	5.1	15.3	0.0
40代	97	58.8	1.5	4.4	1.5	2.9	1.5	0.0
50代	110	64.0	2.3	9.3	2.3	5.8	0.0	0.0
60代	134	63.6	2.0	11.1	2.0	13.1	0.0	1.0
70代以上	168	68.8	6.3	14.8	3.9	4.7	0.0	0.8

	合計 (人)	居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー)や ホームヘルパー	近所の方・知人・友人	新聞・雑誌・ テレビ・ラジオ	インターネット	SNS	その他	無回答
10代	13	0.0	30.0	20.0	60.0	40.0	10.0	0.0
20代	52	2.9	17.6	2.9	35.3	26.5	17.6	0.0
30代	86	1.7	20.3	3.4	39.0	15.3	5.1	0.0
40代	97	5.9	11.8	13.2	52.9	11.8	4.4	4.4
50代	110	11.6	19.8	11.6	33.7	9.3	3.5	2.3
60代	134	17.2	24.2	18.2	26.3	4.0	1.0	6.1
70代以上	168	7.8	23.4	25.0	11.7	1.6	2.3	5.5

年代別にみると、10代では「インターネット」が最も多くなっているのに対し、10代以外のすべての年代では「町役場の窓口・広報紙」が最も多くなっていました。また、「SNS」と回答した割合は10代が最も多く、世代が上がるごとに減少する傾向がみられました。

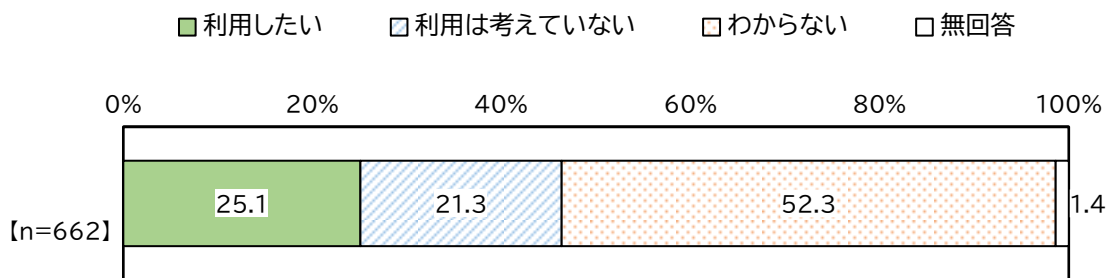
問 31 「成年後見制度」を知っていますか。【〇は1つ】

【n=662】



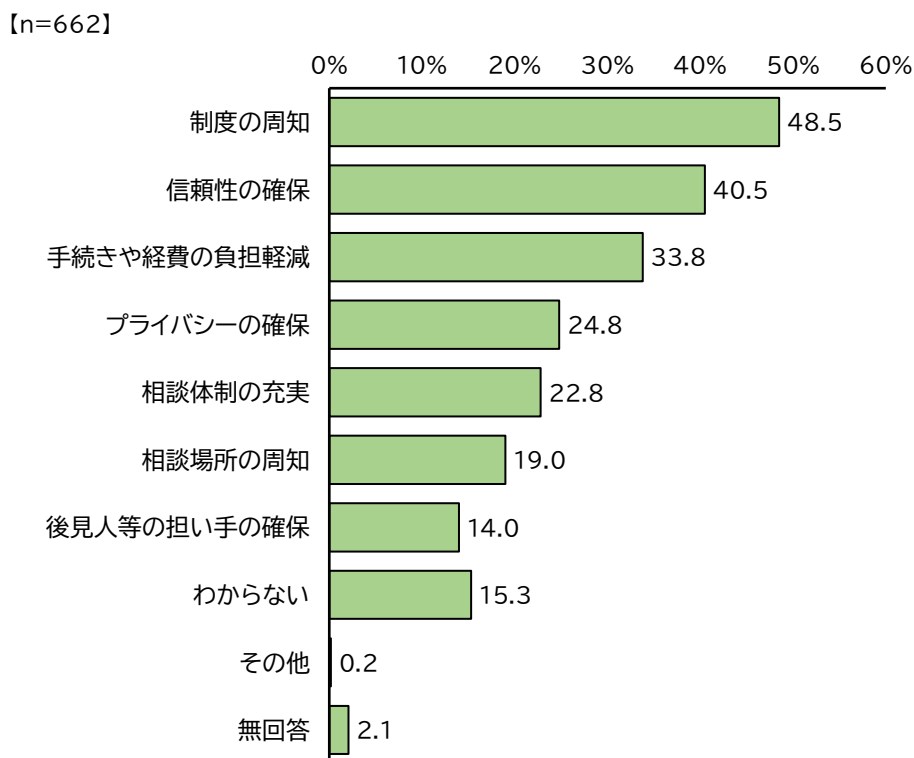
成年後見制度の認知状況については、「制度は知っているが、活用する必要がない」が 39.3% で最も多く、次いで、「言葉は聞いたことがあるが、制度のことは知らない」が 33.1%、「言葉も聞いたことはないし、制度もまったく知らない」が 23.6% となっています。

問 32 あなたは、今後「成年後見制度」が必要になった時に、制度を利用したいですか。  
【〇は1つ】



成年後見制度の利用意向については、「利用したい」が 25.1%、「利用は考えていない」が 21.3%となっています。

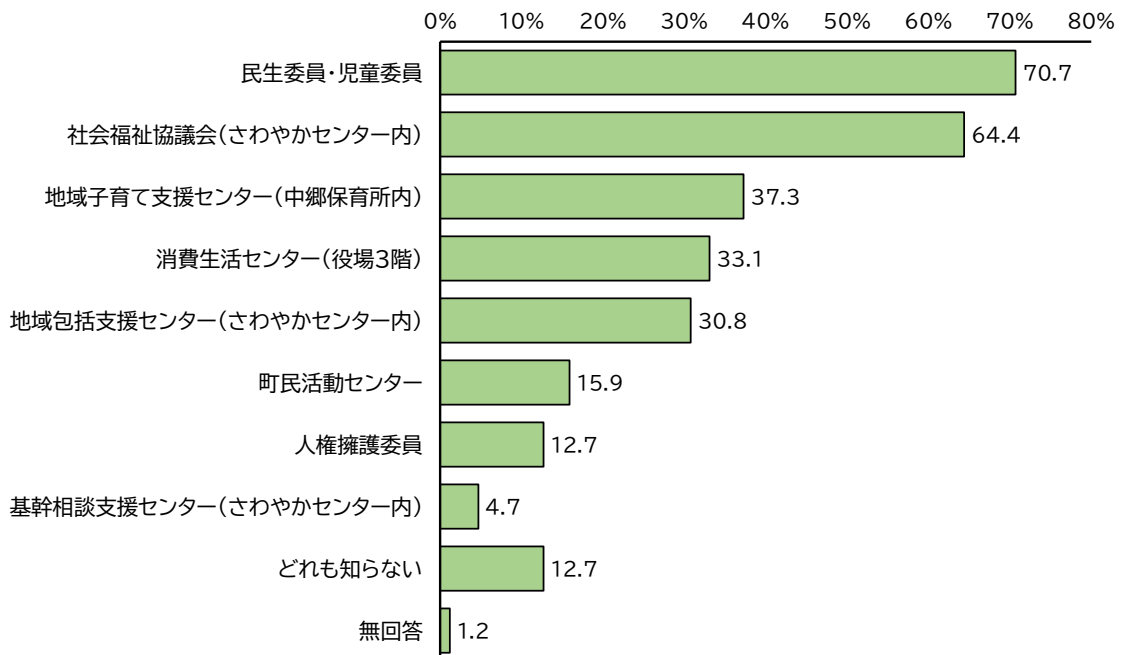
問 33 成年後見制度を利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。  
【〇は3つまで】



成年後見制度の利用促進に必要なことについては、「制度の周知」が 48.5%で最も多く、次いで、「信頼性の確保」が 40.5%、「手続きや経費の負担軽減」が 33.8%となっています。

問 34 あなたは、次の団体や機関を知っていますか。【○はあてはまるものすべて】

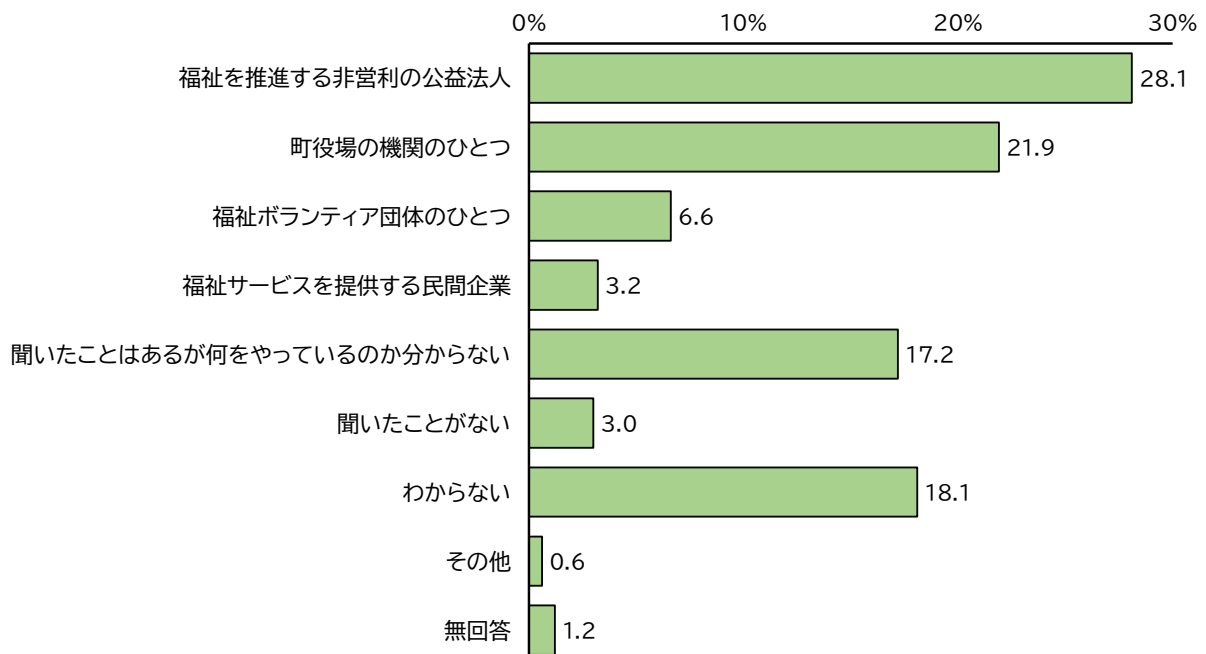
【n=662】



町の福祉団体や機関の認知状況については、「民生委員・児童委員」が 70.7%で最も多く、次いで、「社会福祉協議会(さわやかセンター内)」が 64.4%、「地域子育て支援センター(中郷保育所内)」が 37.3%となっています。一方、「どれも知らない」と回答した割合は 12.7%となっています。

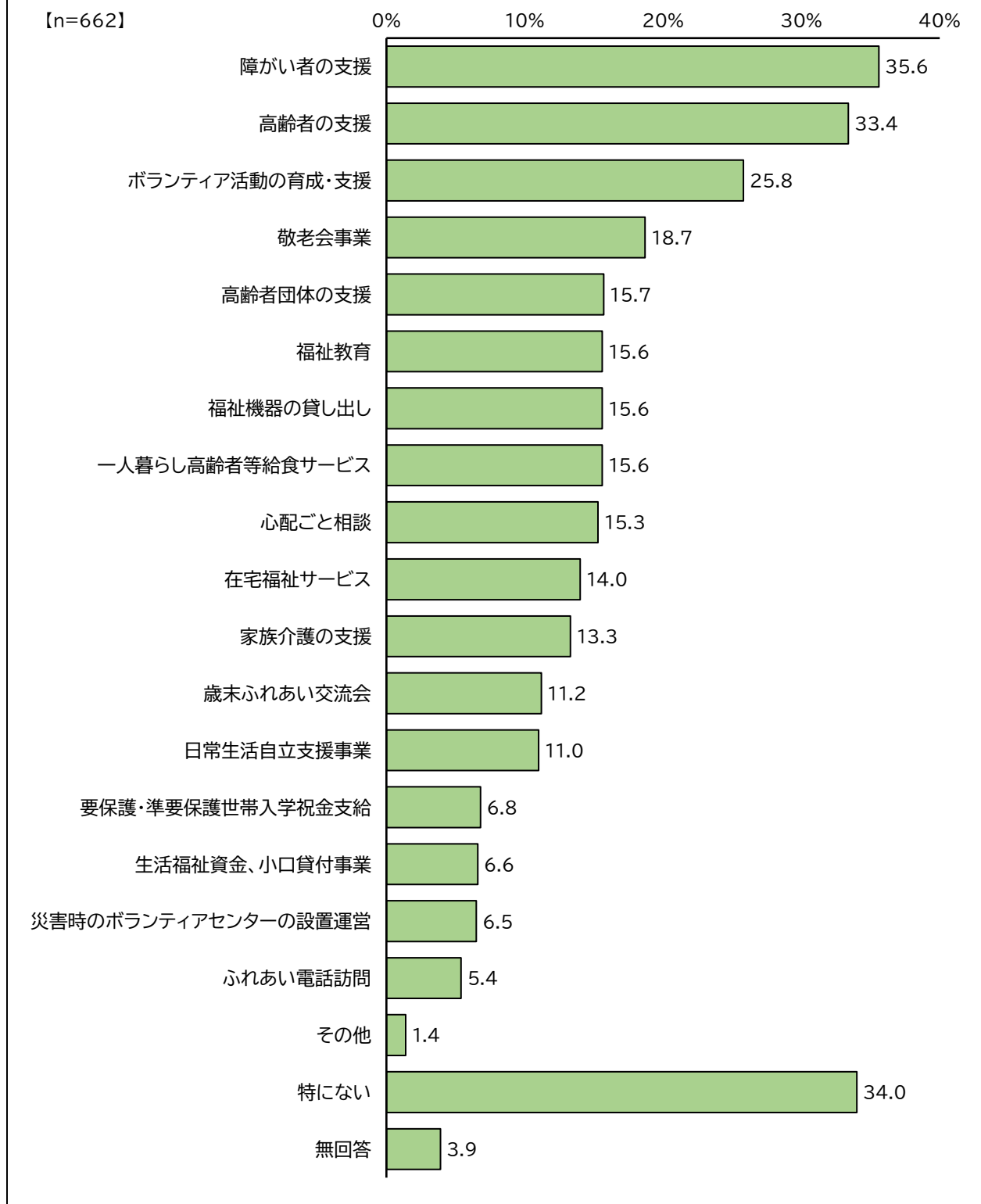
問 35 社会福祉協議会とは、どのようなところだと思いますか。【○は1つ】

【n=662】



社会福祉協議会の役割に対する認知状況については、「福祉を推進する非営利の公益法人」が 28.1%で最も多く、次いで、「町役場の機関のひとつ」となっています。一方、「聞いたことはあるが何をやっているのか分からない」が 17.2%、「わからない」が 18.1%となっています。

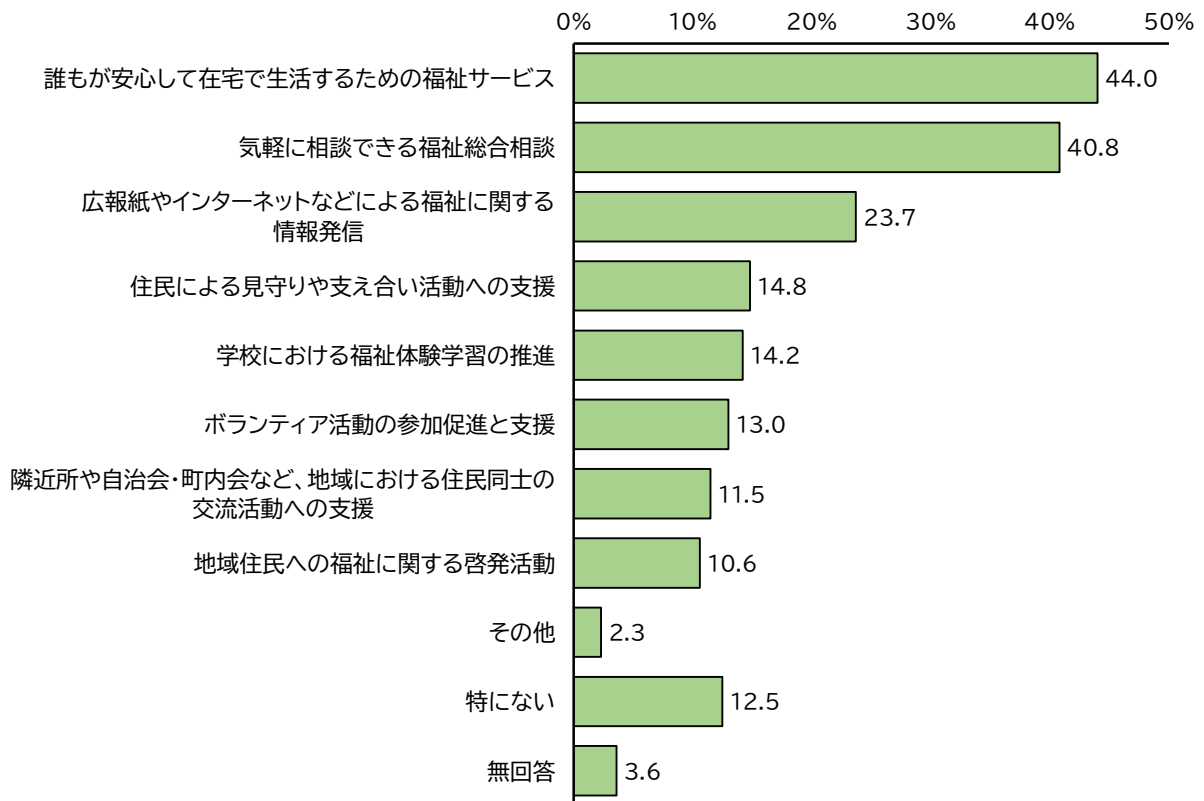
問 36 阿見町社会福祉協議会が実施している次の事業について、知っているものをお選びください。【○はあてはまるものすべて】



社会福祉協議会が実施している事業に対する認知状況については、「障がい者の支援」が 35.6%で最も多く、次いで、「高齢者の支援」が 33.4%、「ボランティア活動の育成・支援」が 25.8%、「敬老会事業」が 18.7%となっています。一方、「特にない」と回答した割合は 34.0%となっています。

問 37 社会福祉協議会の行う活動・支援として、今後、充実してほしいものはどれですか。  
【〇は3つまで】

【n=662】

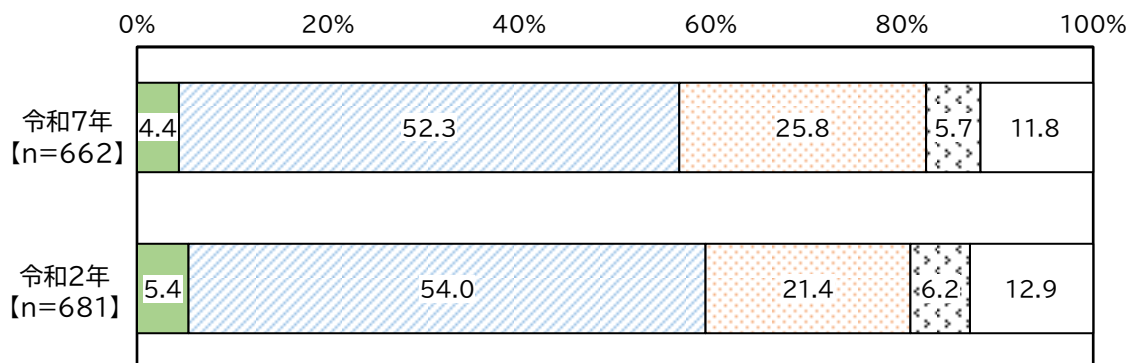


社会福祉協議会が行う活動・支援の中で、今後、充実してほしいものについては、「誰もが安心して在宅で生活するための福祉サービス」が 44.0%で最も多く、次いで、「気軽に相談できる福祉総合相談」が 40.8%、「広報紙やインターネットなどによる福祉に関する情報発信」が 23.7%、「住民による見守りや支え合い活動への支援」が 14.8%、「学校における福祉体験学習の推進」が 14.2%となっています。

(7) 福祉サービスなどについて

問 38 阿見町の保健福祉施策(サービス)について、あなたはどのように感じていますか。  
【〇は1つ】

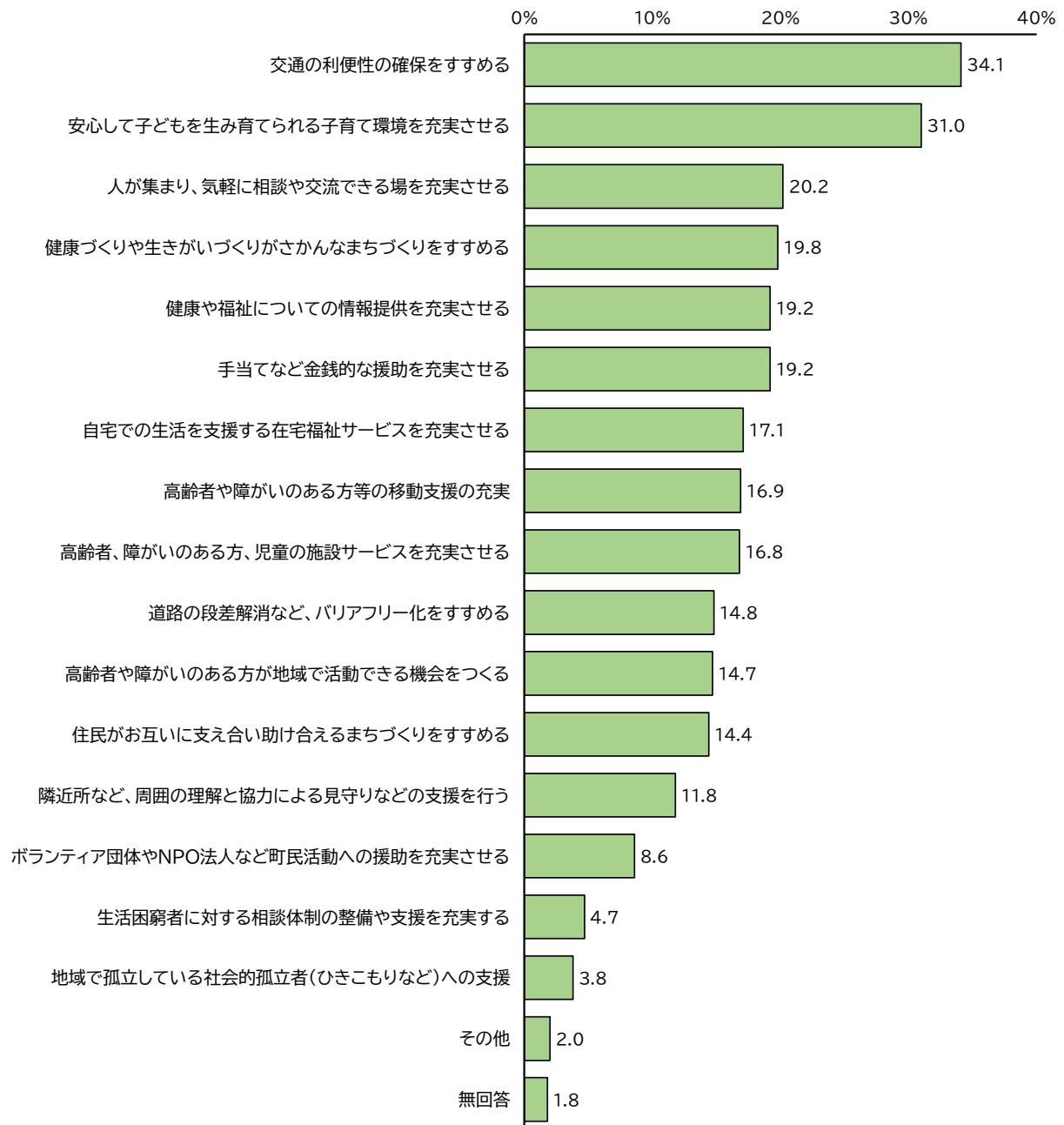
- とても充実している
- まあまあ充実している
- あまり充実していない
- 充実していない
- 無回答



今回の調査では、阿見町の保健福祉施策(サービス)については、「とても充実している」が4.4%、「まあまあ充実している」が52.3%で、これら2つを合計した割合は56.7%となっています。令和2年の調査ではこれら2つを合計した割合が59.4%であり、令和2年から令和7年にかけて2.7%減少しています。

問 39 阿見町の保健福祉施策をより充実していくために、あなたが重要と考える取り組みはどれですか。【〇は3つまで】

【n=662】



阿見町の保健福祉施策をより充実していくために、重要だと考える取り組みについては、「交通の利便性の確保をすすめる」が 34.1%で最も多く、次いで、「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」が 31.0%、「人が集まり、気軽に相談や交流できる場を充実させる」が 20.2%、「健康づくりや生きがいづくりがさかんなまちづくりをすすめる」が 19.8%、「健康や福祉についての情報提供を充実させる」が 19.2%となっています。

▶年代別クロス集計

	合計 (人)	隣近所など、周囲の理解 と協力による見守り などの支援を行う	ボランティア団体や NPO法人など町民活動 への援助を充実させる	高齢者や障がいのある 方が地域で活動できる 機会をつくる	人が集まり、気軽に 相談や交流できる場を 充実させる	健康や福祉についての 情報提供を充実させる	住民がお互いに支え合 い助け合えるまちづくり をすすめる(住民同士や 行政との協力等)
10代	13	15.4	7.7	7.7	38.5	7.7	30.8
20代	52	15.4	9.6	19.2	19.2	15.4	9.6
30代	86	10.5	10.5	10.5	20.9	10.5	10.5
40代	97	10.3	5.2	16.5	19.6	19.6	8.2
50代	110	10.9	11.8	17.3	20.9	16.4	15.5
60代	134	11.9	9.0	17.2	16.4	21.6	12.7
70代以上	168	12.5	7.1	11.3	22.0	25.0	20.8

	合計 (人)	健康づくりや生きがい づくりがさかんな まちづくりをすすめる	自宅での生活を支援 する在宅福祉サービ スを充実させる	高齢者、障がいのある 方、児童の施設サー ビスを充実させる	安心して子どもを生み育 てられる子育て環 境を充実させる	手当てなど金銭的な 援助を充実させる	生活困窮者に対する 相談体制の整備や 支援を充実する
10代	13	30.8	0.0	7.7	46.2	30.8	0.0
20代	52	15.4	5.8	19.2	34.6	26.9	1.9
30代	86	12.8	4.7	9.3	67.4	40.7	5.8
40代	97	10.3	13.4	22.7	34.0	22.7	9.3
50代	110	18.2	20.0	22.7	16.4	21.8	6.4
60代	134	26.9	20.1	17.9	26.1	14.9	3.0
70代以上	168	24.4	26.2	12.5	22.0	4.8	3.0

	合計 (人)	地域で孤立している 社会的孤立者 (ひきこもりなど)への 支援	交通の利便性の確保を すすめる	高齢者や障がいのある 方等の移動支援の充実	道路の段差解消など、 バリアフリー化を すすめる	その他	無回答
10代	13	15.4	23.1	7.7	7.7	0.0	0.0
20代	52	5.8	38.5	7.7	17.3	1.9	0.0
30代	86	3.5	26.7	5.8	12.8	4.7	1.2
40代	97	4.1	35.1	13.4	11.3	5.2	2.1
50代	110	3.6	37.3	14.5	19.1	1.8	2.7
60代	134	3.7	37.3	20.1	11.2	0.0	1.5
70代以上	168	2.4	32.1	26.8	16.7	0.6	2.4

年代別にみると、すべての年代で回答率が2割を超えていたのは「交通の利便性の確保をすすめる」でした。10代と30代では「安心して子どもを生み育てられる子育て環境を充実させる」がそれぞれ46.2%と67.4%で半数程度となっています。

▶地区別クロス集計

	合計 (人)	隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う	ボランティア団体やNPO法人など町民活動への援助を充実させる	高齢者や障がいのある方が地域で活動できる機会をつくる	人が集まり、気軽に相談や交流できる場を充実させる	健康や福祉についての情報提供を充実させる	住民がお互いに支え合い助け合えるまちづくりをすすめる(住民同士や行政との協力等)
阿見小学校区	141	11.3	5.7	13.5	22.0	14.2	12.1
本郷小学校区	117	16.2	13.7	17.1	20.5	14.5	11.1
君原小学校区	24	12.5	4.2	20.8	33.3	12.5	16.7
舟島小学校区	51	5.9	5.9	31.4	5.9	17.6	9.8
阿見第一小学校区	115	12.2	7.8	13.9	22.6	23.5	16.5
阿見第二小学校区	57	3.5	15.8	15.8	24.6	22.8	15.8
あさひ小学校区	141	13.5	7.8	6.4	19.1	25.5	17.7

	合計 (人)	健康づくりや生きがいづくりがさかんなまちづくりをすすめる	自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる	高齢者、障がいのある方、児童の施設サービスを充実させる	安心して子どもを生き育てられる子育て環境を充実させる	手当てなど金銭的な援助を充実させる	生活困窮者に対する相談体制の整備や支援を充実させる
阿見小学校区	141	19.9	19.1	19.9	29.8	17.0	5.7
本郷小学校区	117	19.7	16.2	17.1	31.6	26.5	1.7
君原小学校区	24	33.3	12.5	16.7	41.7	12.5	4.2
舟島小学校区	51	21.6	7.8	15.7	27.5	13.7	5.9
阿見第一小学校区	115	17.4	17.4	15.7	26.1	16.5	7.0
阿見第二小学校区	57	17.5	17.5	8.8	35.1	19.3	3.5
あさひ小学校区	141	21.3	17.0	17.7	34.0	20.6	5.0

	合計 (人)	地域で孤立している社会的孤立者(ひきこもりなど)への支援	交通の利便性の確保をすすめる	高齢者や障がいのある方等の移動支援の充実	道路の段差解消など、バリアフリー化をすすめる	その他	無回答
阿見小学校区	141	2.1	34.0	14.9	15.6	4.3	1.4
本郷小学校区	117	0.9	34.2	14.5	12.0	0.9	0.9
君原小学校区	24	0.0	41.7	8.3	4.2	0.0	0.0
舟島小学校区	51	5.9	58.8	21.6	15.7	0.0	0.0
阿見第一小学校区	115	7.0	33.9	16.5	17.4	2.6	2.6
阿見第二小学校区	57	8.8	28.1	21.1	14.0	0.0	1.8
あさひ小学校区	141	3.5	27.7	18.4	13.5	2.1	2.8

地区別に見ると、「交通の利便性の確保をすすめる」がすべての地区で 2 割以上の回答率となっており、特に舟島小学校区で 58.8%と最も多くなっています。

また、「安心して子どもを生き育てられる子育て環境を充実させる」についてもすべての地区で 2 割以上の回答率となっており、特に君原小学校区で 41.7%と最も多くなっています。

## (8) 地域福祉に対するご意見・ご要望について

問 40 ともに支え合い、助け合える地域社会をつくるために、何かアイデア・ご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

地域福祉に対するご意見・ご要望について、138人(20.8%)の方から150件のご意見をいただきました。一部抜粋を掲載しています。

### 行政政策全般について(制度やサービス、IT化など)

7件

- IT化すれば解決する事が多いのに、全く進まない事に不満。町長がリーダーシップを取って断固導入すれば一気に解決するのに、みんなにアンケートや希望を聞いている時点でこの町の遅さが出ている。市になった時、50,000人になった時などいろんなチャンス、タイミングがあるので茨城県で一番良い町、一番IT化が進んでいる街になって欲しい。◆(阿見小学校区 男性 50代 親と子の2世代世帯)
- 知ってる人だけが得をする制度等が有るならば見直して欲しい。自分のように興味の無い人にも興味を持ってもらえるような制度改変をお願い致します。◆(あさひ小学校区 男性 40代 親と子の2世代世帯)
- 各世帯にお金がないと犯罪が増える。とにかく全てのことに於いて阿見町民が全世帯にお金を配ってほしい。税金をなくして、税収を他から入れる方法を町でもっと考えてほしい。とにかく全世帯が金で困っているんだから、福祉うんぬんよりも、心の余裕はお金を配ることだと思う。◆(あさひ小学校区 男性 40代 親と子の2世代世帯)
- 阿見町にはよそに誇れる「ふれあい地区館」活動があるのだから、転入者にもその特色や活動内容を周知できるよう継続的な取組をしてほしい。市になり福祉事務所の機能が身近になるのだから、これをチャンスと捉えて、阿見の魅力を中心に押し出すことにより流入してくる住民が子育てが終わったら転出してしまうことのないような住民にわかり易い取組を続けてほしい。町長の公約にあった「給食費無償化」の完全実施。他で問題になっている学校の空き教室の増加を考えるに、強いプレハブ校舎でもいいので余った予算を福祉に回すことで(温水プール、400m公認トラックのある運動施設等)、多少出費が嵩んでも人が集まる魅力を増やせば必ず税収も伸び人口も減ることはないと思う。(トラックが300mだから小学生の記録会も他所に行くしかなかった) ◆(阿見小学校区 男性 60代 親と子と孫の3世代世帯)

### 福祉全般について(制度やサービス内容、ボランティア活動等)

15件

- 各人が感じている悩み・困りごと等を聞き入れてくれる受け皿(町として)があると、小さいこと大きいこと等の問題点が出てくると思います。解決への対策が見えてくると思います。そして個人の生活向上になれば、やがて地域、町としても成長、発展できると思います。◆(阿見第二小学校区 男性 60代 親と子の2世代世帯)
- 福祉のことについて福祉以外の分野から考えてみるのも良いのではないかと考えているということです。阿見町がより良いところになっていくことを願っています。◆(あさひ小学校区 男性 50代 親と子の2世代世帯)

- 社会福祉はとても難しいです。でも、いざ活用させていただく時には困っている人に寄り添いながら助けていただけるものだと思います。よろしく願いいたします。◆(本郷小学校区 女性 60代 夫婦のみの世帯)
- 人口が増え、市制に向けて町内が活性化しているのは良いことだと思いますが、人口が増えた分ルールやマナーが守れない人たちが増えてきています(ゴミ出しのルールや交通マナーなど)。私は人間としての器が小さいのかそのような人達を支えたいとは思えないし、町の税金を使ってほしくないと思っています。  
日本に存在する町として国を代表する町となるよう支え助け合える町となることを祈っています。その為に SNS や広報を通じてルールやマナーを説き、助け合うことの必要性を理解してもらうこと。また、自分で出来るのに助けてもらって当たり前と思っている人達がいるのも事実です。そのバランスも難しいと思いますが何か良い知恵があると良いですね。◆(阿見小学校区 女性 60代 夫婦のみの世帯)
- 何かに困っている人が気軽に相談できる窓口が常時開いていて、対応してくれる方も親身になってくれるような人がいてほしい。隣近所がお互い声かけをして毎日安心して暮らせる町になってほしいです。◆(阿見第一小学校区 女性 60代 親と子の2世代世帯)
- 本郷ふれあいセンターでおばあちゃんがペットボトルでおもちゃを作る体験教室を行っていた。たまたま図書館に寄った時にやっていることが分かり参加させてもらえた。実施している日付など発信されていないのかなと思いました。インスタグラムや SNS 等で子育てや体験教室やボランティアの情報があれば子どもたちと一緒に参加したい。特にボランティア(子どもでもできるゴミ拾いなど)がもっとあっていいと思う！◆(本郷小学校区 女性 30代 親と子の2世代世帯)
- 助け合い、福祉について町民が各自協力しあうことが大事ということは当然である。町の職員が町民に頼る前に各々対策を立案する必要があるのだが、他人事とは思わないで自分が困難な立場になった時を考え、基本「思いやり」の精神を常に頭から離さずに考えれば自ずと町民が納得する行政ができるのではないかと思う。町の職員に各地域の担当を割り振り、各地域での活動に責任を持たせ、リーダーの元、積極的に推進させる。職員は自分の住んでいる地域とは違う地域を担当することで、少しでも町全体の困りごとを知ることができると思う。  
今回のアンケート調査の統計処理結果は広報で公開すべきである。阿見町が「市」を目指しているのであれば、他に類を見ないような福祉についての「目玉」をスローガンに掲げて頑張ってもらいたいと思います。◆(阿見第一小学校区 男性 70代以上 夫婦のみの世帯)
- 学校での具体的な地域ボランティア活動体験の説明、学校での世代間交流イベント、ふれあいセンターなど。具体的に何をすれば役立つ、交流ができるのか示してほしいです。  
発達障がいグレーゾーンに対しての座談会、相談や交流会をしてほしいです。不登校の座談会 ◆(本郷小学校区 女性 40代 親と子の2世代世帯)
- ご近所付き合いや、共働き世帯も多く、地域で支え合ったり助け合う事が難しい環境であるかと思っています。また距離感によって生じるトラブルもあります。支え合いや助け合いは必要ですが、生活環境や現在の価値観を考えると難しい問題と捉えております。◆(舟島小学校区 女性 40代 親と子と孫の3世代世帯)
- 自助力に差がある昨今、互助、公助、共助の難しさ、複雑さもあるのではないかと感じています。自助力の高い人は相談機関や互助を心許なく感じることもあるでしょう。自助力が低過ぎると情報をキャッチできず解決や改善のための相談にまで至らないケースが多々あると想像します。◆(舟島小学校区 女性 40代 親と子の2世代世帯)

交通手段・移動環境について(交通の便の改善、タクシー支援、コミュニティバスの充実等)  
20件

- バスが通っていない地域もあって車の免許証を返納した高齢者が病院や買い物に行くのに困っている話を耳にします。町のタクシー(あみまるくん)もありますが、まだまだ数が少なく使いづらいと聞きます。もう少し台数を増やすとかシステムを使いやすくするとか必要かと思います。◆(阿見小学校区 女性 50代 夫婦のみの世帯)
- 土浦、つくば、牛久でカーシェアリングという企画が始まったと新聞で読みました。手のあいた方が運転代行をして、少しの時間を使って買物・病院の送り迎えを手伝うという仕組みだそうです。阿見町でもぜひ導入してもらいたいと思いました。父母が今あみまるくんを使っていますが、他の運用もあればいいなと思いました。◆(本郷小学校区 女性 50代 夫婦のみの世帯)
- 阿見町に来て20年近くなりました。ここで子育てもして、住みやすい町だと思います。ただ周りを見ても、買い物に行っても、高齢者の方が多いです。やはりそういう人たちが大変なのは買い物や病院に行くときの交通の便だと思います。どうしても車を手放せなくて危険な運転をしたり、自転車で買い物に行ったり…。コミュニティバスや近くまでスーパーの巡回販売がもっと来てくれると、お年寄りの方は助かるのではと思います。◆(阿見第一小学校区 女性 60代 夫婦のみの世帯)
- 交通の便が悪いので移動支援を充実させてほしい ◆(本郷小学校区 男性 40代 夫婦のみの世帯)
- 運転が出来ない人の交通の利便性を考えてほしい。買い物(食料品、灯油、雑貨等)や病院通いなどが出来なくなることが不安である。◆(舟島小学校区 男性 70代以上 親と子の2世代世帯)

自治会や地域活動について

17件

- 地域の人に何か起こったら、最初に気づくのは近所に住んでいる人たちだと思うので、民生委員・児童委員の方々が中心となって気づく事が第一だと思います。色々な状況を把握する(なるべく早く)ためには、どうしたらいいのかと考えます。◆(君原小学校区 女性 60代 親と子の2世代世帯)
- 共働きのため、正直忙しいので子ども会等の地域活動が負担になることがあります。何かボランティアがしたいとは思っていますが、時間や体力に余裕がありません。◆(阿見小学校区 - 50代 親と子の2世代世帯)
- ボランティア活動に関しては仕事で多忙で、なかなか時間も体力もなく、できない。休みの日は休みたいのが正直なところです。担い手が少なくなっていく時代なので、ボランティアではなくなってしまいかもしれないけど法人化したり、または副業的に報酬化したりポイント付与したりすれば人を集めることができるのではないかと思います。◆(阿見第一小学校区 女性 20代 親と子の2世代世帯)
- 地域社会を構成している各種団体等のメンバーが高齢化しており、後継者の確保・育成が必要不可欠だと思います。◆(君原小学校区 男性 70代以上 親と子の2世代世帯)
- 最近は自治会に入る人が少なく、以前のように集まり会話することがなくなりました。交流の場にもなるので自治会への参加を行政の方からも勧めてほしいです。◆(阿見小学校区 女性 70代以上 親と子と孫の3世代世帯)
- 自治会活動に参加できない、または参加したくないという人には別途会費を払ってもらい、シルバー人材センター等に委託することも検討していただきたい。町内会費等を現金で集金しているが、

マンションの管理費と同じように銀行の口座振替を導入しキャッシュレス化を図っていただきたい。

◆(阿見第一小学校区 男性 60代 ひとり暮らし世帯)

- 地域行事を増やす。(例)祭り ◆(本郷小学校区 女性 10代 親と子の2世代世帯)
- 地域と関わりをもたない方が増えているので地域の自治会だけでは難しい ◆(舟島小学校区 男性 50代 夫婦のみの世帯)

情報提供について(福祉サービスの情報提供・利用方法、広報周知等)

15件

- 社会福祉協議会についての理解度が低いと思います。もっとアピールをし、どのような仕事をしているのか等広報紙等で説明。必要な人がたくさんいると思うのでもう少し広めたほうが良いと思う。応援してます。 ◆(本郷小学校区 男性 70代以上 夫婦のみの世帯)
- インターネットや SNS を積極的に活用したほうが良いと思う。子どもから高齢者までスマホ等は持っているので常に情報を発信し続けることが重要だと思う。 ◆(本郷小学校区 男性 40代 夫婦のみの世帯)
- 時々流れる防災無線がほぼ聞こえないのでスマホで確認していますが、ちょっと困ると思う時があります。 ◆(阿見第一小学校区 女性 50代 親と子の2世代世帯)
- 自治会など回覧板も今の時代にあったアプリ化を希望します。地域でデジタル化したくても町全体でデジタル化しなくては意味がないので、徐々に移行して欲しいです。 ◆(阿見小学校区 女性 40代 親と子と孫の3世代世帯)

子育て支援について

14件

- 阿見町の人口が増え嬉しい限りです。子供が増えていかなければ町や市としての将来はありませんので、子育てが充実している実績を作り、持続可能な目標として掲げていくことが一番必要かと思えます。子供にやさしく適切な環境づくりと支援が必要かと思えます。 ◆(阿見小学校区 男性 60代 親と子と孫の3世代世帯)
- 若い夫婦が働きたくても0歳児からなかなか預かってくれる保育園が少ない。これでは子供が増えない。保育園の充実を。待機児童の減少を強く望みます。親世代もまだまだ働けるが保育園に入園できないために働けない。そして若いお母さんたちを保育園の先生たちが教育(相談役)してほしい。保育園を増加して待機児童を0にしてほしい！ ◆(阿見小学校区 女性 60代 親と子の2世代世帯)
- あさひ小学校では体操服などのリユースが昨年度から始まりましたが、体操服だけではなく、幼稚園のバッグや体操服等、中学校の制服・ジャージと阿見町内の幼・小・中でリユースができると親も金銭面で少しは助かるし、子供も小さな服を我慢して着ていたり、破けたジャージを着ている子を見たりしなくていいかと思う。あさひ小のリユースも、9月という中途半端な時期より3・4月と卒業・入学に向けてのほうが役に立つのではないかと思う。 ◆(あさひ小学校区 女性 50代 親と子の2世代世帯)
- 近年自宅に引きこもりスマホやパソコンに没頭する子どもが多いので、放課後など学校の体育館などを開放し遊べる時間を設けてほしい。そのためにボランティアを募ることは矛盾してないと思います。 ◆(本郷小学校区 男性 20代 その他)
- あさひ小学校、中学校の通学路は安全とは思えず、いつ事故が起きてもおかしくないと思います。町で子供が安全に通学できる通学路の確保や見守りが町全体でできると安心だと思えます。 ◆(あさひ小学校区 女性 30代 親と子の2世代世帯)

- ファミリーサポートが使いづらい。個人で頼むだけでなく、ベビーシッターやナニーさん、家事代行を頼んでその分の費用をある程度負担してもらいたい。習い事の種類の種類が阿見町で少なく、つくば、牛久まで行かないとない。◆(本郷小学校区 女性 30代 親と子の2世代世帯)

気軽に集える場、地域交流の場づくりについて

12件

- 仕事でお年寄りを地域の公民館へ体操に連れて行くことができました。2時間の体操を3人の地域の住民が先生になり、イスに座ったままの体操、音楽に合わせて行進など普段使っていない筋肉を無理なく使って2時間で終わりになりました。参加者は80代前後の方で参加する事により、顔を合わせることができ体操しながら会話もして、とても皆有意義な時間を過ごしているように見えました。私の地域は住宅が建ち始めた所なので若夫婦が多い所ですが、私達夫婦が80代頃にそのような地域のつながりの場があると活力が出ると思います。◆(本郷小学校区 女性 60代 親と子の2世代世帯)
- 緑地公園の整備。木陰のベンチでおしゃべりしたり食事をしたり……と老若男女が集まれば、自然と人の輪が広がって豊かな地域社会の形成が可能になるのでは……。◆(あさひ小学校区 女性 60代 親と子の2世代世帯)
- 町内遠足のようなイベントがあると小学校や中学校の様子なども聞けそうなのでありがたいです。・近くの広場にバスケットゴールが設置されました。子どもたちが楽しそうに遊んでいる姿を見て、親の私も嬉しく思います。◆(あさひ小学校区 女性 30代 親と子の2世代世帯)
- 特に外から引っ越してきた家庭の多い朝日中学校区は近所との関係が薄く、災害など緊急のことが起きたときに協力し合えるのか不安になることがある。餅つきなどのイベントには積極的に顔を出してはいるが、そこで関係性が構築できるかといふとかなり難しい。30代~50代くらいの世代の人たちが集まって何かできる場があると、きっかけ作りになるのでは？◆(あさひ小学校区 男性 40代 親と子の2世代世帯)
- SNSで住民同士が意見を言い合えたり情報共有したりできるコミュニティがあればよいです。運営が町だと安心できるので。◆(あさひ小学校区 男性 60代 親と子の2世代世帯)
- コロナ禍で変わってしまった地域の集まりや活動を復活させ、せめてご近所の人くらいは認知出来るようにしてほしい◆(あさひ小学校区 女性 40代 親と子の2世代世帯)
- とともに助け合うためにはまず、近所に知り合いがいなくて難しいので、友人を増やすことが必要だと思います。現時点では、近所の人々の仕事や趣味など全く分からず、話したこともないので、何かしら交流の機会があればいいなと思います。◆(本郷小学校区 女性 20代 親と子の2世代世帯)
- 幅広い世代や地域とのコミュニケーションを普段から良く取ることが大切だと思う。お互いに知ることで認め合う関係が出来れば互いに助け合ったり親身に接することにつながるとおもうから。◆(あさひ小学校区 男性 50代 親と子の2世代世帯)

- 高齢者が自宅でできない事(草刈り、電球の交換、書類の書き方がわからない等)、ちょっとした困り事をお手伝いできる「お助け隊」が必要かと思うが、ボランティアはやらないと思うので少しでも賃金があれば若者も来てくれるのでは？賃金でなくても何か見返りがないと今の人達はやらないと思う。  
◆(阿見小学校区 女性 30代 親と子の2世代世帯)
- 70歳を超えてつくづく“年をとる”ということを感じている。若い時は病気になる、死ぬということも考えもしなかった。体力の衰えはいかんしがたい。高齢者に優しい行政を願う。高齢で低所得対象の専用住宅(町営とかではなく)の建設を一考お願いします。◆(阿見第二小学校区 女性 70代以上 ひとり暮らし世帯)
- 新聞などの情報によると、都会ならではと思いますが高齢者と若者をつなげるマッチングサービスというのがあって、ひとり暮らしの高齢者などの買い物同行や日常の困りごと、スマートフォンなどの操作を教えたり、外出に付き添ったりする有償での支援があるとのこと。私も若い人のコンサートと一緒に連れてくれる人がいたらと思うことがある。  
民間の身元保証サービスはありますが、なかなか高額なので、そのようなことを自治体にやってもらったら本当に助かると思っています。人間的なものもあり無理と言われたらそれまでですが、もちろん有償ですが少し考えて頂けたらありがたいです。身寄りがない人も安心して暮らせる阿見市を希望します。◆(あさひ小学校区 女性 60代 夫婦のみの世帯)
- 近くで孤独死がありました。推測ですが、納税に困っていたようです。年金も少なく生活も大変だったと思う。生活保護も、財産が有り問題だったのか。民生委員は知っていたのか？  
プライバシーもあり住民同士では無理、行政が孤独死にならないように努力してほしい。一人で生活している高齢者見守りをして孤独死にならないようにしてください。◆(阿見小学校区 男性 70代以上 親と子の2世代世帯)
- 支援を受けなければ生活していけない高齢者が年金で入居できる施設の整備を推進してほしい。それによって高齢者の様々な問題(移動、医療、コミュニケーション等)を避けることが期待できる。  
◆(あさひ小学校区 男性 70代以上 夫婦のみの世帯)
- ここ数年の間、自宅の周りを見ると独居老人の一人暮らし、あるいは老夫婦2人だけで住んでいる世帯が多く目につくようになりました。長男や長女が訪れることがほとんど目につかず、ひっそりと暮らしている様子がうかがわれます。  
そのような状況の中で何か事件や災害があった場合はどうするのかと心配する時があります。よって行政に携わる人は現在の地域の情勢を把握しどのように対処していくかを考え、もっと強力に助け合える地域社会作り方策を考えていただきたいと思います。◆(あさひ小学校区 男性 70代以上 夫婦のみの世帯)
- 福祉に関して。子育てに関しては年々充実していっていると思います。それと反比例して高齢者への支援が無くなっている気がします。◆(あさひ小学校区 女性 60代 親と子と孫の3世代世帯)
- 共助、介護保険、高齢者福祉、介護認定のシステムの簡素化、他の市町村からの転入時の手続きがスムーズにいくようにできたらよいと思うことがありました。ケアマネジャーからの情報など共有できたら、高齢者、家族の負担が少しは減るか。家族以外でも手伝えること、できたらいいのですが、委任状とか書類上の手続きが大変そうですね。◆(あさひ小学校区 女性 60代 夫婦のみの世帯)
- 認定調査に来られる方でなく、一人で在宅している高齢者宅へ訪問し現状を把握しなければ。埋もれている方はたくさんいると思う。ひどくなる前に訪問し何を求めているのか現状を知ってほし

い。介護が必要になってからでは遅いと思う。そういうボランティアは以前から必要と思って言っている。◆(阿見小学校区 女性 60代 夫婦のみの世帯)

- 高齢者(独居)が在宅でも暮らせるような社会にしてほしいです。買い出ししてくれる、食事・入浴の手伝いや病院の送迎、掃除・片付けの支援などの生活全般を手助けしてくれるシステム作りに力を入れてほしいです。進んで施設にお世話になりたがるようにしてほしいです。◆(舟島小学校区 女性 60代 夫婦のみの世帯)

生活環境の整備等について(買い物や生活支援、送迎支援など)
-------------------------------

6件
----

- 阿見町の私の地区はバスの運行もないので、買い物代行とか送迎支援などあれば良い、しかも低価格で。◆(あさひ小学校区 女性 50代 親と子の2世代世帯)
- 高齢者になると交通手段がなくなるので、近くにスーパーやお店が充実してできるといいと思います。◆(阿見小学校区 女性 50代 ひとり暮らし世帯)
- 資格を持っていない人でも大丈夫だからお願いしたいこと(日常の話し相手や趣味仲間がほしい、その日のご飯の買い物から調理までやってほしい家事のことなど、“誰か”を必要とすること)を気軽にお願いできる町になればいいなと感じています。◆(あさひ小学校区 女性 20代 親と子の孫の3世代世帯)

健康づくり、医療等
-----------

5件
----

- 医療機関が人口のわりに少ない。皮膚科、眼科、耳鼻科、内科など。◆(あさひ小学校区 女性 60代 夫婦のみの世帯)
- 町民がお得に使える龍ヶ崎のたつこのアリーナのような室内プールや運動できる場所を作り、町民の健康促進をする。◆(あさひ小学校区 女性 40代 親と子の2世代世帯)

障がい者・障がい児支援について
-----------------

3件
----

- 障がい者の地域隣人等は知らぬふりしているのが多い。高齢者、障がい者が住みやすいまちづくりは遠くに感じている。あまりにも助け合う精神が全くなく思える今日です。隣人でも目があっても挨拶もなく通り過ぎていくことに皆自分以外は無関係で挨拶するのもわずらわしく感じているのではないか。アンケートについてもその時だけかと思うし、障がい者、高齢者に近隣他やさしい目配りをしてほしい。健常者宅は障がい者を理解していない方が多いことが残念です。いつも不安。◆(阿見第一小学校区 男性 30代 親と子の2世代世帯)
- 阿見町の障害者入所施設がとても少ないです。1~2か所だけ。特に重度知的障害者施設は全国的にも足りていません。阿見町の人口が5万に達したのは喜ばしいことですが、その分重度知的障害者の人数は多いです。そのため一日でも早く入所施設を増やす方向で取り掛かってほしいです。よろしくをお願いします。◆(舟島小学校区 女性 50代 親と子の2世代世帯)

防災・災害時対策について

3件

- 阿見町内での地域間格差。役場近くは良好でも、他の市町村近くでは役場が遠く、また、いろんなものが手薄ではなかろうか。災害等のとき、いろんな情報や配給(水や食料など)が届かない様子?切り捨てられるか省かれるのではと不安がある。  
防災無線でさえも良く聞こえない時があり、不安である。いざという際の交通手段、隣接部での他市町村との協力関係等、考えているのだろうか?  
◆(本郷小学校区 男性 70代以上 親と子の2世代世帯)
- 最近多い詐欺の手口(アンテナが壊れている、と業者を装って家に来る)や最近発生した不審者情報を気軽にしれると良いと思います。◆(阿見小学校区 女性 20代 親と子の2世代世帯)

防犯について

2件

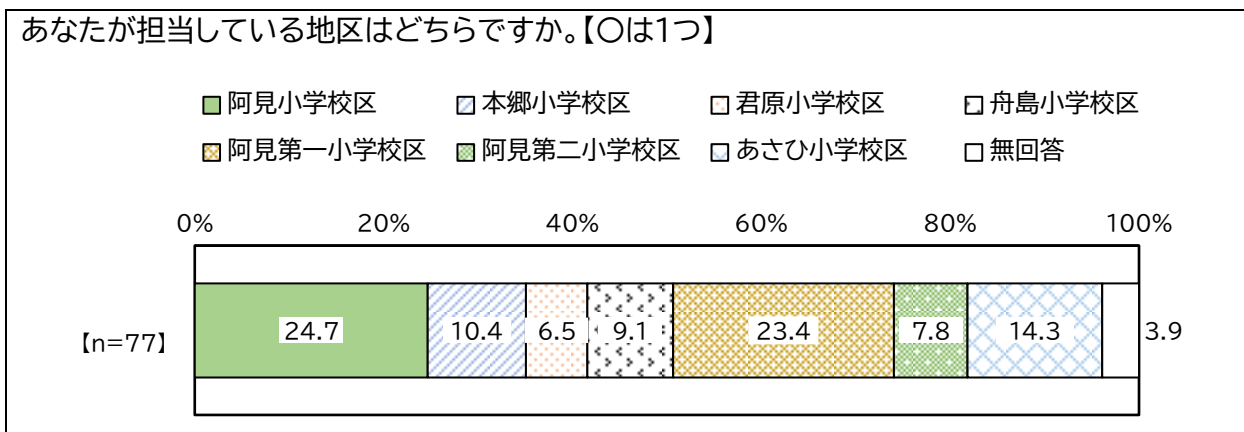
- ここ最近子どもが犯罪に巻き込まれたり、高齢者が行方不明になる事が多い印象のため、「防犯カメラ」をたくさん設置してほしい。◆(阿見小学校区 女性 30代 親と子の2世代世帯)

その他(感想・お礼・アンケートに対する意見)

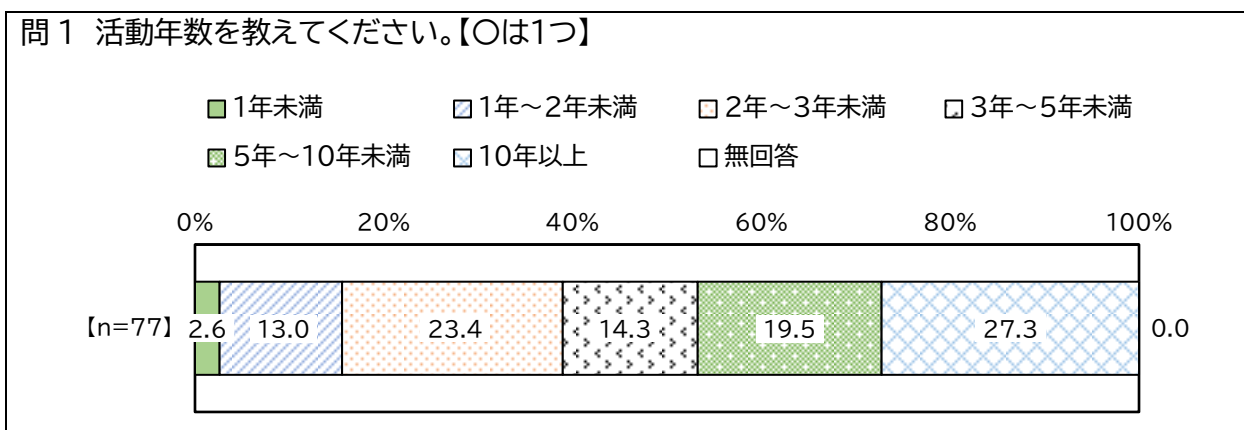
26件

- 何をするにも当事者意識を持つことが大切ですね。◆(阿見第二小学校区 男性 70代以上 親と子の2世代世帯)
- 夫婦共 70代、夫はひざが悪く歩くのが大変だが、まだ自転車で移動できるので買物や近くの病院へは行けています。いつ動けなくなるか。私は友人とランチ、おしゃべりするのが楽しみ。ラジオ体操やストレッチを家の中でやっています。  
ボランティア活動は積極的にやろうとは考えていません。年金暮らしで収入はあまりないのですが、大事な 70代、自分のささやかな楽しみのために時間を使いたいです。◆(阿見第二小学校区 女性 70代以上 夫婦のみの世帯)
- 現在のところ私自身健康にも不自由がないので回答が「わからない」が多かったです。でも、近い将来どのようなようになるのか心配があります。ゆえに、助け合える地域社会を作るために積極的に参加しようと思います。◆(本郷小学校区 男性 70代以上 夫婦のみの世帯)
- このようなアンケートを通して、町内の活動や支援を知るきっかけにもなりました。一町民としてこれからもよろしく願いいたします。◆(あさひ小学校区 女性 30代 親と子の2世代世帯)
- 明日は我が身ってことで、今自分にできることはやっていきたいと思います。◆(地区無回答 女性 50代 その他)
- ありがとうございます。私は思っただけでもなかなか声を出せるチャンスがありませんでした。アンケートをすることによって自分の福祉への明確さがはっきりしました。こういうチャンスをいただき感謝です。ありがとうございます。今後の役に立てることに期待します。60代女性 ◆(君原小学校区 女性 60代 親と子と孫の3世代世帯)

## 2 民生委員・児童委員アンケート結果の分析



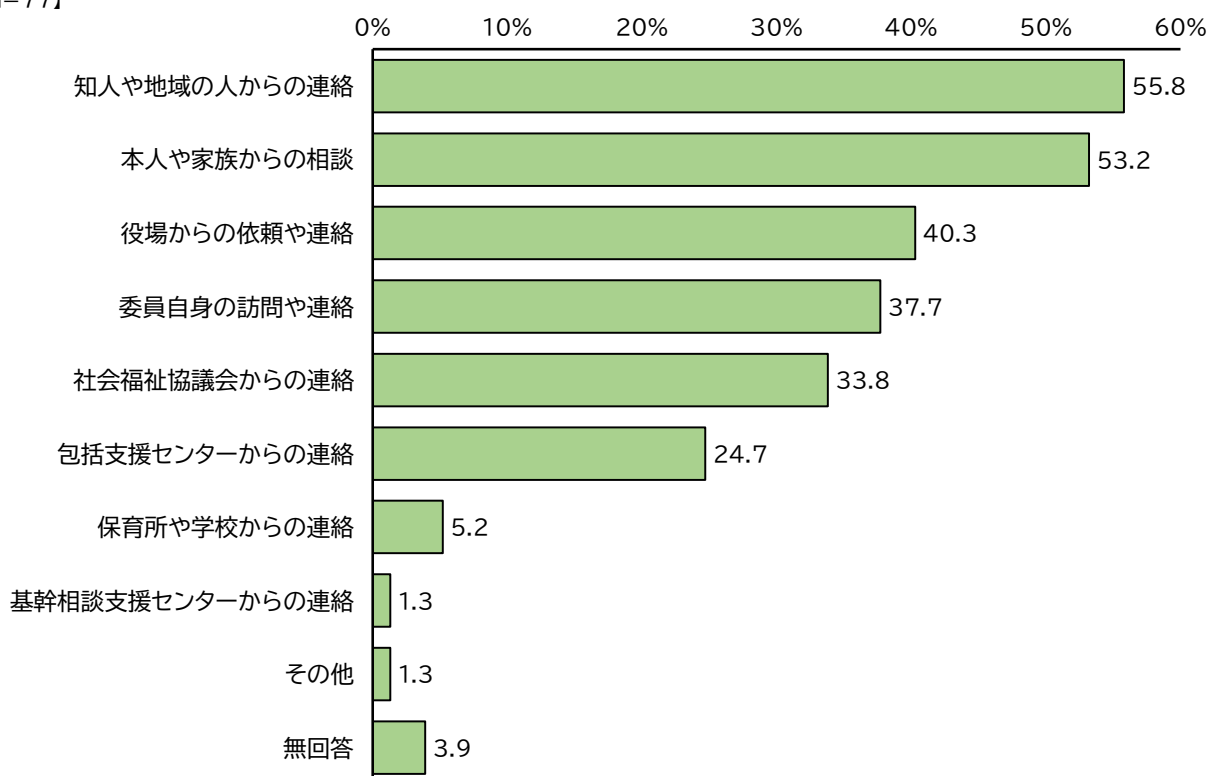
「阿見小学校区」が 24.7%で最も多く、次いで、「阿見第一小学校区」が 23.4%、「あさひ小学校区」が 14.3%、「本郷小学校区」が 10.4%などとなっています。



活動年数については、「10年以上」が 27.3%で最も多く、次いで、「2年～3年未満」が 23.4%、「5年～10年未満」が 19.5%、「3年～5年未満」が 14.3%、「1年～2年未満」が 13.0%となっています。

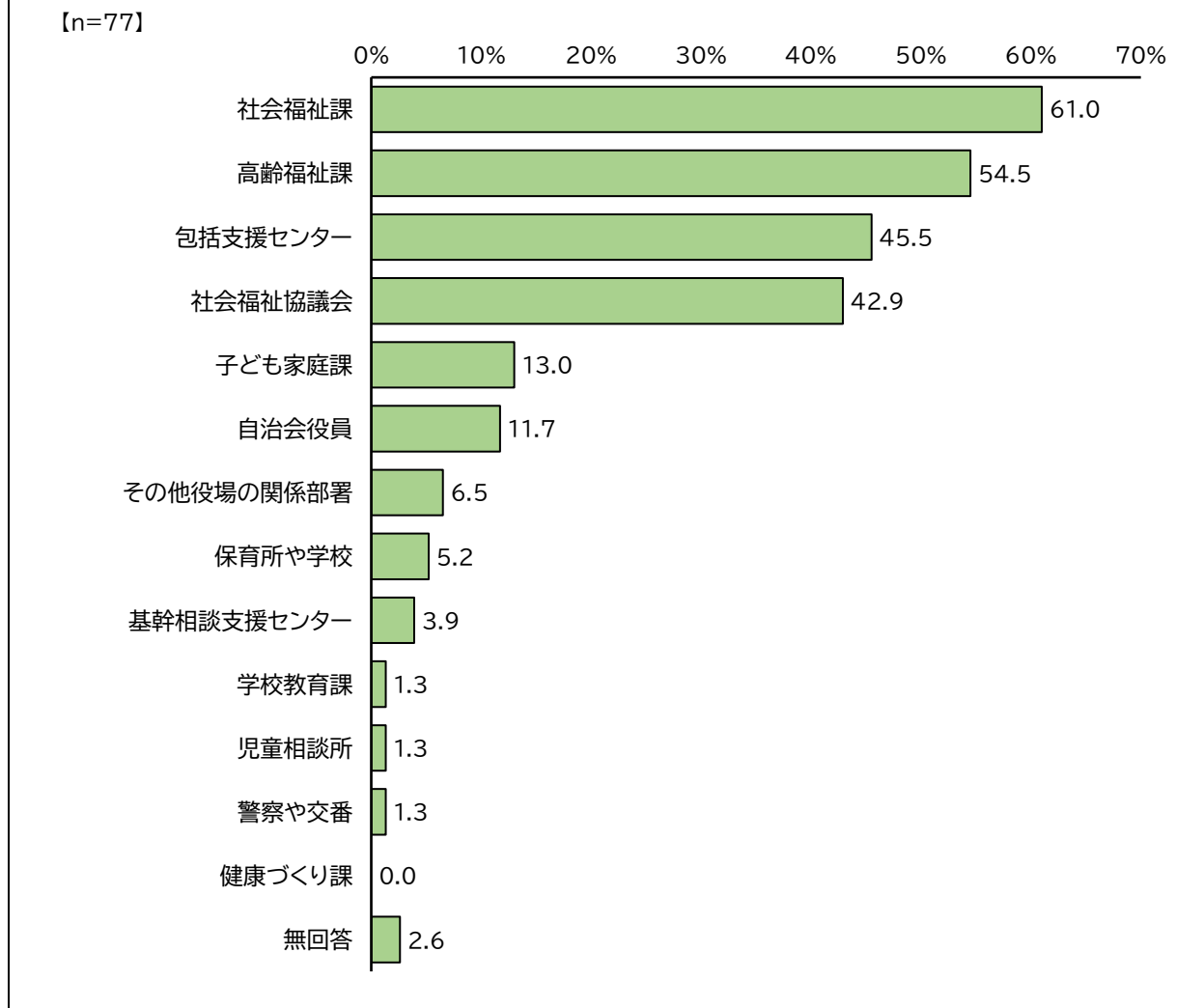
問2 相談を受ける主なきっかけは何ですか。【〇は3つまで】

【n=77】



相談を受ける主なきっかけについては、「知人や地域の人からの連絡」が 55.8%で最も多く、次いで、「本人や家族からの相談」が 53.2%、「役場からの依頼や連絡」が 40.3%、「委員自身の訪問や連絡」が 37.7%、「社会福祉協議会からの連絡」が 33.8%となっています。

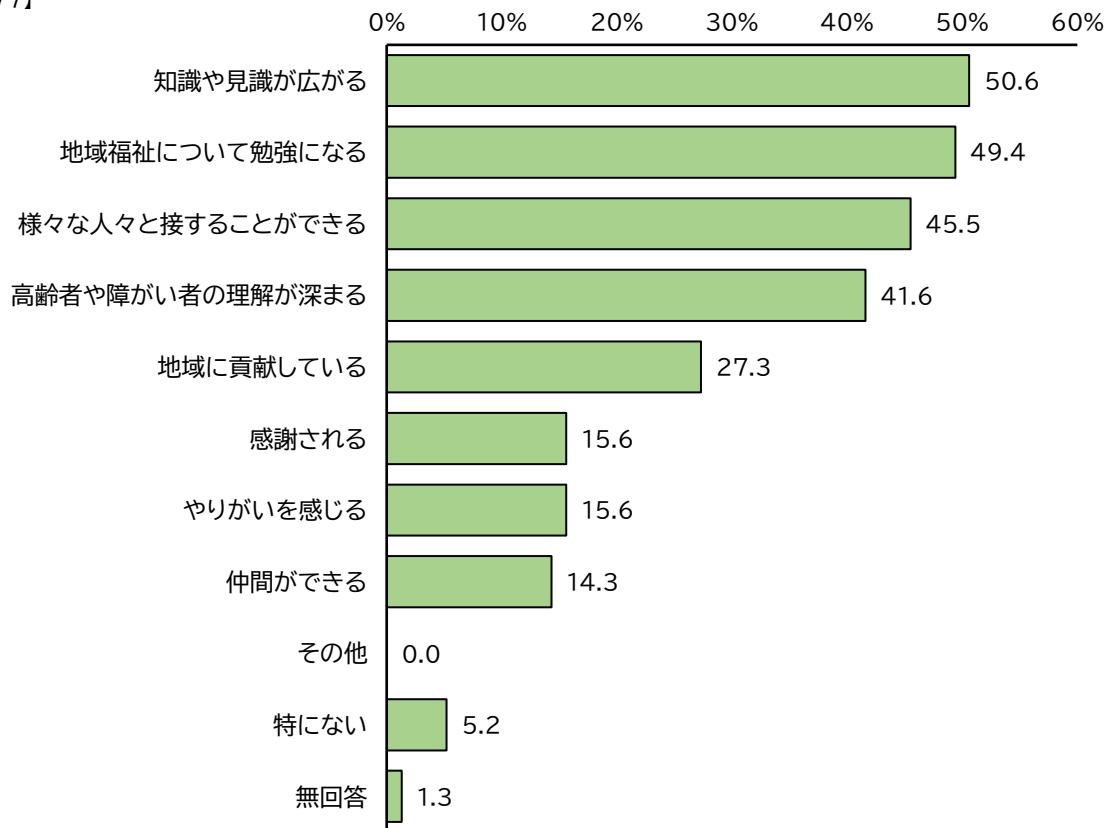
問3 あなたが受けた相談は、主にどの関係機関に引き継ぎましたか。【〇は3つまで】



受けた相談の引き継ぎ先については、「社会福祉課」が 61.0%で最も多く、次いで、「高齢福祉課」が 54.5%、「包括支援センター」が 45.5%、「社会福祉協議会」が 42.9%、「子ども家庭課」が 13.0%となっています。

問4 民生委員・児童委員、主任児童委員の活動を通じてよかったことと思うことはありますか。  
【〇は3つまで】

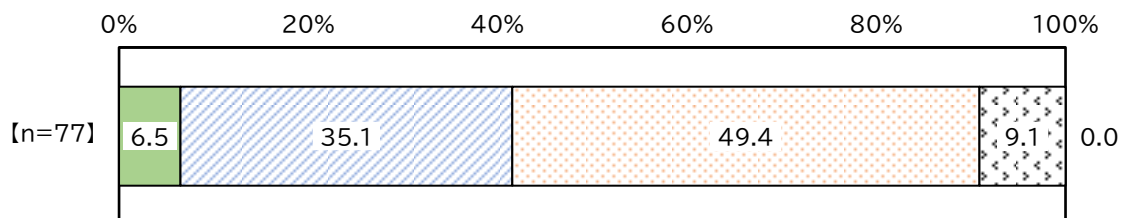
【n=77】



活動を通じてよかったと思うことについては、「知識や見識が広がる」が 50.6%で最も多く、次いで、「地域福祉について勉強になる」が 49.4%、「様々な人々と接することができる」が 45.5%、「高齢者や障がい者の理解が深まる」が 41.6%となっています。

問5 民生委員・児童委員、主任児童委員活動の中で、地域住民と接触するうえでの苦勞はありますか。【〇は1つ】

- 苦勞している
- どちらかといえば苦勞している
- あまり苦勞していない
- 苦勞してない
- 無回答

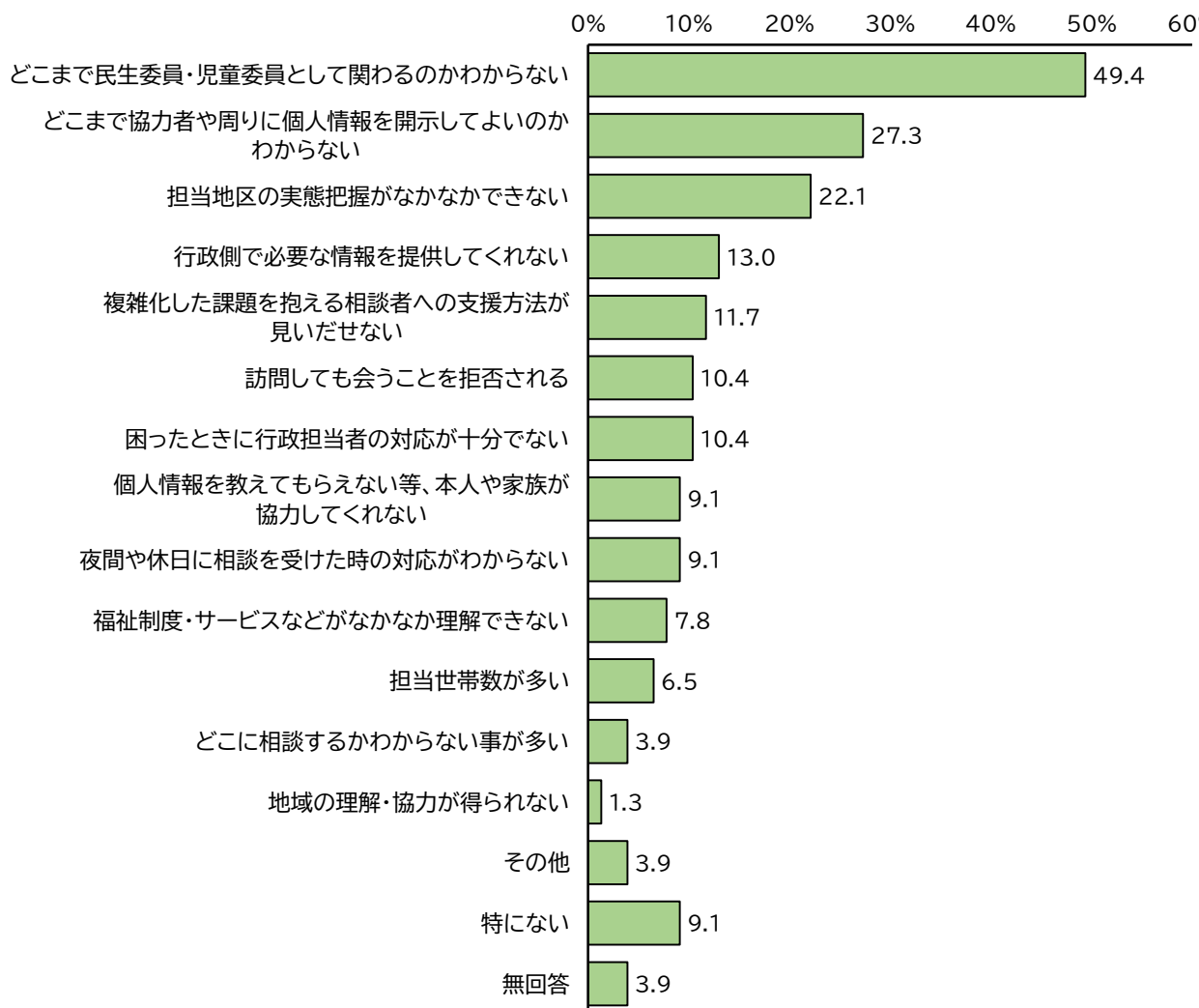


地域住民と接触するうえでの苦勞の有無について、「あまり苦勞していない」が 49.4%で最も多く、次いで、「どちらかといえば苦勞している」が 35.1%、「苦勞してない」が 9.1%、「苦勞している」が 6.5%となっています。

問6 民生委員・児童委員、主任児童委員活動で大変と感じることは、どんなときですか。

【〇は3つまで】

【n=77】

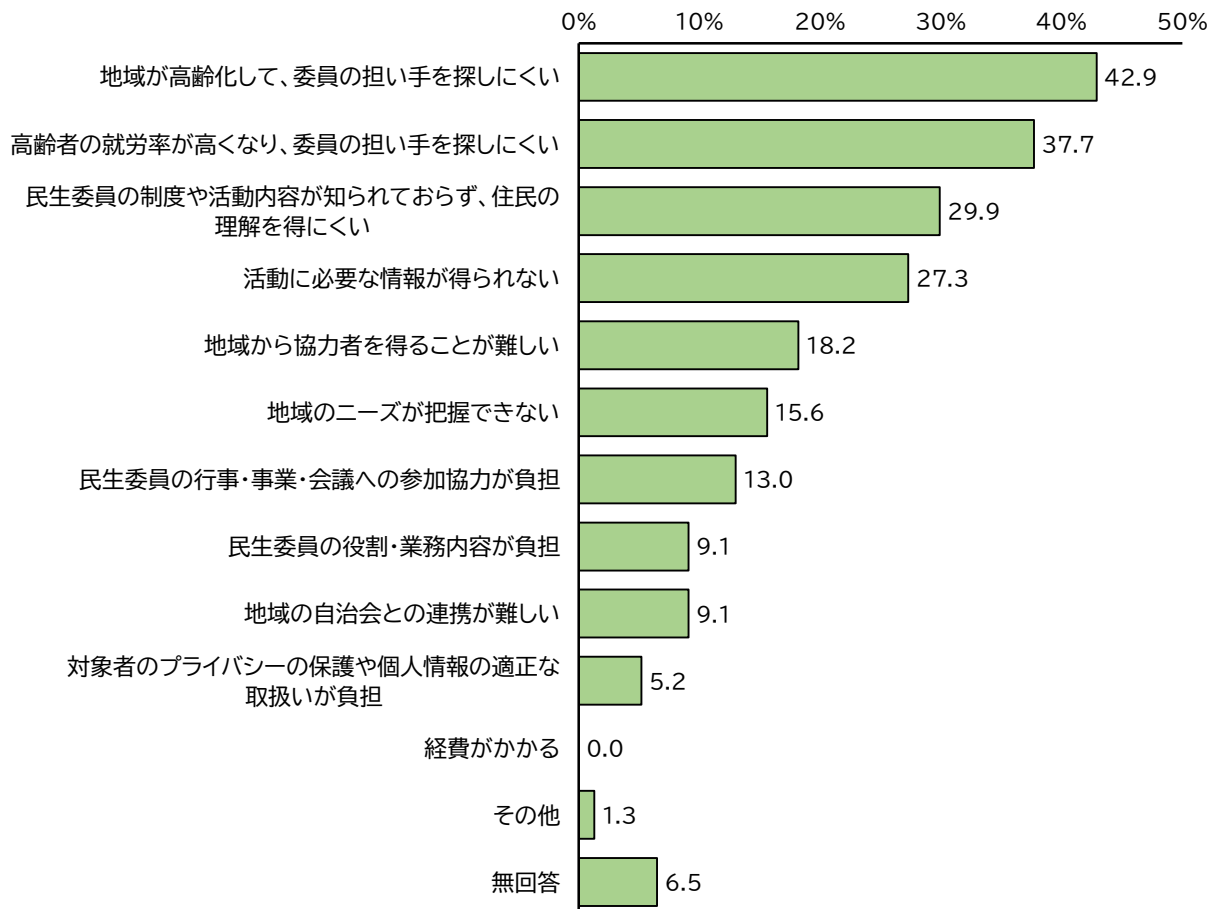


活動をしていて大変と感じることについては、「どこまで民生委員・児童委員として関わるのかわからない」が 49.4%で最も多く、次いで、「どこまで協力者や周りに個人情報を開示してよいのかわからない」が 27.3%、「担当地区の実態把握がなかなかできない」が 22.1%、「行政側で必要な情報を提供してくれない」が 13.0%となっています。

問7 民生委員・児童委員、主任児童委員活動を行うときの問題点や課題を教えてください。

【〇は3つまで】

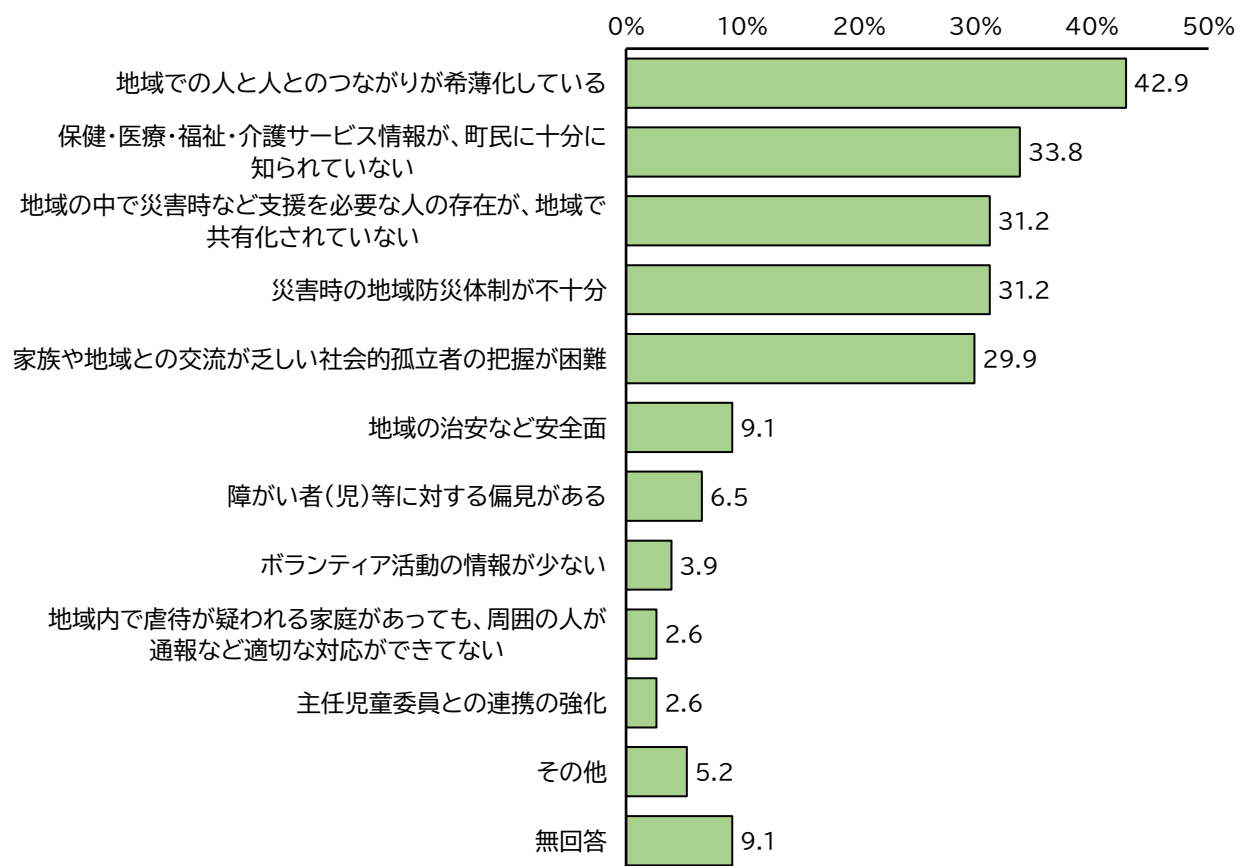
【n=77】



活動を行うときの問題点や課題については、「地域が高齢化して、委員の担い手を探しにくい」が42.9%で最も多く、次いで、「高齢者の就労率が高くなり、委員の担い手を探しにくい」が37.7%、「民生委員の制度や活動内容が知られておらず、住民の理解を得にくい」が29.9%となっています。

問8 民生委員・児童委員、主任児童委員活動をする中で、地域福祉に関して課題と感じていることは何ですか。【〇は3つ】

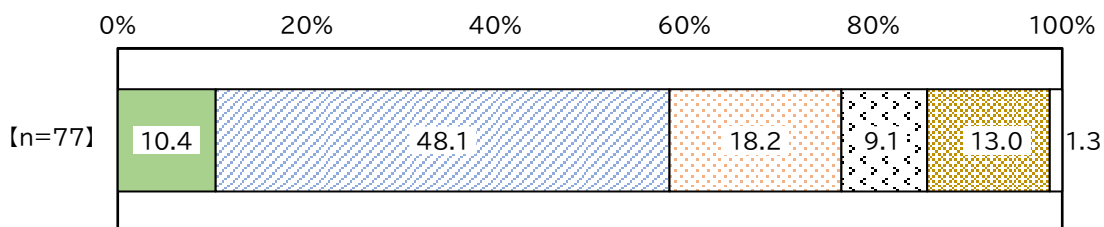
【n=77】



地域福祉に関して課題と感じていることについては、「地域での人と人とのつながりが希薄化している」が 42.9%で最も多く、次いで、「保健・医療・福祉・介護サービス情報が、町民に十分に知られていない」が 33.8%、「地域の中で災害時など支援を必要な人の存在が、地域で共有化されていない」、「災害時の地域防災体制が不十分」が 31.2%と同率となっています。

問9 阿見町は子どもや高齢者、障害のある方などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。  
【〇は1つ】 また、そう思う理由を記入ください。

- 暮らしやすいと思う
- あまり暮らしやすいとは思わない
- わからない
- まあまあ暮らしやすいと思う
- 暮らしやすいとは思わない
- 無回答



阿見町が子どもや高齢者、障害のある方などにとって暮らしやすいまちかどうか尋ねたところ、「まあまあ暮らしやすいと思う」が48.1%で最も多く、次いで、「あまり暮らしやすいとは思わない」が18.2%、「暮らしやすいと思う」が10.4%、「暮らしやすいとは思わない」が9.1%となりました。

#### 《暮らしやすいと思う理由》

- 40年暮らして一人暮らしになり、こじんまりした町でそう思う。
- ゴミ収集の便宜供与、年末の義援金等。

#### 《まあまあ暮らしやすいと思う理由》

- 役場等の担当機関が適切な対応がある。
- 片道400円の送迎タクシー(障害者は200円)、共働き両親のための放課後児童クラブ
- もっとサービスや相談がしやすいといいと思います。
- 子どもは暮らしやすいと思いますが、高齢者はまあまあ暮らしやすいと思う(買い物が大変になっている方が多い)
- いろんな支援があるのでは。
- 社会福祉課、社協、高齢者福祉課が活動が多いため。
- 行政・地域担当者のネットワークが整っている方だと感じる。
- すぐに相談してくれて対応できている。
- 困った時に周囲がサポートしてくれる環境にある
- 地域の治安が安全、福祉が充実。

#### 《あまり暮らしやすいとは思わない理由》

- 高齢者にとって足である交通機関が十分でない。
- もっと福祉行政の充実を望む。
- 高齢者が自由に外出できない。あみまるくんだけではどうしようもない。交通の利便性が良ければ阿見町は人が集まり活性化する。
- 交通の便。
- 高齢者(車なし、家族なしの人) 病院、買い物等、不自由。
- 地域に偏りがある(人口減、人口増、交通、商店など)。
- 地域差があると思うが、生活する上で必要なものが近くにあればいいが、交通の便が悪いと思う。

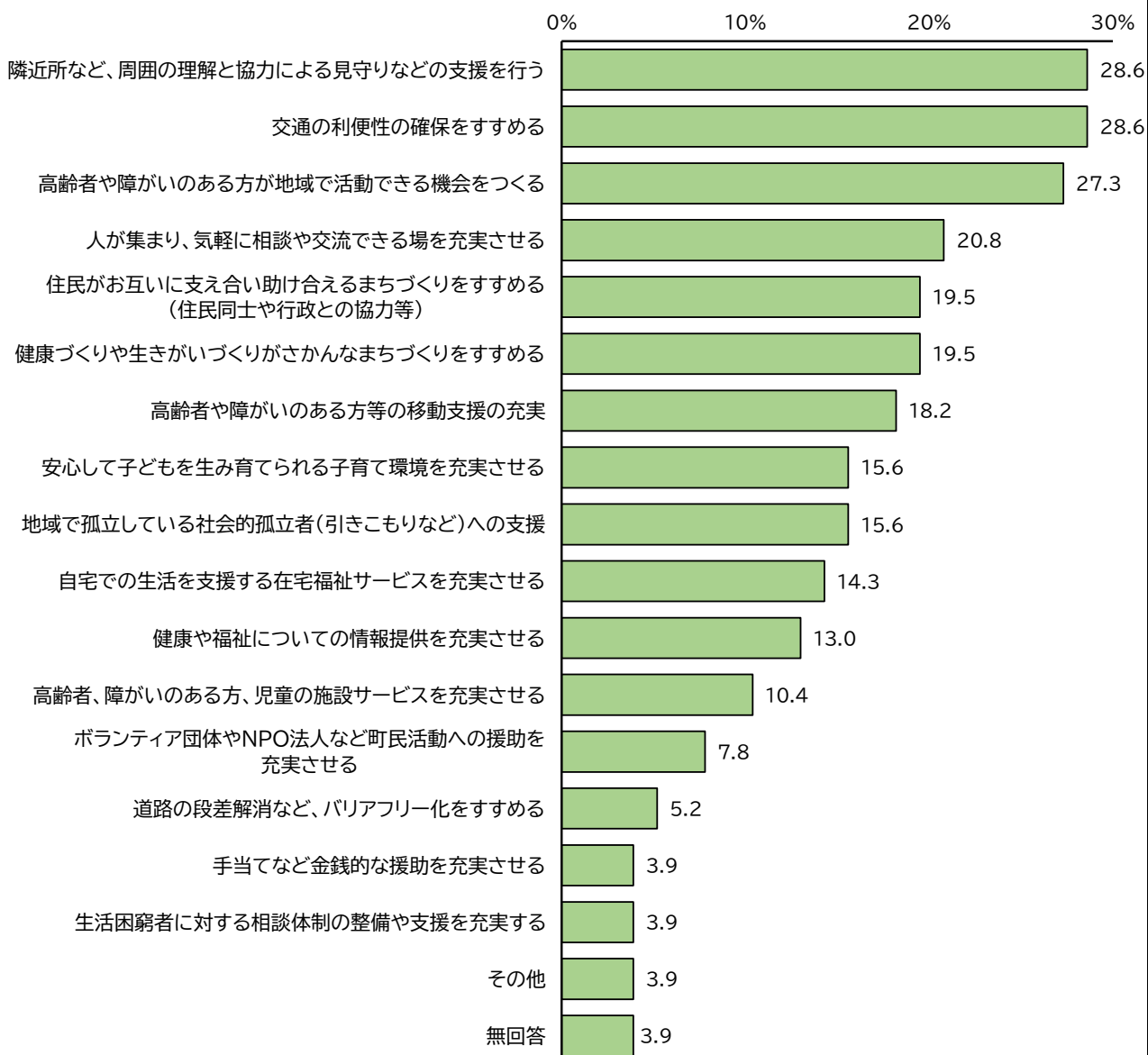
- 地域とのつながりが希薄になってきているので、これが問題かな？ 個人情報云々があるので難しい。

《暮らしやすいとは思わない理由》

- 歩道の整備が必要な所が多い。相談、悩みを気軽に受けてくれる所の明確化を考えてほしい。
- 交通が不便。路線バスの本数も減少し、コミュニティバスも無い。
- 地域によって違う。
- 公共施設・道路の未整備。

問10 阿見町の保健福祉施策をより充実していくために、あなたが重要と考える取り組みはどれですか。【3つまで○】

【n=77】



保健福祉施策をより充実していくために、重要と考える取り組みについては「隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う」と「交通の利便性の確保をすすめる」が28.6%と同率で最も多く、「高齢者や障がいのある方が地域で活動できる機会をつくる」が27.3%、「人が集まり、気軽に相談や交流できる場を充実させる」が20.8%となっています。

問11 民生委員・児童委員活動の活動しやすい環境づくりに向けた取組みを進める上で、ご意見・ご要望があれば、お聞かせください。

- 常に相談してもいい部署を作る。担当者が常駐(交代で担当する等)。
- 毎年度の65歳以上高齢者名簿がほしい。また年度途中の死亡や引っ越しも連絡してほしい。現在は、区長の持つ名簿や近所から情報を得ているが、抜けることがある。
- 福祉票の消滅届について。住民の転出入を把握する役場に民生委員・児童委員が消滅届を出す必要はあるのか疑問です。
- 現在の阿見町の民生委員の活動は、行政サービスを円滑に進めるための支援のように感じている。しかし、対応する担当課の阿見町職員の態度が悪く、上から目線でものを言うことがある。民生委員に対してそうであれば、一般町民に対してはもっと悪いのではないかと感じてしまう。職員教育をしっかりとってほしい。
- 福祉票について。民氏委員が作るのではなく、町が作ってくると負担が少ない。福祉票の作成を拒否した住人にはどう対応したらよいのか。
- 民生委員を受けた時、活動に対し不安があった。初めての方に指導する勉強会等あったらもっとスムーズに活動できたのではないかと思う。前任者が不在で十分な引き継ぎがなかったので苦労した。今も不安で、皆の話を聞いて自分なりに判断している。役場からの情報があればもっと活動できるのにと考えた。
- 旧住民の情報は把握可能だが、新住民やアパートの住民で行政区に入っていない人の情報は把握できない。行政機関からの情報提供が必要です。
- もっと区長や住民の方々のお力を借りるべきだと思う。その先へ繋いでも十分ではない。地域の会議には参加し皆さんに覚えてもらう。
- 新しく移動してきた人に対する対応だが、個人の情報をなぜあなたに教えるのかと言われて来ないでほしいと断られるので、まずは役場で調査をしてからにしてほしい。
- 個人情報を守って活動しているが、地域のすべてを把握していないので近くに住んでいる方からの情報も大切にしている。しかしその情報をどこまで信じて良いかわからず、迷うことも多いです。
- 施設に入所、死亡されたなどの情報は個人情報の問題があり難しいとは思いますが、いつもどうにかならないものかと感じる。
- 高齢者の日常生活支援は行政に頼ることなく、各行政区の中でまだまだ元気な高齢者の支援による地域の支え合いシステムを作ることが大事ではないか。元気な人もやがては支援が必要となる。その時のためにも支え合いシステムを作り、先輩を支えていくことが大事ではないか。行政と行政区(自治会)、民生委員がリーダーシップを発揮し支え合いのシステムを創ろう。
- 民生委員・児童委員を務めている方の年代が高齢化しておりネットワークが難しいので、若い世代の方が加入できるように持っていければいいのですが。
- 各地区・行政とタイアップした活動を広げ、各班や地域での弱者(高齢者や障害、認知症)をピックアップする。このデータに従い福祉サービスの提供につなげる方策を町全体で進めたらと思います。
- 自治会との連携。支援を必要とする住民を発見するための方策。
- 在留外国人との関わり方について研修したい。活動上の悩みや具体的事例等を共有するための研修を充実させたい。
- 町の車での予約が早すぎる(5日⇒3日前くらい) ・タクシーで拒否されることが多い。
- 地域情報の共有により、報・連・相と役場内の関係部署との連携を図りたい。
- 家族構成が不明瞭で高齢者の実態が不明(独り暮らしの実態、日中の独り暮らしの実態)。高齢者の実態と年齢一覧表が全くなく実態把握が難しい。

- 区長宛に配布される敬老会名簿(75歳以上)を民生委員にも配布されるよう要望する。  
把握しやすい地区とそうでない地区があるため、新民生委員の選任は区長任せだけではなく、退任される民生委員の意見が反映されると後任選任がよりスムーズになるのではないかと。  
特に1年で変わる地区は民生委員のほうが地域通のケースもあると思われる。

### Ⅲ 資料



# 1 調査票

## (1) 町民アンケート

### 福祉に関するご意見をお聞かせください

町民の皆様には日ごろから福祉行政にご協力いただき、ありがとうございます。

阿見町では、令和3年3月に、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるまちづくりのため、町民、関係機関・団体と行政が連携し、ともに支え合い、助け合える仕組みづくりをめざして「第3次阿見町地域福祉計画」を策定しました。

現在、「第3次阿見町地域福祉計画」が令和7年度で終了することから、「第4次阿見町地域福祉計画」の策定を進めています。

このアンケート調査は、18歳以上の町民2,000人を対象に実施し、皆様の福祉観、地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、地域福祉に関するご意見、ご提言を広くお聞きし、計画の策定に反映したいと考えております。

また、このアンケート調査の実施に際しましては、プライバシーの保護に万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年2月

阿見町長 千葉 繁

#### ご記入にあたってのお願い

- この調査票には、お名前・ご住所を記入しないでください。
- 記入は、ご本人にお願いいたします。ご本人の記入が困難な場合は、ご家族の方などがご本人のお考えをお聞きの上、またはご意向を汲み取ったうえで、代理で記入をお願いいたします。
- 回答にあたっては、あてはまる回答の番号に○をつけてください。また、記入欄については、具体的にその内容をご記入ください。
- なお、本調査の結果は統計的に処理いたしますので、回答内容から個人が特定されることはありません。
- ご記入いただいた調査票は、**3月21日（金）**までに、同封の封筒に入れて（切手を貼らずに）投函してください。ご協力の程よろしくようお願い申し上げます。
- 本アンケートはWEB上でも回答できます。スマートフォンで右のQRコードを読み取り、サイトへアクセスしてください。



【調査に関するお問い合わせ先】 阿見町保健福祉部 社会福祉課  
電話：029-888-1111（内線162） FAX：029-887-9560

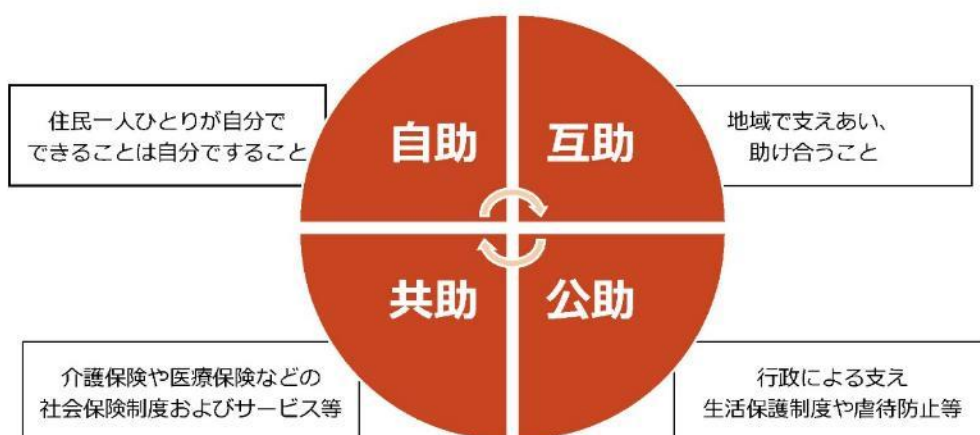
## 第4次阿見町地域福祉計画策定に向けて

### 1 地域福祉って？

「高齢者福祉」はお年寄りを、「障がい者福祉」は身体等の障がいのある方を、「児童福祉」は子どもを対象とした福祉の取り組みです。それに対して「地域福祉」とはみなさんが住んでいる「地域」を対象に、町役場だけではなく、阿見町に住んでいるみなさんも含めて「福祉の担い手」ととらえ、地域での助け合いを活発化させるための取り組みのことです。

### 2 地域福祉を進めるためには？

「地域の課題・困っていること」を「地域みんなの問題」と考え、その解決について「地域みんな」で考え、取り組むためには、「自助」、「互助」、「共助」、「公助」という考え方があります。



「自助」、「互助」、「共助」、「公助」の役割を果たし、互いに力を合わせることでそれが「阿見町地域福祉計画」です。

### 3 誰もが安心して暮らせる社会をめざします！

地域のことや、日ごろ感じる生活の課題などを一番よく知っている、地域の皆さんの参加と協力が必要不可欠となります。

町民参加の第一歩として、アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

また、アンケート調査結果や地域福祉計画については、「広報あみ」や町ホームページなどでお知らせいたします。





## Ⅱ. 「福祉」についておたずねします。

問7 あなた自身も含め、あなたの身近には、次のような気にかかる人(福祉サービスや支援が必要だと思われる人)がいますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                       |                                 |
|-----------------------|---------------------------------|
| 1 ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯 | 7 外国人の家庭                        |
| 2 介護を要する方がいる家庭        | 8 日中に家族が不在になり、ひとりになる家庭          |
| 3 障がいのある方がいる家庭        | 9 ヤングケアラー(家族の介護や育児などをこどもが行う)の家庭 |
| 4 小さな子どもがいる家庭         | 10 虐待が心配な家庭(子ども・高齢者・障がい者等)      |
| 5 ひきこもりや不登校の子どもがいる家庭  | 11 その他( )                       |
| 6 ひとり親家庭              | 12 特にない                         |

問8-(1) あなたは「福祉」に関心をおもちですか。(1つだけ○)

- 1 とても関心がある 2 ある程度関心がある 3 あまり関心がない 4 全く関心がない

問8-(3)へ

【問8-(1)で「1」、「2」を選んだ方におたずねします。】

問8-(2) 特にどの福祉の分野に関心をおもちですか。(1つだけ○)

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 1 子どもに関する福祉        | 5 生活困窮者に関する福祉 |
| 2 障がい者に関する福祉       | 6 社会福祉(福祉全般)  |
| 3 高齢者に関する福祉        | 7 その他( )      |
| 4 地域福祉(地域での支え合い活動) |               |

【問8-(1)で「3」、「4」を選んだ方におたずねします。】

問8-(3) 関心がない理由は何ですか。(1つだけ○)

- |                       |           |
|-----------------------|-----------|
| 1 今のところ自分にはあまり関係がないから | 3 特に理由はない |
| 2 「福祉」のことがよくわからないから   | 4 その他( )  |

問9 阿見町は子どもや高齢者、障がいのある方などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。(1つだけ○)

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1 暮らしやすいと思う       | 4 暮らしやすいとは思わない |
| 2 まあまあ暮らしやすいと思う   | 5 わからない        |
| 3 あまり暮らしやすいとは思わない |                |

### Ⅲ. 「地域」との関わりについておたずねします。

問 10-(1) あなたは、今住んでいる地域に愛着がありますか。(1つだけ○)

1 大いにある 2 ある程度ある 3 どちらともいえない 4 あまりない 5 全くない

【問 10-(1)で「1」、「2」を選んだ方におたずねします。】

問 11 へ

問 10-(2) 愛着があると感じるのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 生まれ育ったまちだから 4 自然などの環境が良いから  
 2 親・兄弟など家族がいるから 5 安心して住めるから  
 3 地域の人と親しくしているから 6 その他( )

問 11 あなたは、ふだん近所の方と、どの程度の付き合いをされていますか。(1つだけ○)

- 1 常日ごろから、家族ぐるみの付き合いがある 4 たまに立ち話をする程度  
 2 困っているとき(病気、悩み、事故など)に、 5 会えばあいさつをかわす程度  
 相談をしたり、助け合ったりする 6 付き合いはほとんどない  
 3 一緒にお茶を飲んだり、留守をするときに 7 その他( )  
 声をかけあう

問 12 あなたが住んでいる地区の暮らしについてお伺いします。(それぞれ1つだけ○)

項 目	満 足	まあ満足	どちらとも いえない	やや不満	不 満
1 近隣との付き合い	1	2	3	4	5
2 自治会などの地域活動	1	2	3	4	5
3 近隣の生活マナーなどの生活環境	1	2	3	4	5
4 公園・緑地などの自然環境	1	2	3	4	5
5 買物などの便利さ	1	2	3	4	5
6 公的な手続きの便利さ	1	2	3	4	5
7 公共施設の使いやすさ	1	2	3	4	5
8 交通機関などの便利さ	1	2	3	4	5
9 病院など医療関係	1	2	3	4	5
10 福祉・保健サービスや相談体制	1	2	3	4	5
11 地域の防災・防犯体制	1	2	3	4	5

問 13-(1) あなたは地域に助けられたと感じたことはありますか。(1つだけ○)

- 1 ある 2 ない 3 わからない

【問 13-(1)で「1」を選んだ方におたずねします。】

問 13-(2) あなたはどのような時に「助けられた」と感じましたか。

**問 14 あなたの身近な人が困っているとき、あなたはどのようなことができると思いますか。**  
**(あてはまるものすべてに○)**

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1 安否確認の声かけ・見守り | 8 子どもの送り迎え    |
| 2 話し相手         | 9 子どもの通学路の見守り |
| 3 買い物の手伝い      | 10 高齢者等の介護    |
| 4 ごみ出し         | 11 緊急時の手助け    |
| 5 外出の手助け       | 12 特にない・できない  |
| 6 家の前などの掃除     | 13 その他 ( )    |
| 7 短時間の子どもの預かり  |               |

**問 15 現在、あなたの住んでいる地域の中で、気になることは何ですか。**  
**(あてはまるものすべてに○)**

- |   |   |
|---|---|
| 1 あいさつをしない人が多い                            | 13 障がい者及びその親の高齢化と親亡き後に<br>心配があること       |
| 2 緊急時の対応体制がわからない                          | 14 生活困窮者が増えていること                        |
| 3 犯罪の増加                                   | 15 ひきこもりやニートが増えていること                    |
| 4 交通マナーの乱れ                                | 16 ダブルケア（子育てと親の介護）を抱える<br>世帯が増えていること    |
| 5 道ばたのごみが増えた                              | 17 高齢者の親と就労をしていない中高年の子<br>のみの世帯が増えていること |
| 6 地域での子どもの見守りがなされていない                     | 18 認知症に対する理解が不足している                     |
| 7 隣近所との交流が少ない                             | 19 健康に対する意識が低い                          |
| 8 世代間の交流が少ない                              | 20 移動手段が十分でない                           |
| 9 地域の活動が活発でない                             | 21 特にない                                 |
| 10 自治会の活動に参加しにくい雰囲気があること                  | 22 その他 ( )                              |
| 11 子どもや女性、高齢者、障がいのある方<br>に対する虐待を見たり聞いたりする |   |

**問 16 あなたの身近な地域には、地域住民が取り組むべき課題や問題としてどのようなことがある  
 と思いますか。(あてはまるものすべてに○)**

- |                            |                                |
|----------------------------|--------------------------------|
| 1 子どもの健全育成                 | 10 子どもや高齢者、障がいのある方などへの<br>虐待対策 |
| 2 母子家庭や父子家庭の子育て支援          | 11 生活習慣病予防など健康づくりへの取り組み        |
| 3 共働き家庭の子育て支援              | 12 防犯や防災など地域の安全を守ること           |
| 4 乳幼児期の子育て支援               | 13 生活困窮者に対する支援                 |
| 5 高齢者の社会参加や生きがいづくり         | 14 社会的孤立者（ひきこもりなど）への支援         |
| 6 障がいのある方の社会参加や生きがい<br>づくり | 15 外国人住民の言語や文化に対する理解・配慮        |
| 7 気軽に集まれる地域の交流の場づくり        | 16 特にない                        |
| 8 高齢者世帯の日常生活支援             | 17 その他                         |
| 9 障がいのある方への日常生活支援          | ( )                            |

**問 17 もし、あなたの周辺で孤独死や、高齢者や障がいのある方、子どもへの虐待などが起きるおそれがある状況を知ったら、最初にどのように対応しますか。(1つだけ○)**

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1 直接訪問する          | 8 基幹相談支援センターに連絡する |
| 2 近隣の方に連絡する       | 9 児童相談所に連絡する      |
| 3 自治会役員に連絡する      | 10 警察・交番に連絡する     |
| 4 民生委員・児童委員に連絡する  | 11 特に何もしない        |
| 5 社会福祉協議会に連絡する    | (理由 )             |
| 6 町役場に連絡する        | 12 わからない          |
| 7 地域包括支援センターに連絡する | 13 その他            |
|                   | ( )               |

**問 18 防災活動や災害など緊急時の対応について、あなたの取り組みや考えはどれですか。(それぞれ1つだけ○)**

	はい	いいえ	わからない
1 日ごろから地域の防災訓練に参加している	1	2	3
2 地域の自主防災組織(町内会・自治会などを母体に、地域の住民が防災活動をする組織)に入っている	1	2	3
3 災害などの緊急時に、高齢者世帯や障がいのある方など要援護者への、避難等の手助けができる	1	2	3
4 災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要である	1	2	3

**問 19 あなたは、地震などの災害が発生した時に、困ることはどのようなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)**

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1 災害の情報がわからない        | 7 介助や支援が受けられない      |
| 2 安全な場所に避難できない       | 8 必要な治療が受けられない      |
| 3 救助を求めることができない      | 9 周囲とコミュニケーションがとれない |
| 4 救助を求めても助けてくれる人がいない | 10 わからない            |
| 5 避難場所がわからない         | 11 その他 ( )          |
| 6 物資の入手方法などがわからない    | 12 特になし             |

**問 20 日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(1つだけ○)**

- |  |
|--|
| 1 自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい |
| 2 地域のことに熱心な方たちが考えてくれるので、その方たちに任せておきたい  |
| 3 行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい          |
| 4 その他 ( )                              |

#### IV. 悩みや不安、相談について

問 21 あなたは、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことに悩みや不安を感じていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                 |                          |
|-----------------|--------------------------|
| 1 自分や家族の健康に関する事 | 7 家族間の問題                 |
| 2 介護に関する事       | 8 自分や家族の生活(進学、就職、結婚)上の問題 |
| 3 仕事に関する事       | 9 災害に関する事                |
| 4 生活費など経済的問題    | 10 孤独・孤立に関する事            |
| 5 近所との関係        | 11 特になし                  |
| 6 育児・子育てに関する事   | 12 その他( )                |

問 22 あなたは悩みや不安を誰に相談したいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- |             |                    |             |
|-------------|--------------------|-------------|
| 1 家族・親戚     | 7 社会福祉協議会          | 13 誰にも相談しない |
| 2 近所の方      | 8 地域包括支援センター       | 14 その他      |
| 3 知人・友人     | 9 基幹相談支援センター       | ( )         |
| 4 職場の方      | 10 町役場の窓口や職員(保健師等) |             |
| 5 医療機関の医師   | 11 SNS等の相談窓口       |             |
| 6 民生委員・児童委員 | 12 誰に相談したらよいか分からない |             |

**V. 地域活動やボランティア活動などについておたずねします。**

**問 23-(1) あなたは、現在、地域活動\*やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等について、取り組んでいますか。(1つだけ○)**

※地域活動：自治会、町内会、老人クラブなど、ボランティア以外の目的でつくられた団体の活動。

1 現在、継続的に取り組んでいる 2 たまに、取り組むことがある	3 取り組んだことはあるが、 現在はほとんどしていない 4 取り組んだことはない 5 取り組むことができない
-------------------------------------	---

問 24 へ

**【問 23-(1)で「3」、「4」、「5」を選んだ方におたずねします。】**

**問 23-(2) 現在活動していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)**

1 自治会等の組織に入っていない	7 時間がない
2 仕事の都合で機会がない	8 体調がすぐれない
3 参加方法がわからない	9 活動場所が自宅から離れている
4 一緒に活動する仲間がいない	10 わずらわしい
5 興味がない	11 分からない
6 経済的な負担が大きい	12 その他 ( )

**問 24 あなたは、今後、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等に取り組むことについて、どのようにお考えですか。(1つだけ○)**

1 積極的に、取り組んでいきたい	4 条件が整えば、取り組んでもよい
2 できるだけ取り組んでいきたい	5 あまり取り組みたくない
3 機会があれば、取り組んでもよい	6 取り組むことができない

**問 25 地域活動・ボランティア活動に新たに参加、または今の活動を継続する上で、必要と思う条件はどれですか。(あてはまるものすべてに○)**

1 活動情報の提供がある	7 適切な指導者やリーダーがいる
2 参加への呼びかけがある	8 特技や経験・知識が活かせる
3 友人等と一緒に参加できる	9 身体的な負担が少ない
4 身近なところで活動できる	10 経済的な負担が少ない
5 活動時間や期間にあまりしぼられない	11 特にない
6 気軽に参加できる	12 その他 ( )

**問 26 あなたが今後してみたい地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する支援活動等は何ですか。(3つまで○)**

- 1 地域を元気にする活動 (自治会での交流活動など)
- 2 子育てを支援する活動 (子育て交流会や子どもの一時預かりなど)
- 3 高齢者を支援する活動 (家事援助、話し相手、見守り・声かけ、外出付き添いなど)
- 4 障がいのある方を支援する活動 (手話、点字、要約筆記、軽介助、外出付き添いなど)
- 5 子どもの健全育成の活動 (スポーツの指導、子ども会の活動など)
- 6 特技や趣味を活かした交流活動 (手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語、パソコン、陶芸など)
- 7 周辺環境を整備する活動 (道路・公園の清掃、リサイクルなど)
- 8 地域の安全を守る活動 (防犯パトロール、子どもの見守りなど)
- 9 災害時の支援などの活動 (物資の寄付、復興支援、災害時要援護者の見守りなど)
- 10 特にない
- 11 その他 ( )

**問 27 あなたはボランティア活動の推進について、今後重点的に行われたらよいと思うことは何ですか。(3つまで○)**

- 1 子ども向けのボランティアスクールやボランティア体験の充実
- 2 夜間・土日のボランティア講座の充実
- 3 魅力あるボランティア講座や研修の充実
- 4 ボランティア情報誌の発行
- 5 ボランティア団体への支援
- 6 ボランティアセンターなど、ボランティア活動の拠点確保
- 7 ボランティア紹介窓口の充実
- 8 インターネットや SNS を利用した情報発信
- 9 特に必要ない
- 10 わからない
- 11 その他 ( )

**問 28 地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。(3つまで○)**

- 1 地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする
- 2 地域でボランティアなどの活動拠点となる場や施設を利用しやすくする
- 3 地域における福祉活動の活動費・運営費などの資金的な援助を行う
- 4 ボランティアリーダーや福祉活動に関わる方を育成する
- 5 福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実を図る
- 6 困っている方と、支援できる方との調整を図る人材を育成する
- 7 困っている方や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする
- 8 介護やボランティア活動の方法などに関する研修を行う
- 9 学校教育や社会教育での福祉教育を充実する
- 10 NPO 法人の専門性を活かす
- 11 特にない
- 12 その他 ( )

**VI. 福祉サービスなどについておたずねします。**

**問 29-(1) あなたご自身やあなたの家族に福祉サービスが必要になったとき、サービスを利用しますか。(1つだけ○)**

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1 抵抗なく利用したい   | 3 抵抗があるので利用したくない |
| 2 抵抗はあるが利用したい | 4 わからない          |

**【問 29-(1)で「3」を選んだ方におたずねします。】**

**問 29-(2) その理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)**

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| 1 経済的な負担が心配           | 6 近所の目が気になる     |
| 2 他人の世話になりたくない        | 7 他人に家に入ってほしくない |
| 3 サービスの内容や利用の仕方がわからない | 8 特に理由はない       |
| 4 家族で対応できる            | 9 その他 ( )       |
| 5 家族や親戚への気兼ねがある       |                 |

**問 30-(1) あなたは、自分に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できているとお考えですか。(1つだけ○)**

- |                   |                          |
|-------------------|--------------------------|
| 1 十分入手できている       | 3 ほとんど入手できていない           |
| 2 十分ではないが、入手できている | 4 今のところ情報を得る必要がない ⇒問 30へ |

**【問 30-(1)で「1」、「2」、「3」を選んだ方におたずねします。】**

**問 30-(2) あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)**

- |                |                              |
|----------------|------------------------------|
| 1 町役場の窓口・広報紙   | 8 居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)やホームヘルパー |
| 2 民生委員・児童委員    | 9 近所の方・知人・友人                 |
| 3 社会福祉協議会      | 10 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ             |
| 4 障がい福祉サービス事業所 | 11 インターネット                   |
| 5 地域包括支援センター   | 12 SNS                       |
| 6 地域子育て支援センター  | 13 その他 ( )                   |
| 7 基幹相談支援センター   |                              |

**問 31 「成年後見制度」を知っていますか。(1つだけ○)**

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1 制度は知っているが、活用する必要がない             |
| 2 言葉は聞いたことがあるが、制度のことは知らない         |
| 3 制度を活用している                       |
| 4 申立てをしている                        |
| 5 制度を活用したいが、どのような手続きをしたらよいのか分からない |
| 6 言葉も聞いたことはないし、制度もまったく知らない        |

※成年後見制度：本人が障がいや認知症などで判断能力が十分でない場合、本人に代わって家庭裁判所が決める法定後見人が財産管理や介護サービス契約などを行うことができる制度。

問 32 あなたは、今後「成年後見制度」が必要になった時に、制度を利用したいですか。(1つだけ○)

- 1 利用したい                      2 利用は考えていない                      3 わからない

問 33 成年後見制度を利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思えますか。(3つまで○)

- 1 制度の周知                      4 後見人等の担い手の確保                      7 手続きや経費の負担軽減  
2 相談場所の周知                      5 プライバシーの確保                      8 わからない  
3 相談体制の充実                      6 信頼性の確保                      9 その他 (                      )

問 34 あなたは、次の団体や機関を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 民生委員・児童委員                      6 消費生活センター(役場3階)  
2 人権擁護委員                      7 地域包括支援センター(さわやかセンター内)  
3 社会福祉協議会(さわやかセンター内)                      8 基幹相談支援センター(さわやかセンター内)  
4 地域子育て支援センター(中郷保育所内)                      9 どれも知らない  
5 町民活動センター

問 35 社会福祉協議会とは、どのようなところだと思えますか。(1つだけ○)

- 1 福祉を推進する非営利の公益法人                      6 聞いたことがない  
2 福祉ボランティア団体のひとつ                      7 わからない  
3 福祉サービスを提供する民間企業                      8 その他 (                      )  
4 町役場の機関のひとつ  
5 聞いたことはあるが何をやっているのか分からない

問 36 阿見町社会福祉協議会が実施している次の事業について、知っているものをお選びください。  
(あてはまるものすべてに○)

- 1 ボランティア活動の育成・支援                      8 心配ごと相談                      15 要保護・準要保護世帯入学祝金支給  
2 福祉教育                      9 歳末ふれあい交流会                      16 生活福祉資金、小口貸付事業  
3 障がい者の支援                      10 在宅福祉サービス                      17 災害時のボランティアセンター  
4 高齢者団体の支援                      11 日常生活自立支援事業                      の設置運営  
5 高齢者の支援                      12 福祉機器の貸し出し                      18 特にな  
6 敬老会事業                      13 家族介護の支援                      19 その他 (                      )  
7 ふれあい電話訪問                      14 一人暮らし高齢者等給食サービス

問 37 社会福祉協議会の行う活動・支援として、今後、充実してほしいものはどれですか。(3つまで○)

- 1 ボランティア活動の参加促進と支援                      6 地域住民への福祉に関する啓発活動  
2 住民による見守りや支え合い活動への支援                      7 学校における福祉体験学習の推進  
3 隣近所や自治会・町内会など、地域における                      8 広報紙やインターネットなどによる  
住民同士の交流活動への支援                      福祉に関する情報発信  
4 気軽に相談できる福祉総合相談                      9 特にな  
5 誰もが安心して在宅で生活するための                      10 その他 (                      )  
福祉サービス

**VII. 保健福祉施策などについておたずねします。**

**問 38 阿見町の保健福祉施策(サービス)について、あなたはどのように感じていますか。  
(1つだけ○)**

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 とても充実している  | 3 あまり充実していない |
| 2 まあまあ充実している | 4 充実していない    |

**問 39 阿見町の保健福祉施策をより充実していくために、あなたが重要と考える取り組みはどれですか。(3つまで○)**

- |  |
|--|
| 1 隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う             |
| 2 ボランティア団体やNPO 法人など町民活動への援助を充実させる          |
| 3 高齢者や障がいのある方が地域で活動できる機会をつくる               |
| 4 人が集まり、気軽に相談や交流できる場を充実させる                 |
| 5 健康や福祉についての情報提供を充実させる                     |
| 6 住民がお互いに支え合い助け合えるまちづくりをすすめる(住民同士や行政との協力等) |
| 7 健康づくりや生きがいづくりがさかんなまちづくりをすすめる             |
| 8 自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる                |
| 9 高齢者、障がいのある方、児童の施設サービスを充実させる              |
| 10 安心して子どもを生み育てられる子育て環境を充実させる              |
| 11 手当など金銭的な援助を充実させる                        |
| 12 生活困窮者に対する相談体制の整備や支援を充実する                |
| 13 地域で孤立している社会的孤立者(ひきこもりなど)への支援            |
| 14 交通の利便性の確保をすすめる                          |
| 15 高齢者や障がいのある方等の移動支援の充実                    |
| 16 道路の段差解消など、バリアフリー化をすすめる                  |
| 17 その他 ( )                                 |



## (2) 民生委員・児童委員アンケート

### 【民生委員・児童委員アンケート調査】

民生委員・児童委員の皆様には、日頃から町政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、阿見町では、町民の皆様や関係団体、行政等が協力しながら、誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、阿見町地域福祉計画の策定を進めています。計画を策定するに当たり、福祉に関する皆様のお考えやご意見を計画にいかしたく、お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

阿見町 社会福祉課

◎あなたが担当している地区はどちらですか。(〇は1つ)

- 1 阿見小学校区 2 本郷小学校区 3 君原小学校区 4 舟島小学校区  
5 阿見第一小学校区 6 阿見第二小学校区 7 あさひ小学校区

問1 活動年数を教えてください(〇は1つ)

- 1 1年未満 2 1年～2年未満 3 2年～3年未満  
4 3年～5年未満 5 5年～10年未満 6 10年以上

問2 相談を受ける主なきっかけは何ですか(〇は3つまで)

- 1 委員自身の訪問や連絡 2 本人や家族からの相談  
3 知人や地域の人からの連絡 4 役場からの依頼や連絡  
5 包括支援センターからの連絡 6 社会福祉協議会からの連絡  
7 基幹相談支援センターからの連絡 8 保育所や学校からの連絡  
9 その他 ( )

問3 あなたが受けた相談は、主にどの関係機関に引き継ぎましたか（○は3つまで）

- |               |           |
|---------------|-----------|
| 1 社会福祉課       | 2 高齢福祉課   |
| 3 子ども家庭課      | 4 健康づくり課  |
| 5 学校教育課       | 6 保育所や学校  |
| 7 その他役場の関係部署（ | ）         |
| 8 包括支援センター    | 9 社会福祉協議会 |
| 10 基幹相談支援センター | 11 児童相談所  |
| 12 警察や交番      | 13 自治会役員  |

問4 民生委員・児童委員、主任児童委員の活動を通じてよかったことと思うことはありますか。（○は3つまで）

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1 知識や見識が広がる       | 2 地域に貢献している        |
| 3 地域福祉について勉強になる   | 4 高齢者や障がい者への理解が深まる |
| 5 様々な人々と接することができる | 6 仲間ができる           |
| 7 感謝される           | 8 やりがいを感じる         |
| 9 特にない            | 10 その他             |
|                   | （                  |
|                   | ）                  |

問5 民生委員・児童委員、主任児童委員活動の中で、地域住民と接触するうえでの苦労はありますか。（○は1つ）

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1 苦労している     | 2 どちらかといえば苦労している |
| 3 あまり苦労していない | 4 苦労していない        |

問6 民生委員・児童委員、主任児童委員活動で大変と感じることは、どんなときですか。(〇は3つまで)

- 1 担当世帯数が多い
- 2 訪問しても会うことを拒否される
- 3 個人情報を教えてもらえない等、本人や家族が協力してくれない
- 4 担当地区の実態把握がなかなかできない
- 5 どこまで協力者や周りに個人情報を開示してよいかわからない
- 6 地域の理解・協力が得られない
- 7 複雑化した課題を抱える相談者への支援方法が見いだせない
- 8 どこに相談するかわからない事が多い
- 9 行政側で必要な情報を提供してくれない
- 10 困ったときに行政担当者の対応が十分でない
- 11 福祉制度・サービスなどがなかなか理解できない
- 12 どこまで民生委員・児童委員として関わるのかわからない
- 13 夜間や休日に相談を受けた時の対応がわからない
- 14 特になし
- 15 その他 ( )

問7 民生委員・児童委員、主任児童委員活動を行うときの問題点や課題を教えてください。(〇は3つまで)

- 1 民生委員の制度や活動内容が知られておらず、住民の理解を得にくい
- 2 民生委員の役割・業務内容が負担
- 3 民生委員の行事・事業・会議への参加協力が負担
- 4 活動に必要な情報が得られない
- 5 地域のニーズが把握できない
- 6 地域から協力者を得ることが難しい





問 1 1 民生委員・児童委員活動の活動しやすい環境づくりに向けた取組みを進める  
上で、ご意見・ご要望があれば、お聞かせください。

ご協力ありがとうございました。



阿見町  
地域福祉計画策定のためのアンケート調査

---

令和7年7月

発行：阿見町

企画・編集：阿見町 保健福祉部 社会福祉課

---